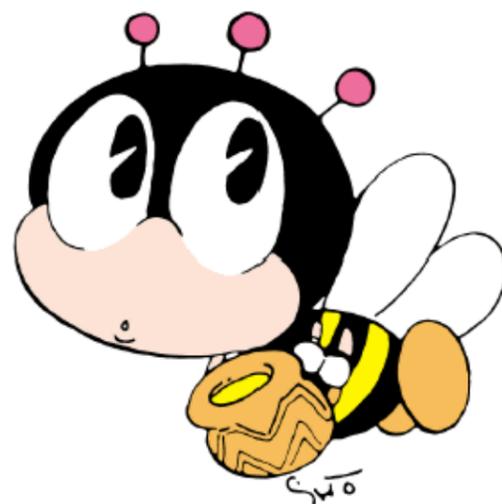


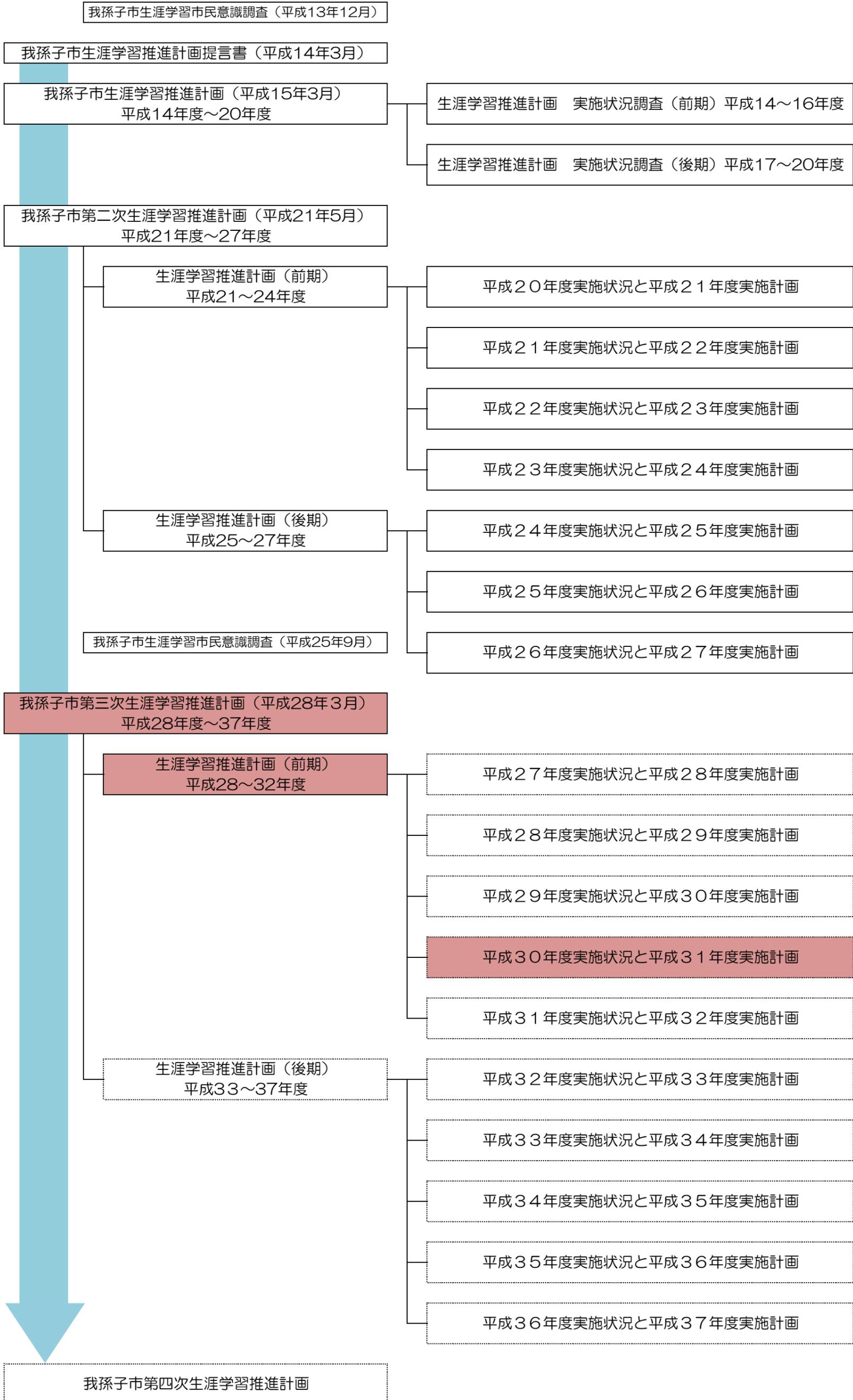
生涯学習推進計画 実施計画 実施状況調査表

～平成30年度実施状況と令和元年度実施計画～



令和元年6月

我孫子市生涯学習推進計画のあゆみ



体系図 (目次)

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	1 暮らしの便利帳・ガイドマップの発行	秘書広報課	1
		2 広報「あびこ」の編集・発行	秘書広報課	1
		3 男女共同参画情報紙の発行	秘書広報課	1
		4 財政情報の提供	財政課	2
		5 食に関する情報の提供及び啓発の充実	健康づくり支援課	2
		6 バリアフリーの情報提供事業	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	2
		7 子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	子ども支援課	3
		8 子育て支援情報の発信	保育課	3
		9 手賀沼情報の提供	手賀沼課	3
		10 都市計画に関する情報の管理・提供	都市計画課	4
		11 都市計画図等の作成・管理事務	都市計画課	4
		12 景観形成情報発信・啓発事業	都市計画課	4
		13 あびバス景観マップの作成 【H29事業完了】	都市計画課	5
		14 住宅情報の総合的提供	建築住宅課	5
		15 水道広報活動推進事業	水道局経営課	5
		16 生涯学習情報の発信	生涯学習課	6
		17 生涯学習情報提供システムの整備 【H29事業廃止】	生涯学習課	6
		18 電脳考古博物館の運営	文化・スポーツ課	6
		19 図書館における郷土・行政資料サービス	図書館	7
		20 図書館の情報化推進	図書館	7
		21 鳥の博物館ホームページの運営	鳥の博物館	7
		22 生涯学習学習相談体制の整備	生涯学習課	8
		23 生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	8
	24 生涯学習ボランティア	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	8	
	25 視聴覚教材・機材の管理及び貸出	生涯学習課	9	
	26 図書館カウンターサービス	図書館	9	
	27 図書館利用に障害のある方へのサービス	図書館	9	
	28 交通安全思想の普及	市民安全課	10	
	29 集団健康教育	健康づくり支援課	10	
	30 健康フェア	健康づくり支援課	11	
	31 廃棄物に関する教育啓発事業	クリーンセンター	11	
	32 石けん利用の推進	商業観光課	11	
	33 小学校『歯磨き・食育指導』事業	学校教育課	12	
	34 生涯学習推進計画事業実施状況調査	生涯学習課	12	
	35 生涯学習推進本部の運営	生涯学習課	12	
	36 健康スポーツ普及事業	文化・スポーツ課	13	
	37 読書普及活動	図書館	13	
	38 図書館PR	図書館	14	
	39 鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動	鳥の博物館	14	
40 まちづくり探検隊 【H29事業廃止】	子ども支援課	15		
41 子どもの居場所づくり事業【あびっ子クラブ】	子ども支援課	16		
42 谷津ミュージアムづくり推進事業	手賀沼課	17		
43 手賀沼船上学習の実施	手賀沼課	17		
44 手賀沼流域フォーラムの開催	手賀沼課	17		
45 ジャパンバードフェスティバル	手賀沼課・商業観光課・鳥の博物館	18		
46 地区計画制度の活用の支援	都市計画課	18		
47 我孫子産農産物の学校給食導入事業	学校教育課	18		
48 市民カレッジ 我孫子を知るコース 【H29事業統合】	生涯学習課	19		
49 市史調査研究	文化・スポーツ課	19		
50 郷土芸能への支援	文化・スポーツ課	19		
51 文化財の指定調査と保存支援	文化・スポーツ課	19		
52 埋蔵文化財発掘調査	文化・スポーツ課	20		
53 考古遺物整理	文化・スポーツ課	20		
54 あびこ自然観察隊	鳥の博物館	20		
55 てがたん(手賀沼の自然観察会)	鳥の博物館	20		
2 生涯にわたってさまざまな学びの できるまちづくり	①地域への関心を高める学びの機会の推進			

体系図 (目次)

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	56 子どもNPOボランティア体験	市民活動支援課	21
		57 後期離乳食教室	健康づくり支援課	21
		58 しあわせママパパ学級	健康づくり支援課	21
		59 離乳食教室	健康づくり支援課	21
		60 手賀の丘フレンドシップツアー	子ども支援課	22
		61 あびこ子どもまつり	子ども支援課	22
		62 げんきフェスタ	子ども支援課	22
		63 enjoyパパ応援プロジェクト	保育課	23
		64 子育て支援施設における講習	保育課	23
		65 こども議会	指導課	23
		66 長寿大学	生涯学習課	24
		67 成人式	生涯学習課	24
		68 熟年備学	生涯学習課	24
		69 家庭教育学級	生涯学習課	25
		70 のびのび親子学級	生涯学習課	25
		71 アビコでなんでも学び隊	生涯学習課	26
		72 子どものための舞台鑑賞事業	文化・スポーツ課	26
		73 成人・青少年への図書館サービス	図書館	27
		74 児童への図書館サービス	図書館	28
		75 子どもの読書活動推進計画の進行管理	図書館	28
		76 男女共同参画講演会の実施	秘書広報課	29
		77 平和事業	企画課	29
		78 健康づくりに関する専門家によるセミナー	健康づくり支援課	30
		79 メンタルヘルス啓発講座	障害福祉支援課	30
		80 失語症家族教室	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	30
	81 手話講習会・読話講習会	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	30	
	82 家族介護教室	高齢者支援課	31	
	83 認知症の方の家族のつどい	高齢者支援課	32	
	84 介護予防講演会	高齢者支援課	32	
	85 高齢者虐待防止講演会	高齢者支援課	32	
	86 遊具うんどう教室	高齢者支援課	33	
87 環境学習の推進	手賀沼課	33		
88 消費生活講座	商業観光課	33		
89 緑の講習会	公園緑地課	34		
90 栄養教諭を中核とした食育推進事業	学校教育課	34		
91 生涯学習出前講座の運営	生涯学習課	35		
92 生涯学習普及啓発事業	生涯学習課	36		
93 人権教育	生涯学習課	37		
94 スポーツ教室事業 【H30事業統合】	文化・スポーツ課	37		
95 地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	文化・スポーツ課	37		
96 鳥の博物館企画展	鳥の博物館	38		
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実				

体系図 (目次)

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
3 多様な学びの場のあるまちづくり	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	97 市民農園維持管理事業	農政課	39
		98 親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)	手賀沼課	39
		99 ふれあい工房の運営管理事業	クリーンセンター	40
		100 新たな文化交流拠点施設整備の検討	企画課、生涯学習課	40
		101 地域交流教室の提供	生涯学習課	40
		102 公民館施設管理運営	生涯学習課	41
		103 湖北地区公民館空調設備更新工事 【H28事業完了】	生涯学習課	41
		104 フリースポット(Wi-Fi)の提供	生涯学習課	41
		105 施設予約システムの運用	生涯学習課、文化・スポーツ課、市民活動支援課	41
		106 市民体育館管理運営	文化・スポーツ課	42
		107 体育施設管理運営事業、維持補修	文化・スポーツ課	42
		108 武道施設の建設整備の検討	文化・スポーツ課	42
		109 市民体育館維持補修、改修事業	文化・スポーツ課	42
		110 学校体育施設開放事業	文化・スポーツ課	43
		111 ふれあいキャンプ場管理運営	文化・スポーツ課	43
		112 文化財等の保存と活用	文化・スポーツ課	43
		113 杉村楚人冠記念館の保存と活用	文化・スポーツ課	44
		114 旧井上家住宅の保存と活用	文化・スポーツ課	44
		115 白樺文学館の運営	文化・スポーツ課	44
		116 手賀沼文化拠点整備計画の推進 【H30事業完了】	文化・スポーツ課	45
	117 移動図書館業務	図書館	45	
	118 図書館の整備	図書館	45	
	119 図書館会議室及び展示スペースの提供	図書館	46	
	120 鳥の博物館管理運営	鳥の博物館	46	
	121 鳥の博物館空調設備更新工事 【H28事業完了】	鳥の博物館	46	
	122 鳥の博物館展示リニューアル	鳥の博物館	46	
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用	123 手賀沼ふれあいウォーク	健康づくり支援課	47	
124 近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	文化・スポーツ課	47		
125 手賀沼エコマラソン支援事業	文化・スポーツ課	47		
126 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	48		

体系図 (目次)

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充	127 (再掲) 生涯学習出前講座の運営	生涯学習課	49
		128 生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	生涯学習課	49
		129 (再掲) 生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	49
		130 アビスター次保育事業	生涯学習課	49
		131 (再掲) 生涯学習ボランティア	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	49
		132 文化事業市民スタッフ	文化・スポーツ課	49
	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	133 防災士及び災害救援ボランティア育成事業	市民安全課	50
		134 失語のある人向け意思疎通支援者派遣事業	障害福祉支援課(障害者福祉センター)	50
		135 介護予防サポーター養成講座	高齢者支援課	50
		136 子育てサポーター養成講座	保育課	51
		137 環境レンジャー活動への支援	手賀沼課	51
		138 緑のボランティアの森づくり	公園緑地課	51
		139 生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施 【H29事業廃止】	生涯学習課	51
		140 生涯学習審議会委員の研修	生涯学習課	52
		141 スポーツ指導者の研修制度の確立	文化・スポーツ課	52
		142 市民コンサート	文化・スポーツ課	53
	③学んだ成果を評価するしくみの構築	143 市民参加型コンサート	文化・スポーツ課	53
		144 文化祭	文化・スポーツ課	53
		145 寄贈絵画展	文化・スポーツ課	53
		146 めるへん文庫	文化・スポーツ課	53
		147 (再掲) 郷土芸能への支援	文化・スポーツ課	54
		148 (再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業	文化・スポーツ課	54
		149 市民のチカラまつりの実施	市民活動支援課	55
		150 (再掲) あびこ子どもまつり	子ども支援課	55
5 学びでつながるまちづくり	①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実	151 (再掲) げんきフェスタ	子ども支援課	55
		152 学校支援事業の充実	指導課	55
		153 (再掲) 生涯学習学習相談体制の整備	生涯学習課	55
		154 (再掲) 長寿大学	生涯学習課	55
		155 (再掲) 家庭教育学級	生涯学習課	55
		156 (再掲) のびのび親子学級	生涯学習課	55
		157 (再掲) 市民カレッジ 我孫子を知るコース 【H29事業統合】	生涯学習課	55
		158 在住外国人支援事業	企画課	56
		159 公募補助金制度の運用	市民活動支援課	57
		160 市民公益活動補償制度の運用	市民活動支援課	57
	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成	161 資源循環型社会に関する市民講座への派遣	クリーンセンター	57
		162 我孫子市創業支援事業	企業立地推進課	58
		163 市民の学習活動への支援	生涯学習課	59
		164 (再掲) 視聴覚教材・機材の管理及び貸出	生涯学習課	59
		165 社会教育団体活動支援	生涯学習課	59
		166 文化芸術団体活動支援	文化・スポーツ課	59
		167 (再掲) スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	文化・スポーツ課	60
		168 施設・団体へ図書等の貸出サービス	図書館	60
		169 鳥に関する学習への支援	鳥の博物館	60
		170 鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	鳥の博物館	61
	③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築	171 我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携	企画課	62
		172 消費生活展の実施	商業観光課	62
		173 エンジョイ手賀沼	手賀沼課	62
		174 (再掲) 健康フェア	健康づくり支援課	62
175 (再掲) ジャパンバードフェスティバルの開催		手賀沼課・商業観光課・鳥の博物館	62	
176 青少年相談員事業		子ども支援課	69	
177 (再掲) 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)		子ども支援課	63	
178 子育てフェスタ		保育課	63	
179 学校評議員設置事業		学校教育課	63	
180 大学との協定による学校支援学生ボランティア事業		指導課	63	
181 キャリア教育の推進(小中学生の職場体験学習事業)		指導課	64	
182 生涯学習審議会の運営		生涯学習課	64	
183 (再掲) 市外図書館・大学・関係機関との連携協力		図書館	65	
184 図書館実習生受入・施設見学		図書館	65	
185 山階鳥類研究所との連携・交流	鳥の博物館	65		

…事業廃止または完了

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり				基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり			
①学びへの情報提供体制の充実				①学びへの情報提供体制の充実			
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	1	暮らしの便利帳・ガイドブックの発行 市民や転入者に行政サービスや公共施設の利用案内などの市政情報を提供する。	※ガイドマップは現在作成していない(平成28年度に商業観光課へ事業移管)。ここでは平成25年度から発行しているガイドブック「ABI ROAD」について記載する。 ●ガイドブック「ABI ROAD」 ・平成29年度に改訂したABIROADを都内観光情報発信拠点、千葉県観光物産館(千葉市)・情報館(木更津市)、県内(千葉市・我孫子市)ホテル等に配置した。 ●暮らしの便利帳 ・発行なし ◇◆指標と実績◆◇ ●ガイドブック「ABI ROAD」配布部数(H29年)～… 日本語版 5,000部、英語版 1042部、中国語版 983部、韓国語版 583部	A. 成果・効果があった 都内や県内で特に日本語版の人気の高く、想定よりも早く在庫がなくなった。 各施設から追加配布の要望に応えるため平成31年度に日本語版の増刷を行う。	A. 現状どおり推進 在庫数を見ながらできるだけ多くの施設で配布を行ってもらうようにする。 また、次回改定時にはインバウンド需要の取り込みに向けて中国語の内、台湾エリア対象の簡体字版の作成も検討する。	●暮らしの便利帳 平成31年度に発行するか検討中です。 ●ABIROADの日本語版を14000部増刷する予定です。	秘書広報課
	2	広報「あびこ」の編集・発行 市民が必要としている行政情報などを、わかりやすく、正確に、確実にお知らせする。	新聞折り込み部数が減少したため発行部数を変更 【広報あびこ発行部数】 平成30年4月16日号～平成31年4月1日号 47,000部 ※平成29年4月16日号～平成30年4月1日号 50,000部 前年度と同様、写真やイラストなどを活用し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めた。 ●広報あびこ 【発行回数】 月2回(1日・16日) 【配布方法】 新聞折り込みと新聞未読世帯には申し出により宅配による配布。市役所本庁舎ロビー、各行政サービスセンター・近隣センター・公民館・図書館・市民プラザなどの公共施設でも配布。 ◇◆指標と実績◆◇ 【広報あびこ発行部数】 平成30年4月16日号～平成31年4月1日号 47,000部	A. 成果・効果があった 施策・事業、イベント、各種講座や市民団体のお知らせなど、市民に関係するさまざまな情報を発信できた。	A. 現状どおり推進 市民と市が情報を共有するためには、市政や市民の暮らしに関する情報を提供している広報あびこの発行は現状どおり推進する必要がある。	なし	秘書広報課
	3	男女共同参画情報紙の発行 男女共同参画社会の重要性や必要性に対する市民の理解を深めるため、男女共同参画情報紙を発行する。	年2回発行。 ●男女共同参画情報紙「かがやく」 【発行回数】 年2回(9月、3月) 【発行形式】 A4・4ページ(全ページカラー) 【発行部数】 45,000部。自治会を通じ全戸に配布するほか、市公共施設等にも配置。 【33号】特集「働き方『自分スタイル』 我孫子で起業した女性たちに聞く」 【34号】特集「しなやかにチームを育てる 女性リーダーに学ぶ」 ◇◆指標と実績◆◇ 【情報紙発行部数】90,000部 (2回発行、各45,000部)	A. 成果・効果があった 今年度は国の交付金対象である我孫子市女性活躍推進プロモーションにテーマを絞り込んだため、ターゲットを明確にすることができた。定期発行の情報紙とは別に「女性の働きかた ダイバーシティ」と題した冊子も作成し、これから仕事を選ぶ学生やいわゆるM字カーブの底にあたる子育て世代の女性を対象として、学校や民間企業などへの配布拡大を図った。	B. 改善・見直しを行う 情報紙の発行は継続するが、発行形態は従来の方法を見直す。また、紙媒体に留まらず時代に即した様々な情報発信を実践する。 自治会を通じての各戸配布は全庁的方針から今後は実施せず、より効果的な配布方法に転換する。	発行形態、発行部数、配布方法の変更。	秘書広報課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	4	<p>財政情報の提供</p> <p>広報やホームページなどを通して、市の当初予算の状況、執行状況、決算の状況及び財務諸表などの財政情報をわかりやすく市民に提供する。</p> <p>●広報あびこ <<4月>> 平成30年度当初予算の概要 <<7月>> 平成29年度下半期予算の執行状況 <<11月>> 平成31年度予算の編成方針 <<12月>> 市の財政状況「平成29年度普通会計決算と平成30年度上半期の執行状況」 <<3月>> 平成31年度予算の編成状況 <<3月>> 平成29年度普通会計財務書類4表 ●ホームページ ホームページへ財政分析資料等の掲載 ●出前講座（【テーマ】我孫子の財政）</p> <p>【日時】平成30年5月16日（水）10時30分～11時30分 【参加者数】 6名</p> <p>【日時】平成31年2月18日（月）15時00分～17時30分 【参加者数】 5名</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 ・目標値 8,000件 ・実績 18,866件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>・市の財政について、広報・ホームページを活用して情報を提供した。 ・出前講座に財政課職員が講師として出向き、我孫子市の財政状況をご理解していただいた。</p> <p>・より多くの市民に財政について興味を持ってもらうため、難解な専門用語や仕組みをさらに分かりやすく伝える必要がある。</p>	A. 現状どおり推進	なし	財政課
		5	<p>食に関する情報の提供及び啓発の充実</p> <p>食に関する正しい知識を得て、おいしく楽しく食事する人を増やすために、食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。食品を選択する際の情報源である食品表示（栄養成分表示など）についても、引き続き出前講座や我孫子市食育だよりなどで啓発を行う。</p> <p>●食育だより 【発行月】 6月、9月、12月、3月の計4回 【配布枚数】 13,000枚／号、これに加え、がん集団検診で配布 ●ホームページ ホームページに食育だよりを掲載。 ●出前講座 市役所メニュー「知って得する食品表示」及び「メタボを防ごう！肥満解消！時短簡単クッキング！」を開催。 平成30年度の利用は、それぞれ1回16名及び2回30名で合わせて3回46名。 ●がん集団検診での啓発展示 平成30年度に実施した集団検診（胃がん検診・乳がん検診・子宮がん検診）の会場で啓発展示を行った。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【食育便り発行枚数】 59,000枚 【出前講座等参加者】本講座に参加し学習したことを、今後、活用・実行できそうか97.6%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>・食育だよりの配布により日頃健康づくり支援課の事業への参加が少ない小・中学校に通う児童・生徒を持つ保護者に情報提供を行うことができた。 ・出前講座に参加した方に対し、今後の食生活改善につながる啓発を行うことができた。</p> <p>なし</p>	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課
		6	<p>バリアフリーの情報提供事業</p> <p>市民と協働で市内のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」としてまとめ、障害のある方や高齢の方をはじめ、妊娠中の方や小さなお子様連れの方など、誰もが安心して外出を楽しめるように、情報提供を行う。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページへのアクセス数】 16,311件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p>	A. 現状どおり推進	なし	障害福祉支援課 障害者福祉セ

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	7	<p>子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営</p> <p>子どもたちが地域における様々な体験活動への参加を通して、心身ともに健やかに成長することを願い、体験活動をはじめとする様々な活動に関する情報を広く収集、提供する。</p> <p>●子ども向け情報紙「あびっ子ネット」 【部数】年間5回、各回17,500部を発行 【配布場所】市内幼稚園、保育園、小中学校、小児医院や公共施設に直接配布すると共に、小児医院や公共施設に設置し、広く市民に配布する。 【情報紙の発行の方法】編集の段階から市も関わりながら、市内の子ども関係団体及び市民から組織される「あびこ子どもネットワーク」に業務委託することで、子ども関係団体間の情報交換を図りながら情報を精査し、市民目線で子ども向けの情報を発信している。</p> <p>●ホームページ 紙媒体での情報のみでなく、より広く最新の情報を発信するため、インターネットでの配信として、引き続き「あびっ子ネット」ホームページを運営する。 【運営の方法】ホームページの編集・運営管理を情報紙発行と同じ「あびこ子どもネットワーク」に委託し、情報紙に掲載できなかった情報を随時掲載するなど情報の連携を図る他、提供された情報を精査して掲載しホームページ編集及び最新情報の更新を行なう。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【情報紙「あびっ子ネット」配布枚数】 年5回発行 新緑号 30年4月25日発行 17,500枚 夏特大号 30年7月13日発行 17,500枚 秋号 30年10月5日発行 17,500枚 冬号 30年12月7日発行 17,500枚 春号 31年3月8日発行 17,500枚</p>	A. 成果・効果があった 市民団体や個人、公共団体が企画し地域で行われる子どもと保護者向けの催し物やお知らせ、参加者の体験等に関する情報を発信することにより、催し物等への参加・体験を促し、子ども達の健やかな成長を育むことを支援できた。	A. 現状どおり推進	なし	子ども支援課
		8	<p>子育て支援情報の発信</p> <p>乳幼児を子育て中の親の育児不安や孤立化を防ぎ、子育てに喜びや楽しみを感じられるよう、情報提供を行うとともに、必要に応じ援助・斡旋を行う。</p> <p>●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「出前保育」「広場でパパをしよう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」</p> <p>●我孫子市民子育てサークル(親子向け)情報紙の発行 【日程】3月末 【配布場所】4広場・情報コーナー・各会議・子育て応援隊・フェスタや各イベントで配布 【発行枚数】500枚発行</p> <p>●登録制メール配信サービス(子育て応援情報) 随時</p> <p>●インターネット 随時</p> <p>【発信状況】 ・市ホームページ「あびこで子育て」・イベントカレンダー・イベントレポート(ブログ)の作成 ・「enjoy/パパ」・「子育て支援施設」・「子育て支援サービス」など、子育て支援センターのタッチパネルでの情報提供 ・市フェイスブックに子育て情報を投稿</p> <p>●窓口・電話による子育て情報提供(保育コンシェルジュ)</p> <p>●子育て支援ガイドブック「わく2すく2」改訂版の発行 【日程】10月発行 【部数】7500部 【対象】我孫子市内幼稚園・保育園在園児、在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など</p> <p>●「我孫子市の子育て情報を得るには」「スマイル・ママ、ベビーのHAPPYタイム」「るんるんパーク」の案内チラシ作製「我孫子市子育て支援施設」改訂</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【相談件数】1295件</p>	A. 成果・効果があった 利用者が必要な情報を得て活用することにより、育児不安の軽減や孤立化の防止につながっている。	A. 現状どおり推進	なし	保育課
		9	<p>手賀沼情報の提供</p> <p>手賀沼の水質変化を市内の掲示板で3ヶ月に1回更新するとともに、手賀沼に関するイベント等の情報をホームページや広報で提供し、手賀沼に対する関心を深める。</p> <p>【掲示場所】 JR4駅(我孫子・天王台・湖北・布佐)の各南北口階段、行政サービスセンター7施設、市役所本庁舎1階、水の館(1階、3階)、アビスタ、手賀沼ピオトープ、手賀沼公園(手賀沼公園沖水質データも掲示) 計20箇所</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【掲示場所】20箇所</p>	A. 成果・効果があった 市民の目に触れるところに掲示することで目的とする情報を提供できた。中には掲示板をきっかけにしたお問い合わせもあった。	A. 現状どおり推進	なし	手賀沼課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	10 都市計画に関する情報の管理・提供 常に最新の都市計画図等の作成に努め、都市計画情報を市民・事業者に広く提供する。	・市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行う。 ・都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」およびホームページの更新を行い情報提供を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 計8425件 (我孫子市の都市計画の概要:972件、高度地区の規定について:709件、都市計画図検索画面:6744件)	A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。	A. 現状どおり推進	なし	都市計画課
		11 都市計画図等の作成・管理事務 常に最新の都市計画図等の作成に努め、都市計画情報を市民・事業者に広く提供する。	・都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにする。 ・都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売する。 ・都市計画を変更したため、告示後の内容で都市計画図を印刷した。(400部) ◇◆指標と実績◆◇ 【販売枚数】 104枚(都市計画図:45枚、白図:59枚)	A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。 地形図が古い(作成H19年度)	A. 現状どおり推進	なし	都市計画課
		12 景観形成情報発信・啓発事業 多くの市民に景観への関心を持ってもらうため、市民団体との協働によるイベント実施や、印刷物の発行、ホームページ等の広報活動を通して、景観に関する情報発信及び啓発を行う。	1. 我孫子のいろいろ八景歩きの実施 市民の応募により我孫子の魅力ある景観ポイントとして選ばれた「我孫子のいろいろ八景」を中心に、市民ガイドと共に街を散策するイベント「我孫子のいろいろ八景歩き」を8回実施し、計147人の参加があった。 ◆平成30年度「我孫子のいろいろ八景歩き」実施実績 ①「マンションストリートから森をぬけるコース」 【実施日】5月20日(日)【参加者】19人 ②「将門伝説の地と中里市民の森を行くコース」 【実施日】5月27日(日)【参加者】13人 ③「利根川と布佐の里道を歩くコース」 【実施日】6月3日(日)【参加者】19人 ④「ハケの道と坂道の岡発戸こもれびコース」 【実施日】6月10日(日)【参加者】16人 ⑤「白樺派の散歩道と水辺のまちなみコース」 【実施日】11月1日(木)【参加者】15人 ⑥「高野山台地の八景と古墳を巡るコース」 【実施日】11月8日(木)【参加者】21人 ⑦「古道をたどり森と水辺が招く古利根コース」 【実施日】11月15日(木)【参加者】24人 ⑧「布佐・新木三大緑地公園コース」 【実施日】11月22日(木)【参加者】20人 2. 我孫子のいろいろ八景歩き関連マップの作成 成田線の車窓から見える魅力的な景観を紹介する「成田線車窓八景マップ」を10,000部発行し、市内各公共施設や各駅(我孫子・天王台・湖北・布佐の4駅)で配布すると共に、我孫子市ホームページに掲載した。 ◇◆指標と実績◆◇ 「我孫子のいろいろ八景歩き」合計参加者数…147人	A. 成果・効果があった 1. 我孫子のいろいろ八景歩きの実施 ・アンケートの結果、参加者の約98%から、八景歩きの実施は我孫子の景観に関心を持ってもらう上で効果があるとの回答が寄せられた(※「効果がある」…74.1%、「やや効果がある」…23.8%)。 本事業の実施により、我孫子の魅力ある景観を広めるきっかけづくりが出来たと考える。 2. 我孫子のいろいろ八景歩き関連マップの作成 ・一部の施設では設置して程なく品切れになるほど好評を得ており、我孫子市の魅力ある景観のPRに大きく貢献していると考え。 「我孫子のいろいろ八景歩き」の一部の開催日を日曜日に設定するなど、幅広い年齢層が参加しやすいよう工夫しているが、参加者の多くが60代以上であり、特に若年層に我孫子の景観に関心を持ってもらう仕掛けづくりが課題となっている。	A. 現状どおり推進	若年層に我孫子の景観に関心を持ってもらうための活動として、中央学院大学と連携し、同大学の学園祭にて我孫子の魅力ある景観のPRを行う予定。	都市計画課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
	13	あびバス景観マップの作成 多くの市民に景観への関心を持ってもらうとともに、あびバス利用の促進や観光資源としての活用を図るため、市民団体と協働して、あびバス景観散策マップを作成する。	平成29年度をもって事業完了のため廃止 ◇◆指標と実績◆◇			なし	都市計画課	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	14	住宅情報の総合的提供 市のホームページに「住まい」に関する情報提供ページを設け、市が行っている住宅施策や市営住宅、マンション管理等の情報を提供する。	市ホームページや広報を活用し、関連課等と連携しながら広報手段を検討し、必要とされる情報を幅広く発信する。 ●住まいに関わる情報発信(ホームページ) ・住まいに関わる相談(住宅、不動産相談) ・マンション管理(セミナー、個別相談) ・住まいに関わる助成、補助(若い世代の住宅取得、住宅リフォーム補助金) ・市営住宅(入居募集、団地詳細)(広報等) ・若い世代の住宅取得補助金(4/1、6/1、11/1、2/1) ・我孫子市住宅リフォーム補助金(4/1、1/1) ・マンション問題個別相談会(4/1、10/1、2/1) ・マンション管理セミナー(6/1、10/1、11/16) ◇◆指標と実績◆◇ 【住宅・不動産相談申込件数】 住宅相談:16件 不動産相談:29件 マンション管理(セミナー:4団体、個別相談:9団体) 若い世代の住宅取得補助金:326件 住宅リフォーム補助金:186件(内、中止3件)	A. 成果・効果があった 各種制度の利用者数も活況を呈しており、情報提供が利用者の問題解決に少なからず寄与したのとなっている。 ホームページの見やすさをより工夫していくことや他の周知方法も検討していく。	A. 現状どおり推進	・併用が可能な関連する制度は、情報を組併せて効果的に発信していく。 ・関係各課等と協力・連携を図りながら、情報発信を行っていく。	建築住宅課
		15	水道広報活動推進事業 水資源の重要性や、水道事業運営状況等の積極的な情報提供を図る。	【「あびこの水道」発行部数】 48,500部 「広報あびこ」に倣い、新聞折込数を3,000部減ずる。 年2回の発行に加え、10/1に給水開始50周年の50号(臨時号)を発行 ●広報「あびこの水道」発行 【発行回数】年3回(No.49 5/16号・No.50 10/1号・No.51 3/16号)発行 ・新聞折込込みにより市内全戸配布 ・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送 ・市関連施設の窓口にて配布 ●水道施設見学会 【対象者】市内在住の小学生とその保護者 【募集人数】24人 【実施日】平成30年7月25日 【参加者数】26人 ●水道水のPR ・広報やイベントでの我孫水(ペットボトル)配付を通して、水道利用者に、水道水の安全性、おいしさをPRした。 ◇◆指標と実績◆◇ 【「あびこの水道」発行部数】 48,500部 (年3回 145,500部)	A. 成果・効果があった 水道施設見学会実施後のアンケートでは、楽しかった、わかりやすかったといった意見をいただいた。	A. 現状どおり推進	●広報「あびこの水道」発行 前年度は、給水開始50周年だった為、臨時号を発行したが、今年度は通年どおり年2回の発行とする。	水道局経営課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	16 生涯学習情報の発信 各課で実施する生涯学習関連事業について、「あびこ楽校ニュース」や「生涯学習のホームページ」などにより広く情報の発信を行い、生涯学習関連事業の活用を拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ●ホームページ 生涯学習に関連するイベントを生涯学習のページ「学び・生涯学習」で紹介。 ●あびこ楽校ニュース 生涯学習の情報紙として発行。 【発行回数・部数】4回(34号～37号)、各800部 【配付先と設置場所】教育委員会、市役所本庁ロビー、水の館、アピスタ、湖北地区公民館、図書館湖北台分館、図書館布佐分館、鳥の博物館、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、市民体育館、市内近隣センター、行政サービスセンター、高齢者なんでも相談室、市民プラザ、アピシルベ、農産物直売所、保健センター、消費生活センター、商工会、子ども発達センター 【発行月】5月、11月、1月、3月 【内容】イベントスケジュール、子ども食堂、生涯学習の顔「アピスタ」、文化芸術の顔「湖北地区公民館」、単発講座PR、人財！トピックス ●〔楽〕マーク 各課で実施する生涯学習関連事業について、広報掲載時にあびこ楽校事業として【楽】マークを付けて、生涯学習事業の周知・普及を図った。 <p>◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習トップページのアクセス数】 3,778件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>あびこ楽校ニュースはリニューアルし、より見やすくイベントスケジュールや公民館講座等の情報提供を行った。HPでは随時イベントスケジュール等を掲載するなど情報発信した。</p> <p>前年度よりホームページのアクセス数が伸びていない。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う</p> <p>ホームページの構成を見直していく必要がある。</p>	なし	生涯学習課
		17 生涯学習情報提供システムの整備 学習や活動を行う市民や団体が自ら情報を提供することができるホームページの作成する。また、市が提供する人材情報・団体情報・イベント情報等の学習情報をメール配信やホームページ閲覧等を用いて、いつでも情報の発信や収集ができる環境を提供する。	<p>【事業廃止】</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ なし</p>			なし	生涯学習課
		18 電腦考古博物館の運営 我孫子の文化財とその保護の取組みについて、市民に広く知ってもらうため、市の文化財のホームページである「あびこ電腦考古博物館」から文化財の情報を発信する。	<p>今年度も継続して、発掘調査情報、イベント情報、指定文化財などの情報更新を行っていく。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 98, 373件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>情報管理を適切に行い、情報更新を速やかに行うことができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	文化・スポーツ課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	19 図書館における郷土・行政資料サービス	我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供した。我孫子資料については、特にアビスタ本館が中心となって収集・保存した。 白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携を図り、「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営及び講座の開催を行った。 ◇◆指標と実績◇◆ 【郷土行政資料(我孫子資料・千葉県資料)の年間貸出冊数】 3,385冊(昨年度比 85.0%)	A. 成果・効果があった 我孫子市や千葉県に関する郷土・行政資料を収集・保存・提供することにより、市民が郷土への理解を深め、愛着をもって生活し、主体的に行政に関わるための一助となった。また、市の文化施設と連携することにより、郷土資料の充実及び事業のPR・共同開催を図り、互いに利用を促進することができた。 「我孫子にゆかりの人と作品コーナー」の運営にあたっては、今後も白樺文学館、杉村楚人冠記念館と連携していくことが欠かせない。また、他の市内文化施設とも連携して展示や資料提供の工夫をしていく必要がある。	A. 現状どおり推進 郷土資料の買い替えや複本の購入を進め、市役所各課と連携することで、我孫子市でしか入手できない資料を収集・保存・提供できた。我孫子市として後世に伝えていくべき文化遺産を今後も収集・保存・提供していくため、引き続き推進していく。	なし	図書館
		20 図書館の情報化推進	図書館電算システム及び事務機器等を運用し、トラブル等に対処した。 館内検索コンピュータを運用し、利用者サービスに努めた。 新聞記事の有料データベースを活用して、利用者サービスに努めた。 ◇◆指標と実績◇◆ 【インターネット及び館内検索コンピュータからの予約(リクエスト)受付件数(年間)】 100千件(昨年度比 103.1%)	A. 成果・効果があった 高度なレファレンス(調べもの)に対応するため、外部データベースの導入及びインターネットの活用は必要不可欠だった。電算システムを的確に運用することにより、市民の利便性が向上した。 市民の図書予約システムの認知度を向上させる必要がある。	A. 現状どおり推進 次期電算システムの更新(2021年度)に向けて検討を進めていく。	なし	図書館
		21 鳥の博物館ホームページの運営	昨年度に引き続き、企画展やイベント情報など最新情報を発信していく。 【ホームページ更新回数】 141回 ◇◆指標と実績◇◆ 【ホームページ更新回数】 指標:160回 実績:141回	A. 成果・効果があった 広報を見られない地域の方にも広く展示・イベント・ショップのグッズ等をPRし、来館者数やショップ売上に効果があった。 更に多くの方に見てもらえるよう工夫する。	A. 現状どおり推進 より魅力ある情報を発信していく。	なし	鳥の博物館

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	
②学びにつなげるための相談体制の充実					
22	生涯学習学習相談体制の整備 市民一人ひとりの学習ニーズに対応した学習相談に応じるため、さまざまな学習情報を収集し、提供できるよう学習相談体制を整備する。	生涯学習センター「アビスタ」を拠点に我孫子市内外で行われている様々な学習情報の収集と提供を行う。また収集した情報を活用した学習相談を行う。 各課で実施している生涯学習関連事業や学校等で活躍している地域の方の人材情報や団体情報・イベント情報を収集し、インターネット等で市民に情報を提供する。 《出前講座メニュー表》 【発効日】随時発行 【内容】生涯学習出前講座の利用方法、メニュー、市民講師プロフィール ◇◆指標と実績◆◇ 【学習相談件数】約80件	A. 成果・効果があった 市民講師講座数が増え、メニューが充実した。講師の方には積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。	A. 現状どおり推進	なし
23	生涯学習人材バンクの整備 市民の能力、経験や学習の成果をボランティア活動や市民活動に活かすため、絶えず人材情報や生涯学習団体情報のデータ更新を行い、情報の提供を行う。	「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」について、3年ごとに定期更新を行い最新の情報へ更新する。平成30年度は更新年度であり、登録者、登録団体に対して登録情報内容を通知し、内容を更新した。 また、随時登録募集を行い、情報数を増やすとともに、問い合わせに対し迅速に回答できるようデータ管理をした。 【平成30年度末 人材情報登録件数】 平成30年度 79人 【平成30年度末 団体・グループ情報】 平成30年度 130団体 ◇◆指標と実績◆◇ 【平成30年度 人材登録者更新】(平成30年9月1日) 更新手続き対象者 89人 非更新者(登録削除) 15人 新規登録者 5人 【平成30年度 団体・グループ情報登録者更新】(平成30年12月1日) 更新対象団体 164団体 非更新団体(登録削除) 43団体 新規登録団体 3団体 更新団体 124団体 更新後の新規登録団体 6団体	A. 成果・効果があった 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」をホームページや閲覧用冊子で参照した方から多数の問い合わせがあり、登録者・登録団体をを紹介することで活動を始めようとする市民を支援した。 なし	A. 現状どおり推進	なし
24	生涯学習ボランティア 出前講座市民講師登録等のボランティア登録を担当課で行い、市民が持つ様々な経験や専門的知識を活かせる場を提供する。	市民が持っている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と生涯学習に関わるボランティアの活用を図った。 《子ども支援課》 宿泊通学スタッフ 9人 あびっ子クラブサポーター 224人 《保育課》 子育て支援施設子育てボランティア 16人 子育てサポーター 88人 保育園における災害時協力員 41人 インターンシップ 22人 《指導課》 学校支援ボランティア 延42,599人 19団体 《文化・スポーツ課》 文化事業市民スタッフ 30人 《鳥の博物館》 鳥の博物館市民スタッフボランティア 30人 《図書館》 図書館市民スタッフ(読書普及スタッフ) 10人 図書館市民スタッフ(対面朗読スタッフ) 10人 《生涯学習課》 生涯学習出前講座市民講師 58人、7団体 保育市民スタッフ事業(学習中の保育) 14人 ◇◆指標と実績◆◇ 【平成30年度 ボランティア登録数】 《個人登録数》552人 《団体登録数》26団体	A. 成果・効果があった 多くの市民の方にボランティア登録してもらい、市民ボランティアのサポートを受け、生涯学習を推進した。	A. 現状どおり推進	なし

基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

②学びにつなげるための相談体制の充実

生涯学習課他6課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課		
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	②学びにつなげるための相談体制の充実	25 視聴覚ライブラリーの管理・運営 現在保有する視聴覚教材・機材を維持管理しながら、広く市民や団体に貸し出し、市民の生涯学習活動を支援する。	<p>保有する機材・教材を有効活用し、貸し出しを行う。</p> <p>●視聴覚教材及び機材の貸出(通年) 【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者 【視聴覚機材利用件数】 186件 【視聴覚教材利用件数】 16ミリフィルム:75件 ビデオソフト:2件 DVD:10件 合計 87件</p> <p>●機材・教材保有状況 ・16ミリ映写機、液晶プロジェクター、ポータブルアンプセットなど約15種類の機材 ・16ミリフィルム:325本 ・ビデオソフト:187本 ・DVD: 231本</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【視聴覚ライブラリー利用件数(機材・教材の合計)】 273件(団体・個人)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>定期的を使用している団体や、公民館等への長期貸出を行っており、需要に対しての供給を行うことができる。</p> <p>機材の故障・老朽化のため貸出できる機材に限りがあり、貸出が集中すると対応しきれないことがある。</p>	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課	
		26 図書館カウンターサービス 図書館資料の利用により、市民が知る自由を享受し、より豊かな生活を送ることが出来るよう、自主的な学習活動を支援し、幅広い学習機会を提供する。	<p>・図書館資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行った。また、返却された図書館資料を元の書架に戻し、書架整理を行った。</p> <p>・図書館サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を閉館した。また、アビスタ本館は午後8時まで閉館した。</p> <p>・窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行った。</p> <p>・利用者の求める図書館資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行った。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【年間貸出冊数】 1,026,557冊(昨年度比 94.3%) 【年間貸出利用者数】269,275人(昨年度比 93.3%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>我孫子市の1人あたりの貸出冊数はトップクラスであり、多くの市民が利用した。幅広く奥深い調査研究への援助等も自主的な学習活動の充実には必要不可欠だった。</p> <p>研修への参加及び個別指導等により、職員だけでなく嘱託司書・臨時職員のスキルアップを行う。</p>	A. 現状どおり推進	市民が学びたい時に学べる学習機会の充実に必要であり、今後も引き続き推進していく。	なし	図書館
		27 図書館利用に障害のある方へのサービス 録音図書の貸出や、図書の郵送貸出等、ハンディキャップを持つ人の特性に合わせた幅広いサービスを提供することにより、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。	<p>ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デジター録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行なった。</p> <p>また、ハンディキャップサービスのPRを行なった。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【宅配・郵送・対面朗読等年間利用件数】 《対面朗読サービス》 51回 《郵送貸出サービス(デジター録音図書含む)》 950回 《宅配サービス》 181回 《窓口でのデジター録音図書貸出》 545点</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>様々なサービスを提供することによって、ハンディキャップがある市民に対して、学びたい時に学べる機会を提供し、「知る権利」を保障することができた。</p> <p>ハンディキャップサービスの利用増に努める必要がある。</p>	A. 現状どおり推進	様々なハンディキャップがある市民の「知る権利」を保障するためにも、PR等の工夫をして一層の利用促進に努める必要がある。	視覚障害などで、絵や文字の本の利用が困難な方へ、布の絵本の貸出を開始する。	図書館

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
28	交通安全思想の普及	<p>保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察署、交通安全協会と連携・協力して交通安全教室を開催する。 模擬信号機、模擬交差点、車両等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をします。 また、必要に応じてDVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに、交差点での横断の仕方、自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償などを学習します。</p> <p>【日程・対象・参加者数】 ＜4月実施状況＞ 対象：布佐中1年、我孫子中1年、湖北台西小全学年 開催回数：6回 参加人数：1,271人 ＜5月実施状況＞ 対象：布佐南小全学年、白山中1年、第二小1年、久寺家中1年、わだ幼稚園園児、高野山小1年、我孫子高等技術専門校生徒、禮和保育園園児、根戸小1年、湖北台東小3年 開催回数：13回 参加人数：1,182人 ＜6月実施状況＞ 対象：第一小1～3年、並木小1～3年、湖北小1～3年、東あびこ聖華保育園園児、湖北台東小1・2年、聖華みどり保育園園児、新木小全学年、第四小1・3年、シルバー人材センター職員、ぽけっとランドあびこ保育園園児 開催回数：21回 参加人数：1,670人 ＜7月実施状況＞ 対象：布佐小1～3年、我孫子二階堂高校1年 開催回数：3回 参加人数：353人 ＜10月実施状況＞ 対象：川村学園付属保育園園児 開催回数：1回 参加人数：90人 ＜2月実施状況＞ 対象：湖北台保育園園児 開催回数：1回 参加人数：80人 ◇◆指標と実績◆◇ 【交通安全教室延べ開催回数】 45回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>我孫子市の交通事故発生件数は、平成30年では280件と平成29年285件より5件減少となった。 このうち子ども(中学生以下)の発生件数は平成30年は16件。昨年並み(平成29年16件)の件数に抑えられた。</p>	A. 現状どおり推進	なし	市民安全課
	<p>警察署、交通安全協会と連携し、交通安全教室の実施等、実践的な交通安全啓発活動を充実させ、交通安全思想の普及を図る。</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>疾病の一次予防の推進を図ることができたと考える。</p> <p>集団検診での健康教育のみの効果評価が難しい。</p>	A. 現状どおり推進	<p>なし</p> <p>集団検診での健康教育は、定期的に一定人数に啓発できる場であり、内容検討しながら継続実施とする。</p>	健康づくり支援課	
29	<p>集団健康教育</p> <p>保健センターで実施する各種がん検診等の場で、生活習慣病予防のための健康教育を実施する。</p>	<p>集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施する。 【内容】がん、禁煙、歯の健康、ロコモティブシンドローム等 【場所】保健センター 【参加者(延べ人数)】延べ実施人数9,939人(集団：子宮頸がん検診2,765人、乳がん検診3,871人(マンモグラフィ検査2,755人、超音波検査1,116人)、胃がん検診2,751人、骨粗しょう症検診552人) ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者(延べ人数)】 9,939人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>疾病の一次予防の推進を図ることができたと考える。</p> <p>集団検診での健康教育のみの効果評価が難しい。</p>	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課

基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

③学びへの関心を高めるための啓発の充実

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	③学びへの関心を高めるための啓発の充実	30 健康フェア	市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催。 【日程】10月7日 【場所】アビクオーレ 【主催】健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等) 【共催】(公財)健康・体力づくり事業財団・千葉県国民健康保険団体連合会 【内容】テーマ「楽しく続ける健康貯金」健康に関するイベント、健康相談・教育、講演等を実施。 【参加者】延べ2,102人 ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者アンケート】 «健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた割合» 96.4%	A. 成果・効果があった 来場者アンケートでは、「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた方が96.4%を占めた。事業を通して健康づくりへの意識向上を促せたと考える。	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課
		31 廃棄物に関する教育啓発事業	ホームページにおいて我孫子市におけるごみと資源の分別について周知を図るとともに、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会による「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」へ参加して啓発と回収を行った。 イベントや小学生を対象にした施設見学は、新規焼却施設建設準備に係る解体工事の34年度末まで休止の予定 出前講座については、市民講座と内容が重複するので市民講座で記述。 ◇◆指標と実績◆◇ 【事業参加回数】 1回 【事業開催回数】 0回	A. 成果・効果があった 市民からごみと資源の分別について理解が得られた。 「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」では、従来型携帯電話が29.6キログラム、スマートフォンが5.7キロ ホームページにおける啓発については、成果を定量化し難い。	C. 廃止・休止	イベント的な事業への参加予定がないため、休止といたしたい。	クリーンセンター
		32 石けん利用の推進	●保育園などでの啓発 ①【日程】7月7日 【場所】天王台さくら保育園 【参加者数】146人 ②【日程】7月7日 【場所】寿保育園 【参加者数】147人 ③【日程】7月26日 【場所】恵愛保育園 【参加者数】141人 ④【日程】9月1日 【場所】にこにこ広場 【参加者】313人 ●せっけん学習会 «手賀沼流域フォーラム» 【日程】7月21日 【場所】アビスタ 【参加者数】60人 ●イベント参加 «福祉ふれあいプラザ 福祉機器展» 【日程】11月17日 【場所】けやきプラザ 【参加者数】11人 «産業まつり» 【日程】10月21日 【場所】湖北台中央公園 【参加者数】約800人 ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 818人(産業まつりを除く)	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	商業観光課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	③学びへの関心を高めるための啓発の充実	33 小学校『歯磨き・食育指導』事業 乳歯から永久歯への交換期である児童の歯・口の健康づくりを目指すため、小学生に対して歯磨き・食育指導を実施する。	・市内各学校の児童に対し、1～2学期を中心に各教室で講話と歯磨き実習を実施。 【実施回数】98回 【場所】市内小学校13校 【参加者】2,807人 ・臨時歯科健康診断時に、希望する各学校で必要とする児童に対し、歯磨き指導を実施。 【実施回数】4回 【場所】市内各小学校 【参加者】283人 ◇◆指標と実績◆◇ 【給食後の歯磨きを実施している学校数】 12校	A. 成果・効果があった よく噛んで食べることを心がけている小学5年生の割合について、学校教育課の調査結果では平成29年度は89.4%であったが、30年度は92.6%と若干増加した。 給食後の歯磨きを実施している学校数が平成30年度は1校減少してしまったので、平成31年度は各校の養護教諭と連携し、13校になるよう歯科保健事業に取り組んでいく。	A. 現状どおり推進	なし	学校教育課
		34 生涯学習推進計画事業実施状況調査 市民が主役の生涯学習の推進を図るため、我孫子市生涯学習推進計画に基づく生涯学習関連事業の実施状況調査を実施し、その進行管理や調整を行う。	第三次生涯学習推進計画前期実施計画に基づく事業の平成29年度実施状況の具体的内容や成果・課題、また、平成30年度の実施予定内容など関連事業の調査を行った。事業の廃止や見直しがある場合には、その理由や代替事業の有無についても確認した。 ●平成29年度実施状況 実施計画(後期)に位置付けた181事業を実施計画事業として進行管理を進めた。 【廃止事業】 ・「まちづくり探検隊」(子ども支援課) 【休止事業】 ・「廃棄物に関する教育啓発事業」 【統合事業】 ・「スポーツ教室事業」 ●平成30年度の実施予定内容 平成30年度は、概ね29年度事業を継続して実施する。なお、廃止事業は下記のとおり。 【廃止事業】 ・「あびバス景観マップの作成」(都市計画課) ・「市民カレッジ 我孫子を知るコース」(生涯学習課) ・「生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施」(生涯学習課) ◇◆指標と実績◆◇ なし	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
		35 生涯学習推進本部の運営 生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進計画の策定のほか、生涯学習に関する施策や各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行う。	●推進本部会議 推進本部会議を開催し、各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行うとともに、生涯学習の推進を図った。 【日程】3月22日 【場所】議会棟 第一委員会室 【内容】 (1) 我孫子市第三次生涯学習推進計画実施状況と各課の課題、生涯学習審議会での意見を受け、各課の対応等について (2) 我孫子市第三次生涯学習推進計画前期実施計画の中間見直しについて (3) 「我孫子市子どもの読書活動推進計画(案)」について (4) その他 ●幹事会会議 推進本部会議を円滑に運営するため、7月に実施した第1回生涯学習審議会での意見等を踏まえ、各課で行われている生涯学習関連事業の課題やその対策について庁内連携で対応できないかなどを中心に会議を実施した。 【日程】2月20日 【場所】我孫子市役所分館小会議室 【出席者】企画課、市民活動支援課、健康づくり支援課佐、子ども支援課、手賀沼課、クリーンセンター、農政課、道路課、都市計画課、水道局経営課、学校教育課、指導課、文化・スポーツ課、生涯学習課、図書館 【内容】 (1) 我孫子市第三次生涯学習推進計画実施状況と各課の課題、生涯学習審議会での意見を受け、各課の対応等について (2) 我孫子市第三次生涯学習推進計画前期実施計画の中間見直しについて (3) 「我孫子市子どもの読書活動推進計画(案)」について (4) 図書館運営の今後のあり方について (5) その他 ◇◆指標と実績◆◇ 【推進本部会議開催数】 1回 【幹事会開催数】 1回	A. 成果・効果があった 第三次生涯学習推進計画 実施計画に基づく事業を行っていく中で、各課が抱える問題に対して情報共有を図ることができた。	B. 改善・見直しを行う 生涯学習推進本部を効率的に運営するため、組織形態の見直しを行う。	推進本部を廃止し、幹事会を「推進委員会」と名称変更し要綱を改正する。	生涯学習課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	36	健康スポーツ普及事業 市民の健康の保持・増進等を図るためスポーツ推進委員などと連携し、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し健康スポーツの普及を図る。多様化するスポーツニーズに対応するため、市独自のスポーツ指導者養成講座を開催。スポーツ指導者の方向性を統一し、我孫子市のスポーツ活動が安全・安心に展開できるよう指導者の育成を図る。	<p>ボールゲームフェスタの開催 【場所】我孫子市民体育館 【日程】平成31年3月3日(日) 【人数】午前の部:44組、午後の部:111人 【対象者】 午前小学1年生から小学3年生までの児童と保護者 午後小学4年生から小学6年生までの児童、生徒</p> <p>《総合型地域スポーツクラブ》 ・市内6つのクラブにおいて、ペタンク・ショートテニス・健康体操・太極拳・卓球等の活動を通し、総合型地域スポーツクラブとして活動する。 ・各クラブは毎週土曜・日曜日に活動している。 ・各クラブの活動の他に6クラブ連絡交流会を組織しており、6クラブ合同事業としてウォークラリーや市民のチカラにおいて総合型地域スポーツクラブの紹介映像やニュースポーツにデモンストレーションを行う。</p> <p>●体育協会の委託事業 《市民体育大会》 【開催日】 《チャレンジスポーツフェスタ》 【開催日】10月6日 《新春マラソン大会》 【開催日】1月27日 《大人のスポーツテスト》 【開催日】11月17日</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 《総合型地域スポーツクラブ》 【会員数】491人</p> <p>●イベント参加者数 《市民体育大会》【参加者】4,598人 《チャレンジスポーツフェスタ》【参加者】1,735人(延べ人数) 《新春マラソン大会》【参加者】1,549人 《大人のスポーツテスト》【参加者】63人</p>	A. 成果・効果があった 様々なスポーツイベントを行うことで、市民の健康保持・増進に寄与することができた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
			<p>読書普及活動</p> <p>依頼された市民団体の元へ出向き、読み聞かせや読書案内を行うことによって、市民の読書への関心を高め、図書館の利用促進を図る。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み聞かせの参加者数(年間)】 1,283人(前年度 1,077人)</p>	A. 成果・効果があった 市民が集う施設へ赴き、読み聞かせ等を行うことにより、多くの市民の読書への関心が高まった。特に、「離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ」は、子どもの読書活動を推進するうえで、必要不可欠な事業であり、読書普及において効果があった。	A. 現状どおり推進 市民の読書への関心を高め、図書館利用を促進するために必要不可欠な事業であるため、今後も引き続き推進していく。	なし	

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	③学びへの関心を高めるための啓発の充実	38 図書館PR 図書館利用促進のためのPRや情報提供を行い、多くの市民に図書館サービスを周知する。	図書館のホームページにおいて、利用促進のためのPR及び情報提供を行なった。「我孫子市の図書館」「たんた新聞」「秋のたより」等の刊行物を発行した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページの年間アクセス数】 1,444,117件(前年度 1,167,198件)	A. 成果・効果があった 図書館資料の予約受付総数のうち、73%がホームページからのオンライン予約であり、インターネットサービスに対する利用者のニーズの高さが確認された。 ホームページの作成、「たんた新聞」等刊行物の企画・編集・印刷等には、作業時間の確保が必要である。	A. 現状どおり推進 図書館の情報提供及びPRにおいて、ホームページは有効な手段なので、新規利用カード登録者に対するホームページの利用を促進するとともに、利便性の高いホームページとなるよう努めながら、今後も引き続き推進していく。	なし	図書館
		39 鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動 鳥類や自然科学への理解を深めることを目的に専門家を呼んで講演会を実施する。また、工作を楽しむ機会や、観察や体験の機会を提供するため、身近な材料でできる工作や、観察、体験を中心に実施する。	●講演・講座 《鳥博セミナー》 【日程】7月29日(日)【参加者】58人 《鳥学講座》 【日程】11月3日(土)【参加者】161人 《ゲストトーク》 【日程】11月4日(日)【参加者】29人 ●フロアスタッフイベント 【内容・日程】 《飛べ！鳥の紙ひこうき》 【日程】5月3日(木・祝)【参加者】31人 《鳥風教室》 【日程】5月6日(日)【参加者】13人 《鳥のゴムバンドをつくろう》 【日程】5月13日(日)【参加者】108人 《夏の遊びと研究大集合！》(8月4日から26日までの毎週土・日曜日と祝日) 【日程】 8月4日(土)「ティラノサウルスを研究しよう！」【参加者】66人 8月5日(日)「最強の動物！クマムシを探せ」【参加者】32人 8月11日(土)「メダカでアクアリウム」【参加者】59人 8月12日(日)「プープーカモ笛」【参加者】55人 8月18日(土)「しらべてみよう！フクロウのごはん」【参加者】16人 8月19日(日)「プープーカモ笛」【参加者】53人 8月25日(土)「ゴーストミミズク」【参加者】46人 8月26日(日)「くるくる鳥コプター」【参加者】42人 《鳥風教室》1月6日(日)【参加者】12人 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者数】 《講演・講座》 248人 《フロアスタッフイベント》 533人	A. 成果・効果があった 各講座では、鳥に関する興味深い話を各分野の専門家から直接聞く機会を設けることができ、市外からの来館者も多く訪れた。また、イベントでは特に小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容			令和元年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり							基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり
①地域への関心を高める学びの機会の推進							①地域への関心を高める学びの機会の推進
40	まちづくり探検隊 子どもたちがまちづくりについて意見を述べる機会と場をつくる。子どもたちの暮らしや環境をもっと良くしていくため、子どもたちががんばってできることや、大人に手助けして欲しいことを考える機会を提供する。	平成28年度をもって事業廃止。 ◇◆指標と実績◆◇ なし				なし	子ども支援課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
41	子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ) 放課後に子どもたちが安心・安全に過ごすことのできる環境を整備し、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育む。	<p>【登録料】 1000円/年間</p> <p>【活動内容】 フリータイム、チャレンジタイム</p> <p>【対象者】 あびっ子クラブ設置小学校に在籍する1年生から6年生まで全ての子ども</p> <p>【活動日】 月～金曜日：下校時から午後5時まで 土曜日：午前10時から午後5時まで(布佐南小あびっ子クラブのみ土曜日閉室) 学校の振替休業日：午前10時から午後5時まで 春、夏、冬休み等の長期休業日：午前9時から午後5時まで(ただし土曜日は午前10時～午後5時) ※11月～1月の閉室時間は、全日午後4時30分となります。</p> <p>【活動しない日】日曜日・祝日・年末年始・お盆は実施しません。</p> <p>【活動場所】あびっ子クラブメインルーム、体育館、校庭等</p> <p>【登録状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一小あびっ子クラブ：403人(登録率：73.4%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：お習字、パターゴルフ等 実施回数(年間)：163回 延べ参加人数：2,272人 ●四小あびっ子クラブ：564人(登録率：64.8%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、工作等 実施回数(年間)：191回 延べ参加人数：2,657人 ●根戸小あびっ子クラブ：610人(登録率：63.5%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：囲碁、お筆等 実施回数(年間)：304回 延べ参加人数：2,940人 ●並木小あびっ子クラブ：303人(登録率：75.6%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：スタディ、囲碁等 実施回数(年間)：125回 延べ参加人数：1,371人 ●二小あびっ子クラブ：254人(登録率：60.3%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、囲碁等 実施回数(年間)：89回 延べ参加人数：1,439人 ●三小あびっ子クラブ：457人(登録率：64.5%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：茶道、囲碁等 実施回数(年間)：117回 延べ参加人数：1,551人 ●高野山小あびっ子クラブ：385人(登録率：62.0%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、工作等 実施回数(年間)：105回 延べ参加人数：1,427人 ●湖北台西小あびっ子クラブ：196人(登録率：63.4%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、囲碁等 実施回数(年間)：92回 延べ参加人数：1,005人 ●湖北台東小あびっ子クラブ：196人(登録率：64.9%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：囲碁、工作等 実施回数(年間)：123回 延べ参加人数：1,400人 ●湖北小あびっ子クラブ：210人(登録率：58.5%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：囲碁、工作等 実施回数(年間)：107回 延べ参加人数：1,270人 ●新木小あびっ子クラブ：292人(登録率：61.2%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：折り紙、工作等 実施回数(年間)：182回 延べ参加人数：1,911人 ●布佐小あびっ子クラブ：101人(登録率：48.1%) ※9月からの人数 【チャレンジタイム】主な実施内容：カレンダー作り、囲碁等 実施回数(年間)：72回 延べ参加人数：437人 ●布佐南小あびっ子クラブ：102人(登録率：62.6%) 【チャレンジタイム】主な実施内容：お話、囲碁等 実施回数(年間)：94回 延べ参加人数：1,391人 <p>◇◆指標と実績◆◇ 【チャレンジタイム総実施回数】1,764回(全13クラブ合計)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>平成30年9月に布佐小あびっ子クラブが開設したことにより市内全小学校にあびっ子クラブが設置され、放課後により多くの子どもたちが安心・安全に過ごすことができ、また地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育むことができた。</p> <p>スタッフの年齢層の高齢化が進むことにより、長期的に考えると新しいスタッフの確保が必要となる。 また、加配児童等に対する保育の質向上が必要になってきたことから現スタッフに対するマネジメントをしっかりと行っていく必要がある。新スタッフ確保の際には、心身ともに健全である方、保育の質向上の意欲を持つ方を確保する必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>地域の方々がサポーターとして、チャレンジタイムや子どもの見守りに参加してもらえるようPRをしていく。また、サポーター会議を通して子どもへの対応など意見交換をし、運営に生かしていく。 目標値であった市内13校へのあびっ子クラブの設置が完了し、令和2年度から我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画が更新されることもあり、運営方法等を改めて見直していく。</p>	平成31年度から年間登録料が500円→1000円に変更。	子ども支援課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進
①地域への関心を高める学びの機会の推進

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの機会の推進	42 谷津ミュージアムづくり推進事業 手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区の谷津36.7ヘクタールをまるごと保全し、かつての農村環境の復活を目指す。	<p>●谷津の自然観察会 【日程】 5月12日(土) 雨のため中止 7月16日(祝) 参加人数:36人 7月29日(日) 参加人数:21人 2月16日(土) 参加人数:3人 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)</p> <p>●谷津学校 《16期生》 【日程】4月～3月 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) 【参加者】8人 ◇◆指標と実績◆◇ ●谷津の自然観察会 3回合計参加者 60人(5月12日(土)を除く)</p> <p>●谷津学校 受講者合計 8人</p>	<p>A. 成果・効果があった 各種自然観察会や谷津学校を通して、手賀沼課が事務局を務め、谷津ミュージアムの維持管理を行うボランティア団体、谷津ミュージアムの会の会員拡大に繋がった。また、谷津ミュージアムの知名度や魅力発信にも繋がった。</p> <p>応募数が減少傾向にあることや講師の確保が高齢化に伴い、困難になっていること。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う 平成31年度は谷津学校の講師を依頼している方に代替の観察会を行っていた方向で現在、検討中。</p>	<p>前年度からの変更点 ・5月に例年、行っている自然観察会は講師の確保が難しく、公募数も少ないため平成31年度は実施しない。 ・平成31年度は谷津学校17期生のカリキュラムを行う予定であったが、応募数が0のため、今年度は実施しない。来年度、再び谷津学校17期生の募集を行う予定である。</p>	手賀沼課
	43 手賀沼船上学習の実施 小学生を対象に、簡単な実験や廃材利用の工作等の学習機会を提供し、身近な環境や地球温暖化問題・生物多様性・廃棄物・資源やエネルギーについて関心や探究心を深める。また、鳥などの生き物や手賀沼を身近に感じ、我孫子市の環境施策を推進する。	<p>小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付け、船上学習を実施する。</p> <p>●手賀沼船上学習 【参加者】531人 ◇◆指標と実績◆◇ 【市内小学校実施数】 3校(13校中)</p>	<p>A. 成果・効果があった 市内の小学生や市民団体に向けて手賀沼の歴史を教えるだけでなく、実際に船に乗りながら鳥などの生き物も見ることができ、非常に人気である。</p> <p>船上学習を実施する市内小学校が減少傾向にある。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う 市内小学校に対し、水の館プラネタリウムや鳥の博物館と合わせたモデルプランを提示するなど、実施しやすい体制をつくる。</p>	なし	手賀沼課
	44 手賀沼流域フォーラムの開催 市民団体を中心となって水質改善や環境保全活動を展開する手賀沼流域フォーラムの開催を支援する。	<p>●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催する。</p> <p>●全体会の開催 子ども向けワークショップを開催。 【日時】10月14日(日) 【場所】アビスタホール ◇◆指標と実績◆◇ 【総参加者数】170人</p>	<p>A. 成果・効果があった 各市の企画数について、柏6企画、流山2企画、松戸2企画、鎌ヶ谷2企画、白井2企画、印西3企画、我孫子12企画と、我孫子市がもっとも多かった。また、近年手賀沼内で大繁殖し問題になっている特定外来植物駆除のボランティア講座を開催したほか、ボランティアの登録体制を整えるなど、防除体制の構築に努めた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	手賀沼課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの推進	45	<p>自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした文化的・芸術的なイベントを開催し、鳥類知識の普及や、手賀沼などの自然環境保全に関する情報の受発信を推進する。</p> <p>自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした文化的・芸術的なイベントを開催し、鳥類知識の普及や、手賀沼などの自然環境保全に関する情報の受発信を推進する。</p>	<p>人と鳥の共存をテーマに、出展団体間の情報交換促進のほか、野鳥を通じて自然環境に興味・関心を持ってもらう。</p> <p>【開催日】 11月3日(土)、4日(日)</p> <p>【開催場所】 アビスタ、水の館、手賀沼親水広場等7会場</p> <p>【事業内容】 ジャパンバードフェスティバル(JBF)は、国内最大級の鳥の祭典。日本のみならず、海外団体も招へい(フィリピン2団体、ハワイ、モンゴル、台湾、タイ、イスラエル)し、団体の活動や研究の展示発表、グッズ販売、講演会などが行われた。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 約40,000人(開催2日間延べ人数) 出展数:188</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>前年同様40,000人が来場し、非常に盛り上がった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	鳥の博物館・手賀沼課・商業観光
	46	<p>市民が地区計画制度を活用して、宅地開発などにより整備された良好な住環境を保全することを支援するため、ホームページなどによる制度の周知や出前講座を行う。</p>	<p>地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行う。</p> <p>●パンフレット 【配布場所】 市役所都市計画課 【配布部数】 部 (集計不可のため部数未記入です。申し訳ありません。9地区の地区計画エリアに該当する場合や参考までに欲しいという場合も含めて、必要に応じて窓口対応時に配布しています。)</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 1236件(地区計画～市民主体のまちづくり～)</p> <p>【地区計画の区域内における行為の届出件数】67件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	都市計画課
	47	<p>我孫子産米や我孫子産野菜を取り入れた学校給食を通じて我孫子市の農業への興味関心を持ってもらうとともに、栄養バランスの優れた「日本型食生活」の定着を図る。</p>	<p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度は88.9%であった。 我孫子産野菜を月平均2.7回使用し、品数は4.3品目、使用割合は5.8%であった。</p> <p>●米飯給食 米飯給食回数4.1回/週実施した。</p> <p>●和食の実施 平均64.9%の実施率であった。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【5月実施のアンケート結果】 ●我孫子産米の認知度 《小学校》 85.6% 《中学校》 95.3% ●我孫子産野菜の認知度 《小学校》 86.0% 《中学校》 95.2%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度が微増した。</p> <p>●米飯給食 ●和食の実施 米飯、和食給食を推進し、児童生徒に和食文化や日本型食生活の良さを体験を通して伝えることができた。</p> <p>●我孫子産米・我孫子産野菜 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度の認知度とともに、食に関する選択力、自己管理能力を高めた。</p> <p>●米飯給食 ●和食の実施 米飯給食、和食給食の推進が食育に寄与していることの具体的な評価が難しい。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>我孫子産米・我孫子産野菜を活用した学校給食を教材として、系統的、継続的に食育指導を実施し、児童生徒の興味関心、食に関する選択力、自己管理能力を高めていく。</p>	なし	学校教育課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの ①地域への関心を高める学びの 推進 できるまちづくり	48	市民カレッジ 我孫子を知る コース 我孫子の歴史や我孫子と関わった 文人たちの足跡を講義と史跡 めぐりを交えて学び、郷土愛と市 民意識の向上を図り、家族や地 域へ伝承する機会とする。また、 仲間づくりや生涯学習のきっか けづくり、我孫子市政や市民活 動の現状などをテーマに取り入 れ、市民活動の動機付けとする。	平成29年度より「長寿大学」「熟年備学」に統合。 ◇◆指標と実績◆◇	C. 未実施・わからない	C. 廃止・休止	なし	生涯学習課
	49	市史調査研究 我孫子市内に残る古文書の解 読や資料類の収集・調査研究を 行い、報告書等を作成して市政 や教育に活用する。	市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進める。 ●資料調査 井上家資料資料目録に掲載された資料の読解とデータ作成をおこない、活用しに備える。 ●古文書管理 市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 和紙公図を専門業者に委託して保存修復し、データ化する。 ◇◆指標と実績◆◇ なし	A. 成果・効果があった 井上家資料の読解を通じ、手賀沼干拓や井上家の活動についてのみならず、杉村楚人冠や嘉納治五郎とのかかわりを示唆する資料を発見できた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	50	郷土芸能への支援 郷土芸能の発表の場を設けることにより、継承者の意識の高揚と団体内の活性化を図る。	我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民族芸能を発表する郷土芸能祭を、教育委員会の主催で実施する予定。 【日程】12月2日(土) 【場所】湖北地区公民館 【出し物】神楽舞、祭囃子、獅子舞 【出演】あびこふるさと会、古戸はやし連中、ひよつとこ睦、我孫子第4小学校伝統芸能クラブ、湖北小学校伝統芸能クラブ、布佐小学校伝統芸能クラブ、布佐中学校郷土芸能講座 他 ◇◆指標と実績◆◇ 【入場者数】 370人	A. 成果・効果があった 継承団体と子どもたちが一緒になって発表する機会を提供し、活動意欲の向上に繋がった。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	51	文化財の指定調査と保存支援 指定文化財制度・登録文化財制度の活用を行うことにより、時代の流れにより滅失しやすい有形・無形文化財の保護を行う。	●指定文化財・登録文化財制度の活用 所有者同意を得て市指定文化財化をはかり、適切な管理を通じて保存につなげる。 ●文化財保存基金 文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行う。 ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進める。 ●文化財の維持・管理 県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施する。 県指定天然記念物東源寺榎の木施肥及び除草を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【市指定文化財数】 16 件	A. 成果・効果があった 中里薬師堂十二神将像の3体(今まで合計9体)の保存修復を終えることが出来た。 文化財保存基金募金について、イベント等において主旨の宣伝を行い、協力を積極的に求めた。	A. 現状どおり推進 文化財保存基金について、今後とも積極的に募金徴取を行う。	中里薬師堂十二神将像の保存修復完成	文化・スポーツ課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの ①地域への関心を高める学びの 機会の推進	52 埋蔵文化財発掘調査	平成30年度発掘調査実施件数 【市内遺跡発掘調査】6件 【不特定遺跡発掘調査】2件 【公共事業発掘調査】2件 【民間開発発掘調査】3件 ◇◆指標と実績◆◇ 【必要な発掘調査の実施率】100%	A. 成果・効果があった 調査を円滑に実施できた。	A. 現状どおり推進 住宅の着工等を滞りなく進めるためにも、発掘調査を速やかに、かつ正確に実施していく。	消防署湖北分署移転に伴う公共事業発掘調査を実施	文化・スポーツ課
	53 考古遺物整理	・「下ヶ戸貝塚」の6分冊目の刊行事業をおこなった。 ・「市内遺跡発掘調査報告書」は30年度市内遺跡補助を受けて刊行した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【一年間の報告書刊行冊数】2冊	A. 成果・効果があった 報告書の刊行を通じ、下ヶ戸貝塚の全容解明にむけて大きな成果を上げることができた。	A. 現状どおり推進 毎年、報告書を計画的に刊行する。	なし	文化・スポーツ課
	54 あびこ自然観察隊	子どもから大人まで分かりやすい観察会を目指し、環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施する。 開催場所は市内各所で、定員30人で実施する。 ＜第1回＞6月17日「チョウゲンボウを観察しよう」【参加者】20人 ＜第2回＞7月26日「手賀沼のプランクトンと水鳥観察」【参加者】13人 ＜第3回＞8月2日「」【参加者】29人 ＜第4回＞11月23日「晩秋の手賀川観察会」【参加者】13人 ＜第5回＞2月17日「オーイ！冬鳥くん」【参加者】29人 ＜第6回＞3月21日「春の谷津田観察会」※雨天中止 ◇◆指標と実績◆◇ 【開催数】5回 【平均参加者数/回】 指標：15人 実績：20人	A. 成果・効果があった 市内を代表する自然環境を、適切な季節に多くの市民に紹介することができた	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館
	55 てがたん（手賀沼の自然観察会）	毎月第2土曜日午前10時から正午までの2時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を実施。毎回約20人の参加者を見込み、鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。 【日程・内容】 毎月第2土曜午前10時から正午まで ＜第1回＞4月14日「春限定」の自然観察【参加者】32人 ＜第2回＞5月12日「鳥の子育て」【参加者】35人 ＜第3回＞6月9日「田んぼに集まる生き物たち」【参加者】39人 ＜第4回＞7月14日「手賀沼の魚を観察しよう」【参加者】25人 ＜第5回＞8月11日「空をめざした生き物たち」【参加者】15人 ＜第6回＞9月8日「地面の上の落とし物」【参加者】17人 ＜第7回＞10月13日「ヒヨドリの渡り」【参加者】29人 ＜第8回＞11月10日「鳥の色、自然の色」【参加者】16人 ＜第9回＞12月8日「ホオジロたちの暮らしかた」【参加者】27人 ＜第10回＞1月12日「もっと知りたいカモのこと」【参加者】23人 ＜第11回＞2月9日「光の春を探そう」※降雪のため中止 ＜第12回＞3月9日「気にならない木を気にしてみる」【参加者】29人 ◇◆指標と実績◆◇ 【開催数】11回 【平均参加者数/回】 指標：22人 実績：26人	A. 成果・効果があった 身近な鳥や自然について、定期的に、季節に応じた体験を通じて紹介することができた	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容			令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供							
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	56	子どもNPOボランティア体験 子どもや若者を対象に市民活動団体や福祉施設等でボランティア体験できる情報を提供することで、子どもや若者が市民公益活動に参加する機会を増やすとともに、体験を受け入れる団体の活性化を図る(平成26年度から指定管理者事業として実施)。	指定管理者事業の一つとして実施。 ●子どもNPOボランティア体験 【日程・場所】場所・時期:受入団体により異なる。(イベント、通常の活動等) 【対象】幼稚園から大学生 【体験者数】幼稚園12名、小学生93名、中学生18名、高校生52名、大学生4名 ●情報紙 【タイトル】JOYボラ 【発行回数】年2回発行・・・夏休み前(7月頃)、冬休み前(11月頃) 【内容】ボランティアを募集する団体や募集人数、条件など ◇◆指標と実績◆◇ 【体験受入れ団体数】30団体 【体験者総数】179名	A. 成果・効果があった 延べ179名の体験者があり、子どもや若者が市民公益活動に参加する機会を提供ができた。	B. 改善・見直しを行う 現在は、情報誌によるボランティア情報の発信となっているが、今後は子どもたちが継続的に参加できるよう子どもたちのニーズとボランティア情報等、相互に共有できるように、市民活動ステーションとのつながりを強くするなど仕組みづくりをしていきたい。	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供 夏休み等を利用したボランティア体験事業を立ち上げる予定。	市民活動支援課
	57	後期離乳食教室 乳幼児期後半から幼児期にかけての適切な食事内容、生活リズム、間食のとり方等を学ぶことを通じて、この時期の食習慣が今後の健全な食習慣の形成につながることへの理解を促し、親子共に健康的な食生活を営むことができるよう、食事と歯科衛生に関する実践的な知識の提供をする。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・離乳期後半から幼児期に向けて、食事、起床・就寝等を含めた生活リズムの整え方 ・噛むことの大切さ、食形態の変化のさせ方、むし歯予防の話、歯みがき指導 ・間食の意義、適切な与え方 ・家族全体の食事に関する健康教育 【場所】保健センター 【日程】年18回 【対象】市内在住の8～9か月の児を持つ保護者。 なお、本教室の試食には「あびこん」で購入する我孫子市産農作物を使用する。 【平成30年度参加者数】289組 ◇◆指標と実績◆◇ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】99.6%	A. 成果・効果があった 離乳期後半から幼児期に向けての食事のバランス、生活リズム、歯の手入れ等について健康教育を行い、正しい食習慣への理解を促すとともに、個別相談の強化を図ったことで保護者の不安の軽減につながった。	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課
	58	しあわせママパパ学級 体の変化が著しい妊娠中に、日常生活・栄養・環境などについて、専門職の健康教育・アドバイスを受けることで、妊娠期を健康に過ごし、お産を無事に迎えられるよう啓発を図る。また夫婦が、妊娠・出産・育児に関して学ぶ場を共有し、子育てや家庭生活における互いの役割について考える機会とする。	●しあわせママパパ学級 【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施【開催回数】12回 【場所】保健センター【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】3日間1コース(平日2コース、土曜10コース) 【委託】千葉県助産師会 【開催回数】36回 【参加者】妊婦128人(実)、284人(延) 夫、家族110人(実)211人(延) ◇◆指標と実績◆◇ 【学級後のアンケート結果】 ≪「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合≫99.2%	A. 成果・効果があった 適切な時期に妊娠、出産、育児に関する知識を啓発することにより、「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合が99.2%となっている。	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課
59	離乳食教室 離乳期において、保護者が適切な離乳食の実践方法を学ぶことを通じて、乳児のすこやかな発育・発達を助けるとともに、家族の食生活を見直すきっかけを作り、生涯において健康的な食生活を送るための知識を提供する。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法及び試食 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 ・咀嚼に関する講話 【場所】保健センター 【日程】年12回 【対象】市内在住の4～6か月の児を持つ保護者。 【平成30年度参加者数】279組 ◇◆指標と実績◆◇ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】99.5%	A. 成果・効果があった 離乳食の進め方や離乳食を食べる様子を映像で紹介したり、大人の食事からの取り分け食の実際の様子の実演及び試食を通じて確認することにより、離乳食作りの具体的なイメージがわき、不安の軽減につながった。 なし	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課	

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり ◎子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	60 手賀の丘ふれあい宿泊通学	前年度の『手賀の丘ふれあい宿泊通学』の課題を解消するために、教育委員会指導課と協議し、新たに『手賀の丘フレンドシップツアー』としてリニューアルして実施した。学校との行事がかぶらないよう、教育委員会と打合せしながら実施時期を決定。年に2回、金曜日の放課後から土曜日の午後にかけて1泊2日、手賀の丘少年自然の家に宿泊する。 自分たちの事は自分たちでやる事で、自立性・協調性を育むことを目的とし、川村学園女子大学と協定書を締結し学生に班担当スタッフとして協力してもらっている。 【日程】 ≪第1回≫7月6日(金)から7月7日(土)1泊2日 ≪第2回≫9月28日(金)から9月29日(土)1泊2日 【場所】千葉県立手賀の丘少年自然の家 【対象】市内13小学校5～6年生 【募集人数】各回36人 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 第1回 33名 第2回 21名 【全参加者数】 54人 ・参加者アンケートを実施	A. 成果・効果があった 野外炊飯体験や他校の子どもたちと過ごすことでの協力、協調性を育むことが出来た。 川村学園女子大学との協定を結ぶ班担当スタッフとして協力してもらい連携を図れた。 市内小学校の行事との兼ね合いによる開催時期の調整。習い事をしている児童が多く、習い事と重なることにより参加がしなくてもできない状況もある。また、スタッフの人員確保なども課題となっている。	A. 現状どおり推進	募集人数を各回36人から32人に変更する。事業内容は変更なし。	子ども支援課
	61 あびこ子どもまつり	●第24回あびこ子どもまつり 【日程】10月21日(日) 【場所】アビスタ、手賀沼公園で実施 【内容】子どもまつり実行委員会と我孫子市の共催事業でアビスタ・手賀沼公園を会場とし、子ども達が主体となるおまつり。また、子ども達は様々なお仕事を楽しみながら体験し、アビーというおまつり内で使用できる通貨をもらい、活用し楽しむ。 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】923人(有料入場者数)	A. 成果・効果があった 23回目を迎え、企画・実行委員会メンバーもスムーズに運営ができるようになってきている。 市内だけでなく、近隣市から遊びに来てくれる家族連れなども増え、周知されてきている。 天候によって来場者数が大きく左右される。また、年々参加団体が増えていることは喜ばしいが、雨の場合、屋内に入りきらない団体が出てきてしまう。企画会の新たなメンバーの掘り起こしも課題となる。	A. 現状どおり推進	なし	子ども支援課
	62 げんきフェスタ	●第23回げんきフェスタ 【日程】6月24日(日) 【場所】湖北地区公民館及びその周辺 【内容】子どもに関連する団体や地域の自治会やお店などが実行委員会を組織して、市と共同開催で実施する。芸術鑑賞、昔あそび、体験型レクリエーション、お仕事体験が出来る「子どもハローワーク」など子ども達が主役となって1日を楽しむイベントを行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】534人(有料入場者数) 途中から雨	A. 成果・効果があった 毎年、東側の子どもたちを対象に開催し、多くの家族連れや子どもたちでにぎわっている。 23回目を迎え、おまつり自体も周知されてきており、参加者も多くなっている。 天候によって来場者数が大きく左右される。また、年々参加団体が増えていることは喜ばしいが、雨の場合、屋内に入りきらない団体が出てきてしまう。企画会の新たなメンバーの掘り起こしも課題となる。	A. 現状どおり推進	なし	子ども支援課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	63	<p>enjoyパパ応援プロジェクト</p> <p>子育て支援・若者支援プロジェクトの意向を受けて、男性の育児に対する意識向上、知識や技術の習得を目指し、育児講座や講演会等を実施する。</p> <p>【対象】 就学前の子どもと父親</p> <p>●あびこでパパを楽しもう 【日程・場所・内容・参加者】 ・5月26日(土) 我孫子市民体育館「フットサル講座:はじめてのフットサル～パパと楽しもう!～」29組 総計60名 ・9月 7日(土) ママへのごほうびフェスタ2018にて「かけっこ教室」49組 総計99名 同イベント内「すくすくパパ合唱団のステージ発表」24組 総計82名 ・10月28日(日) NECラグビー場 「はじめてのフットサル体験」36組 総計78名 ・平成31年1月20日(日) 子育て支援センター10周年記念イベント内「荒巻シャケさんと遊ぼう」20組 総計88名 ・平成31年2月9日(土) アピスタ調理室「パパの簡単クッキング!!」9名 総計20名※試食の参加家族総計人数</p> <p>●広場でパパを楽しもう 【場所・日程】 《にこにこ広場 「パパとあそぼう」「にこにこファミリータイム」》毎月各1回 《すくすく広場 「すくすくパパタイム」》原則毎週土曜日 《わくわく広場 「わくわくファミリー」》毎月1回 《すこやか広場 「みんなで遊ぼう!」》6月・11月・1月 ◇◆指標と実績◆◇ 【父親のイベント等への延べ参加者数】 1,936名</p>	A. 成果・効果があった 父親が子どもと過ごす場を提供することで、父親の育児への意識の向上につながっている。	A. 現状どおり推進	なし	保育課
		64	<p>子育て支援施設における講習</p> <p>子どもが安全に遊べる場を設け、親同士や子ども同士の交流を図る。利用者アンケートなどをもとに、毎月各子育て支援施設において、親の子育て力の向上と親子の絆を深めることができる育児講座を工夫して実施する。</p> <p>市内在住の乳幼児と保護者を対象に、市立の子育て支援施設4か所で行う。 ●育児相談(保健センターと実施) 【日程】毎月1回～2回(年間24回) 【場所】にこにこ広場 【内容】保健相談・栄養相談・歯科相談 ●プレパパママ講習会(あびこ助産師専門学校との共催) 【日程】10月16日、11月17日 【場所】にこにこ広場 ●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催) 【日程】6月28日、8月23日、9月27日、10月25日、11月29日、3月14日 【場所】にこにこ広場・すくすく広場 年各2回 わくわく広場・すこやか広場 年1各回計6回 ●育児講座(保育園園長 園長補佐 保健師 栄養士による講座) 【日程・場所】各広場年1～2回 ◇◆指標と実績◆◇ 【利用者数】858人</p>	A. 成果・効果があった 育児に関する情報を得ると共に、疑問や質問などを保護者が直接専門職に聞くことができ、悩みごとが解消できる場となっている。	A. 現状どおり推進	なし	保育課
		65	<p>子ども議会</p> <p>次世代を担う小中学校の児童生徒に、議会制民主主義の理解や我孫子市のまちづくりに関心を深めてもらうとともに、小中学生の市に対する要望や意見を聴き今後のまちづくりの参考にする。なお、子ども議会は、2年に一度開催する。</p> <p>【日程】11月6日(火) 【場所】我孫子市議会議事堂 【内容】各小中学校から代表する子ども議員を招集し、市長のまちづくり方針に対する子ども議員からの質問や意見に対する答弁を市役所職員から聞く。実際の市議会の流れとほぼ同様に進行するよう実施する。 【参加者】子ども議員:38人(市内小中学校児童生徒男女各1人) 議会参加者:市長ほか関係職員、教育委員、市議会議員※保護者などの傍聴者は、傍聴席を使用 ◇◆指標と実績◆◇ 子ども議員が質問する人数 目標 38人 実績38人</p>	A. 成果・効果があった 次世代を担う小中学生を対象に子ども議会を開催することにより、有権者となる前の早い段階から、より良い我孫子市のまちづくりに対して見識を高めるとともに我孫子市への郷土愛をより一層深める機会となった。	A. 現状どおり推進	隔年開催のため、今年度は実施せず。来年度実施日程等を決定するため連絡会を開催する。	指導課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり ◎子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	66	長寿大学 高齢者として充実した生活を送るため、人間関係を深めつつ、地域の活動や社会の変化に順応した知識を楽しく学び、地域活動、まちづくり等に積極的に参加できるようにする。	【場所】 湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」「市民活動」などを柱として、平成30年4月から平成31年3月まで年間24回の学習プログラムで実施した。 ・運営委員会、運動会、大学祭、校外学習、研修など各委員会を組織し活動した。 【参加者】 《1年生》54人(H31年2月15日現在) 《2年生》42人 《3年生》43人 《4年生》44人 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 183 人	A. 成果・効果があった 学級生自らがボランティア活動を実施する機会が増えた。	A. 現状どおり推進 さらなる機会の拡大に向けて情報提供を拡充する。	なし	生涯学習課
	67	成人式 大人になったことの自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます式典を行う。	【日程】1月13日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【対象者及び人数】 平成10年(1998)4月2日から平成11年(1999)4月1日に出生した市内在住者：平成30年12月1日現在1,357人 《午前部》我孫子・湖北・湖北台中学校区及び我孫子特別支援学校卒業の方 《午後部》白山・久寺家・布佐中学校区 【式典企画】 ・恩師からのビデオメッセージと卒業アルバムからの思い出の写真の上映及び我孫子市ふるさと大使・埴宣之氏とナイツ土屋伸之氏からのお祝いメッセージ 【記念品】 ボールペン 《企画運営会議について》 【日程・内容】 新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進める。全6回の企画運営会議を実施。 《第1回》5月20日 成人式DVD視聴の後、式典の内容等について意見交換 《第2回》6月17日 記念品について、12月リハについて、式典企画について、役割分担について 《第3回》7月22日 式典企画、記念品について 《第4回》8月26日 式典企画、記念品について 《第5回》10月28日 式典企画、記念品について 《第6回》11月18日 台本の読み合わせ、式典企画について ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 1,018人 (出席率 75.02%) 《午前部》 558人 (出席率 82.67%) 《午後部》 460人 (出席率 67.45%)	A. 成果・効果があった 新成人自らが成人式を作りあげること、代表者・参加者ともに心に残る成人式となった。 今年、全体の出席率及び午前部の出席率が過去最高となったことから、成人式への関心の高さが伺える。 我孫子特別支援学校卒業の方の卒を午前部に設けたところ、4人全員に出席していただくことができ、「成人式に参加できて大変嬉しかった」との感想をいただいた。 該当者及び出席者の増加に伴いホールが手狭になることが予想される。 成人年齢引下に伴い、成人式の対象年齢や名称、開催時期等を検討する必要がある。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
	68	熟年備学 熟年世代が、これからの高齢社会をより良く生きるために、高齢社会の諸問題や対処方法を学び、人生の後半を自立し豊かな暮らしができ、地域の高齢者を支えながら、自らもハツラツとした人生を送るためにどうしたら良いかを考える機会を提供する。	【日程】5月から1月 14回 【場所】我孫子地区公民館、市内高齢者施設 【内容】人生達人のすすめ、身体イキイキ健康体操、充実した暮らしをつくる、今時のエンディング事情、遺言と相続、介護保険について知ろう、実践！介護のコツ、終の棲家を考える、施設の見学、全ての健康の基、だまされないための暮らしと契約、良い病院・いい患者、笑って長生き、学習をふりかえって 【定員】45人 【参加者数】54人 ◇◆指標と実績◆◇ 【アンケート結果】(学習終了時実施) 《とても良かった》 39% 《まあまあよかった》 46% 《ふつう》 15% 《あまりよくなかった》 0% 《とてもよくなかった》 0%	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供	69 家庭教育学級 子育てについての学習や、親同士の情報交換を通して、家庭・親子のあり方を考える機会を提供するとともに、家庭での教育力の向上を図る。	<p>・施設工事に伴い、14回の講座を13回とした。</p> <p>●家庭教育学級 【日程】5月から2月の間で 年間13回 【場所】我孫子地区公民館(生涯学習センターアビスタ) 【内容】子育て・家庭教育に関する講義や体験学習(調理実習・運動・手賀沼船上学習)、公開講演会も含め全13回 【参加者】小学1年生の子どもを持つ保護者44人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者 34人) 《大変満足》 32人 《大体満足》 2人 《「不満が残った」、「期待はずれだった」》 0人</p>	A. 成果・効果があった アンケート結果では「子育てについて振り返ることができた」、「ストレス解消・リフレッシュなった」、「友達や知り合いが増えた」など参加者の満足度は非常に高く、次年度以降も自主的に活動する継続学級も立ち上がった。	A. 現状どおり推進	活動回数を14回に戻した。	生涯学習課
		70 のびのび親子学級 ゆとりある子育ての実現に向け、親子のふれあい、学級生同士の交流などを軸に仲間と子育てについて学ぶ機会を提供する。	<p>●のびのび親子学級 【日程】5月から1月まで 各コース全12回。 (施設工事に伴い、5月から8月、9月から1月に分けて実施。) 【場所】我孫子地区公民館ホール、湖北地区公民館第1学習室、手賀沼公園、及び五本松運動広場 【対象】平成26年4月2日から平成28年4月1日生まれの子(2,3歳児)と保護者 【定員】・アビスタ火曜コース、アビスタ木曜コース、アビスタ金曜コース 各コース親子25組 ・湖北火曜コース 親子20組 【参加】・アビスタ火曜コース、アビスタ木曜コース、アビスタ金曜コース 各コース親子25組 ・湖北火曜コース 親子18組</p> <p>●プチのびのび親子学級 【日程】2月5日・19日・26日 【場所】我孫子市民図書館 布佐分館 【対象】2,3歳児と保護者 【定員】親子10組 【参加】親子11組 ◇◆指標と実績◆◇ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者 94人) 《満足度92.5%》</p>	A. 成果・効果があった 84%の学級生が子どもの成長を実感する場面があったと回答している。また、およそ半数の学級生が子育ての楽しさを実感できたとも答えている。また、30%以上の学級生が、子育ての仲間が増えたと答えており、学習終了後も自主的な活動を続けるための継続学級が立ち上がった。 さまざまな方法で広報活動をしているが、当学級のこと、募集がかかっていることを知らない方がまだ多くいる。さらに丁寧にPRしていく必要がある。	A. 現状どおり推進	2~3歳を受け入れる我孫子市の子育て支援事業が充実しており、のびのび親子学級と並行して参加している受講者が多くいる。また、幼稚園のプレ保育、習い事などへ通う子どもが増えており、当学級を選んでもらうことが難しくなっている。よって、1コース減らし、まだ受け皿の少ない年代で、働いている方が育休を取っている期間でもある、0歳児コース(Babyのびのび親子学級)を立ち上げる。 ●Babyのびのび親子学級 【日程】9月から11月まで(各コース全6回) 【場所】我孫子地区公民館和室 【対象】平成31年4月1日以降に生まれの第1子(産後1か月検診受信後)と保護者 【人数】20組	生涯学習課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
71	アビコでなんでも学び隊 小・中学生を対象に、地元の学校・企業・専門家等の協力を得て、体験型の講座を実施し、子どもの夢や希望を広げる。また、人との交流によって豊かな人間関係を作るとともに、我孫子の良さを発見し、ふるさと意識を持ち将来、まちづくりに貢献できるようにする。	<p>●アビコでなんでも学び隊 【日程】6月から10月、12月・1月 【場所】我孫子地区公民館・湖北地区公民館 【対象】小・中学生</p> <p>《ROBOLABプログラミング教室 光センサーを使ってプログラミングしよう!》【定員】22人【応募】28人【参加】22人 《ROBOLABプログラミング教室 車型ロボットを作ろう》【定員】22人【応募】42人【参加】22人 《五つの味の世界 プロのシェフに学ぼう》【定員】24人【応募】44人【参加】24人 《伝統の美・友禅染 プロに学ぶ日本の技》【定員】15人【応募】18人【参加】15人 《生命の不思議発見!ーメダカのひみつー》【定員】24人【応募】28人【参加】24人 《磁石とコイルのパワーを探れ(小1~小3対象)》【定員】24人【応募】99人【参加】24人 《磁石とコイルのパワーを探れ(小4~小6対象)》【定員】24人【応募】55人【参加】24人 《科学であそぼう!》【定員】24人【応募】93人【参加】24人 《あらふしぎ?カガミを使わない万華鏡!》【定員】24人×2回【応募】77人【参加】48人 《My望遠鏡で月を見よう!》【定員】20人【応募】29人【参加】20人 《卓球チャンピオンになろう!基本からゲームまで》【定員】20人【応募】60人【参加】20人 《粉こねてピザをつくろう!(高校生とジョイント)》【定員】15人【応募】72人【参加】15人 《トライサイエンス(探査機を宇宙に送ろう・ゆかいなクラクション)》【定員】24人【応募】50人【参加】21人 《パンでクリスマスブーツをつくろう!》【定員】18人【応募】50人【参加】17人 《はじめての書初め》【定員】20人【応募】42人【参加】20人 《ダブルダッチに挑戦!》【定員】20人【応募】34人【参加】20人 ◇◆指標と実績◆◇ 【講座終了時に実施したアンケート結果】(回答者 359人) 【講座に参加した子ども達の満足度】99.25%</p>	<p>低学年が参加できる講座を増やすため、高学年対象に2回実施してきた「磁石とコイルのパワーを探れ」は、低学年対象のプログラムを増やし、各1回実施。また、「あら不思議カガミを使わない万華鏡!」低学年を対象に1回実施していたものを2回に増やして実施した。 講座全体の応募率も223%あり、子ども達の興味関心の高さがうかがえる。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>多岐分野の講座を、専門的な知識を持つ講師の協力により、日常経験しがたい体験の場、年齢、地域を越えた交流の場を提供していく。</p>	なし	生涯学習課
	72	子どものための舞台鑑賞事業 子どもたちに良質な舞台芸術を鑑賞してもらうため、プロ劇団による演劇鑑賞会を開催する。ふだんはあまり実際の演劇など舞台芸術に親しむ機会の少ない子どもたちに鑑賞機会を与えることによって、豊かな感受性と芸術に対する意欲を醸成する。	<p>●子どものための舞台鑑賞 子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を教育委員会の主催で実施する。 【日程】2月9日(土) 【場所】けやきプラザ ホール 【内容】子供向けの舞台公演を開催</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【入場者数】510人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>開催については、市内で子ども達のために活動している団体と実行委員会を組織して、子どものニーズや子どもに見てもらいたいという視点を取り入れ、開催することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり
◎子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
73	成人・青少年への図書館サービス 中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、市民生活・生涯学習に役立つ図書館サービスを行う。出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い、資料を提供する。	<p>中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸出した。また、講演会などの事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供 ・成人・青少年に対するサービスの企画運営 ・一般サービス選定会議の運営(週1回程度) ・館内研修の実施 <p>《講演会》 【テーマ】我孫子市民図書館主催講演会「評価される維新の「志士」—伝記から見る大久保利通像の変遷」 【日程・講師】7月8日(日)宮間純一氏 【場所】アビスタホール 【参加者】69人</p> <p>【テーマ】杉村楚人冠記念館・我孫子市民図書館合同イベント第5回楚人冠講座「赤穂浪士の討ち入りを大正時代の新聞が報じたら」 【日程・講師】7月21日(土)杉村楚人冠記念館スタッフ 【場所】アビスタ第2学習室 【参加者】21人</p> <p>【テーマ】市民図書館・農政課共催講座「食農くらぶ「裁食健美」」 【日程・講師】10月5日(金)改良普及員OB、農政課職員 【場所】水の館3階研修室 【参加者】33人</p> <p>【テーマ】白樺文学館・我孫子市民図書館共催DVD上映会「リーチ・ポタリー1952 陶芸家バーナード・リーチの工房」 【日程・講師】11月4日(日) 【場所】白樺文学館地下音楽堂 【参加者】9人</p> <p>【テーマ】杉村楚人冠記念館・我孫子市民図書館合同イベント第6回楚人冠講座「楚人冠の随筆に見る鉄道の旅」 【日程・講師】2月3日(日)杉村楚人冠記念館スタッフ、図書館市民スタッフ(対面朗読担当) 【場所】アビスタ第2学習室 【参加者】24人</p> <p>《ブックフィルムコーティング講習会》 【日程・場所・参加者】 10月24日(水)アビスタ本館 18人 10月25日(木)布佐分館 9人 10月26日(金)湖北台分館 5人 ◇◆指標と実績◆◇ 【年間貸出利用者数(12歳以下、団体利用は除く)】 247,466人(昨年度比 93.4%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>単なる貸出だけでなく、生活に必要なことや趣味に関することを調べたいという要求、知的好奇心等に応え、生涯学習意欲の向上につなげた。</p> <p>限られた予算の中で新刊図書を購入するため、図書購入については、全館調整をするなど、厳しく選定する必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>成人・青少年のサービス対象者(13歳以上)は、図書館年間貸出利用者数の約92%を占めており、市民の学習機会を充実させるために必要な事業である。</p>	なし	図書館

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり
◎子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの ことができるまちづくり ⑦子どもから高齢者までに対応した学習環境の提供	74 児童への図書館サービス 子どもの発達や人間形成、人生経験に好ましい影響を及ぼすことの出来る図書を選定し提供する。読書の楽しみと図書館利用の促進を図るために、おはなし会や講座を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援センター機能の確立 ・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、「よむよむラリー」、「本を読んでおがみまめ本をもらおう」、館内研修などを実施 ・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援、学校授業支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議 ●親子で楽しむおはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 22回 456人 ②布佐分館 12回 191人 ●おはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 22回 141人 ②布佐分館 24回 147人 ●そよかぜおはなしタイム 【場所・実施回数・合計参加者】 ①青山台ステーション 7回 76人 ②久寺家ステーション 4回 10人 ●子どものための科学実験講座 【日程】8月1日(水)①10時～12時15分 ②14時30分～16時45分 【場所・参加者】①布佐分館 33人 ②アビスタ本館 33人 ●よむよむラリー 【完了数】 1,259人 <p>◇◆指標と実績◆◇ 【児童書の年間貸出冊数】 213,046冊(昨年度比 95.3%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>専門的知識や経験を有する職員が、より高度で充実したサービスを市民に提供することができた。</p> <p>読書の楽しみを知ってもらうためには、各事業のPRの工夫をして、利用を促進していく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どものための科学実験講座、「よむよむラリー」、「本を読んでおがみまめ本をもらおう」、館内研修などを実施 ・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議 ・学校図書館支援センター機能の確立・推進</p>	子どもの本と読み聞かせについての講演会を開催する。	図書館
	75 子どもの読書活動推進計画の策定 子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、家庭、地域、市民図書館、学校図書館、保育園などにおける子どもの読書環境の整備・充実を図るとともに、相互の連携を深め、読書活動を確立していく。	<p>(庁内)策定委員会において計画をまとめ、生涯学習審議会(図書館部会)、パブコメに諮り、意見を求めた。平成31年3月に定例教育委員会で計画が承認された。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【策定率】 100%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>計画を策定し、我孫子市における子どもの読書活動の推進の道筋ができた。</p> <p>計画の策定だけでなく、計画を施策に反映していく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>計画の進行管理を進め、我孫子市における子どもの読書活動を推進していく必要がある。</p>	関係課と連携を図りながら、計画の進行管理を進める。	図書館

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実						
76	男女共同参画講演会の実施 男女共同参画に関する施策や社会の潮流をテーマとした講演会を通して、男女共同参画に対する理解を深め、男女共同参画社会の実現を図る。	<p>●我孫子市女性活躍推進プロモーション事業講演会1(主催) 【テーマ】ママの生き方、生かし方 スポーツ取材の現場から 【日程】6月30日(土)午後2時～午後3時30分 【場所】アビスタホール 【講師】中村有花さん(毎日新聞東京本社運動部記者) 【参加者】54人</p> <p>●我孫子市女性活躍推進プロモーション事業講演会2(市民団体「あびこ女性会議」との共催) 【テーマ】ピンチから未来への道づくり～被災地で活躍する新妻さんと考える～ 【場所】10月28日(日)午後2時～午後6時 【場所】アビスタホール 【講師】新妻香織さん((一社)東北お遍路プロジェクト理事長) 【参加者】50人 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者アンケートによる満足度】 ●6/30講演会(主催) 81%(有効回答数36人、69.2%) ●10/28講演会 92%(有効回答数43人、79.6%)</p>	<p>A. 成果・効果があった 国の交付金対象である我孫子市女性活躍推進プロモーション事業としてテーマを絞り込み実施した。今年度は会場における企画展示拡大を目標としていたため、全長約10メートルのカラー版「男女共同参画年表」を新規に作成し、講演会当日を含む2週間、アビスタのストリートに掲示した。</p>	<p>B. 改善・見直しを行う 継続開催するが、今まで参加したことがない層(特に働く世代や学生など)の取り込みを図る企画を展開し、その効果が見えるよう、評価手法を見直す。</p>	なし	秘書広報課
77	平和事業 我孫子市平和都市宣言のもと、原爆の恐ろしさや平和を尊さを次世代に伝えていくために、被爆地への中学生派遣を行うほか、我孫子市原爆被爆者の会や平和事業推進市民会議とともに、さまざまな平和事業を行う。	<p>●平和事業推進市民会議 【開催回数】5回開催 【委員数】14名</p> <p>●中学生派遣 【派遣先】広島 【派遣期間】8月5日(日)から8月7日(火)まで 【派遣人数】12名(中学校6校から、男女各1名ずつ)</p> <p>●平和祈念式典組み合わせ事業 【日程】8月11日(土) 【会場】アビスタホール 【内容】映画『いしぶみ』の上映 【参加者】112人</p> <p>●派遣中学生による報告会(平和の集い) 【開催日程】12月2日(日)【会場】けやきプラザ2階ふれあいホール【内容】広島への派遣中学生による派遣報告、中央学院大学「平和学」教授による講演・パネルディスカッション、我孫子中学校演劇部による演劇「長袖の夏」の公演 【参加者】派遣中学生12名(6校各2名)、我孫子中学校演劇部18名、パネルディスカッション5名(教授、大学生3名、高校生1名)</p> <p>●リレー講座 【開催時期】平成30年6月～平成31年2月 【対象者】小学校全13校の6年生各クラス 【内容】歴代の派遣中学生が講師となり、市内の小学校6年生に平和への思いを伝え、平和について考える機会とする。グループワークで「平和のために今日から自分たちができること」を考え、葉っぱの形をしたメッセージカードに記入する。【参加者】小学校全13校の6年生(37クラス、1,151名) ◇◆指標と実績◆◇ 【派遣中学生報告会(平和の集い)への来場者数】212人</p>	<p>A. 成果・効果があった ●中学生派遣事業と派遣中学生によるリレー講座は、戦争や原爆を経験した方がますます減っていく今後の日本社会において、その悲惨さや平和の尊さを伝えていく新たな世代を育てる役割を果たした。 ●平和の集いでは、今回初めてパネルディスカッションを実施し、来場者からは「新たな視点がもてた」など好評であった。 リレー講座が始まって4年が経ち、新たに講師となることができる高校生や大学1・2年生の参加を増やす必要がある。派遣から年数が経ってしまうと、リレー講座等の活動に参加することに気後れしてしまう人もいると考えられるため、いかに活動に参加しやすくするのか、工夫が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進 引き続き、平和事業推進市民会議や原爆被爆者の会、その他の団体等と連携しながら、事業を進める。</p>	なし	企画課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	78 健康づくりに関する専門家によるセミナー 市民の自主的な健康づくりを目的に、運動、休養、口腔衛生、栄養等の生活習慣の話や、実践的な筋力アップ体操・ストレッチに関する情報を提供し、市民に正しい生活習慣についての理解を深め、現在の生活習慣を見直し、自分にあったアレンジを加え日常生活を改善してもらう。	●骨粗しょう症セミナー 市民の方に関心をもっていたためセミナーを実施。 【演題】あなたの骨、大丈夫ですか？～骨粗しょう症と健康～ 【日程】平成30年11月9日(金) 14時～15時45分 【場所】我孫子南近隣センターホール 【対象】事前に申し込みをされた我孫子市民 【内容】我孫子聖仁会病院整形外科部長 石山典幸医師を講師に、骨粗しょう症とは、予防方法などの講演を実施。 我孫子市健康づくり推進員及び食生活改善推進員による講話。 【協賛】中外製薬(株) ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】87人	A. 成果・効果があった アンケート調査の結果、健康意識が「とても高まった・高まった」と回答した割合が83.7%、講演会の内容について、「とてもよかった・よかった」と回答した割合が79.7%であり、約8割の方の健康意識の向上につながった。 高齢者の参加が多く、もう少し若い世代にも興味をもってもらいたい。	A. 現状どおり推進 若い世代の方にも興味を持ってもらえるように、内容やお子さんのお預かりなど検討が必要。	なし	健康づくり支援課
		79 メンタルヘルス啓発講座 市民に心の病気を持つ方に関する正しい理解を深めてもらい、地域で支える土台作りを行う。年1回、講演会を実施する。	心の病気のはじまりのサインの気づき方や不調やサインを感じたときの関わり方、医療や支援へのつなげ方に関して、精神科医による講演を実施。 【日程】平成30年12月9日(日) 【場所】あびこ南近隣センター9階ホール 【テーマ】心の病気のサインと対応 ◇◆指標と実績◆◇ 【講演会参加者】85名	A. 成果・効果があった 参加者アンケートでは「病気に関する理解を深められた」との評価が多く、満足度が高かった。	A. 現状どおり推進	なし	障害福祉支援課
		80 失語症家族教室 失語のある人のご家族を対象に失語に関する悩み相談、家族間交流、情報交換、失語の知識や会話技術についての講習・実習を行う。	失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担を軽減するために、失語症家族教室を開催し、悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を行う。 ●失語症家族教室 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】5回 【定員】10名 【対象者】失語のある方の家族 【費用】無料 ◇◆指標と実績◆◇ 【失語症家族教室への延べ参加者数】16人	A. 成果・効果があった 失語のある人のご家族の家庭での会話の悩みを軽減するとともに、失語に関する知識や会話技術の習得を図ることができた。 より多くの方が参加できるよう、広報活動を強化する必要がある。	A. 現状どおり推進 広報活動を強化し、現状どおり推進する。	なし	障害福祉支援課(障害者福祉センター)
		81 手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方とその家族を対象とした手話講習会、読話講習会を開催する。	●手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、手話によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援する目的で、「手話講習会」を開催する。初心者向けに、手話の基礎を学ぶ。 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】全10回 【定員】20名 【対象】我孫子市在住の中途失聴者・難聴者とその家族、千葉県中途失聴者・難聴者協会会員 【費用】無料 *情報補償として、要約筆記者を配置 ◇◆指標と実績◆◇ 読話講習会と手話講習会を交互に実施する計画であるため、平成30年度は手話講習会を実施した。 【講習会参加実人数】23人	A. 成果・効果があった 基礎的な手話の習得および参加者同士の交流を図ることができた。 障害者福祉センターは、交通の便が悪いため、送迎バスを運行した。今後も継続する必要がある。	A. 現状どおり推進 中途失聴者・難聴者は、先天性の聴覚障害者と異なり手話や読話を習得する場がないため、継続して実施する必要がある。	平成31年度は読話講習会を開催する。	障害福祉支援課(障害者福祉センター)

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
82	<p>家族介護教室</p> <p>要介護被保険者の状態の維持改善をめざし、介護をしている人を対象に、適切な介護知識や技術、外部サービスの適切な利用方法についての教室を開催する。</p>	<p>市内4箇所の高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として開催した。</p> <p>【テーマ、日程、場所、人数】</p> <p>＜我孫子地区＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「栄養士から聞く認知症予防」5月17日 我孫子南近隣センター9階ホール 参加者20名 ・「腸の元気はからだの元気」7月26日 我孫子南近隣センター9階ホール 参加者19名 ・「これをやれば動ける体を保てる」11月16日 我孫子南近隣センター9階ホール 参加者16名 ・「栄養士監修！料理教室～おいしく食べて健康長寿～」我孫子南近隣センター8階調理室 参加者16名 ・「高齢者施設の種類と選び方」1月21日 我孫子南近隣センター9階ホール 参加者29名 ・「弁護士が語る！相続を争族にしないためにどうすればいい？」2月20日 我孫子市民プラザ 参加者25名 <p>＜天王台地区＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知っておきたい認知症の知識」5月29日 近隣センターこもれび 参加者24名 ・「ロコモティブシンドロームを防ごう」7月25日 天王台北近隣センター 参加者20名 ・「健康寿命を延ばす運動」8月23日 近隣センターこもれび 参加者30名 ・「健康寿命を延ばす生活習慣と食事」9月22日 天王台北近隣センター 参加者21名 ・「ロコモティブシンドロームを防ごう」10月16日 近隣センターこもれび 参加者28名 ・「バランスウォーキング教室」11月22日 天王台北近隣センター 参加者24名 ・「笑いヨガ」12月14日 近隣センターこもれび 参加者24名 ・「腸の元気はからだの元気」2月25日 天王台北近隣センター 参加者18名 ・「バランスウォーキング教室」3月20日 近隣センターこもれび 参加者28名 <p>＜湖北・湖北台地区＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お葬式・お墓の基礎知識」5月17日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者62名 ・「生活に役立つ福祉用具や住宅改修」7月17日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者25名 ・「弁護士に聞いてみた！（相続について）」9月14日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者50名 ・「がんってなに？～がんの基礎知識と健診の大切さ～」11月15日 湖北地区公民館第一学習室 参加者41名 ・「転ばないための体操教室」11月29日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者43名 ・「認知症の予防について～脳を元気にしよう～」1月26日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者39名 ・「腸の元気はからだの元気」3月21日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者50名 <p>＜布佐・新木地区＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「バランスウォーキング教室」11月20日 ふさの風近隣センター多目的ホール 参加者37名 ・「リラックス整体ヨガ教室」2月25日 ふさの風近隣センター多目的ホール 参加者28名 <p>＜我孫子地区・天王台地区共通＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「男性介護者のつどい」7月19日 天王台地区高齢者なんでも相談室 参加者4名 ・「男性介護者のつどい」11月15日 天王台地区高齢者なんでも相談室 参加者3名 ・「男性介護者のつどい」1月17日 天王台地区高齢者なんでも相談室 参加者3名 ・「男性介護者のつどい」3月14日 天王台地区高齢者なんでも相談室 参加者3名 <p>◇◆指標と実績◆◇ 教室参加者：792名</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>多くの市民に対し、高齢者に関わる様々なテーマで情報の提供と家族介護への知識の習得に加え、健康に生活するための知識習得を進めることができた、また、なんでも相談室の機能を周知することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	高齢者支援課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	83 認知症の方の家族のつらい 認知症の症状のある方を介護している家族が、同じ悩みを抱える家族間で交流を図り、介護方法などの情報交換を行うことにより、家族の負担の軽減や不安の解消を図る。認知症高齢者とその家族の方が安心して暮らせることができるよう支援を行う。	千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センターとの共催事業 【日程】偶数月の第2水曜日を基本とし、年6回開催(千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センターとの共催事業) 【場所】けやきプラザ7階研修室又は1階工作室 【参加対象者】認知症の症状のある方を介護している家族 【実施内容】 ・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言 ・参加者同士の情報交換 ・家族間の交流 【参加者数】 延71人 ◇◆指標と実績◆◇ 【アンケートの結果】 《参加により不安の軽減できた》 94.1% 《自由記載の一部抜粋》 ・いっぱい心配を抱え生活している人達のことを知り、自分も心強く生きていきたいと思えます。 ・皆さんの日常生活の介護での生の声が聞けてアドバイスを頂きとても参考になりました。	A. 成果・効果があった アンケートでは「参加により不安の軽減できた」が9割以上であり、介護家族の交流や負担軽減の場となっている。	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課
		84 健康生活月間講演会 自分らしく健康な生活を続けることができるよう、介護予防に関する正しい知識の普及啓発を行い、健康寿命の延伸を図る。年1回健康生活月間を設け、講演会や介護予防事業体験会を通して普及啓発を行う。	《講演会》 【日程】平成30年11月20日(火) 【場所】けやきプラザ9Fホール(我孫子南近隣センター) 【内容】健康長寿の秘訣—最新の研修に基づく12の実践—(高齢期のフレイル予防) 【対象】市民 【定員】100人 【参加者数】 82人 ◇◆指標と実績◆◇ 【講演会参加者へのアンケート結果】 講演会参加者へのアンケートより、『わかりやすい』97% 【アンケートの自由記載での意見の抜粋】 ・参考になった。・分かりやすかった。・楽しかった。 ・実践(スクワット等)がよかった。・実践していきたい。	A. 成果・効果があった 講演会参加者のうち、『わかりやすい』との回答が9割以上あり、介護予防に関する知識の普及啓発は行えた。	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課
		85 高齢者虐待防止講演会 高齢者虐待に関する正しい知識の普及を図るとともに、地域の見守りによる虐待防止の体制づくりについて紹介し啓発を図る。	【日程】平成31年2月2日(土) 【時間】13時30分～15時30分まで 【場所】アビスタホール 【定員】100名 【対象】市民 【参加費】無料 【参加者数】43名 【講師】助川 未枝保氏(船橋市三山・田喜野井地域包括支援センター センター長) 【テーマ】「認知症の人への意思決定支援について —家族の立場から—」 ◇◆指標と実績◆◇ 【アンケート結果】 回収率:83.7% 参加動機:業務において参考にしたかったため(22)、テーマに興味があったため(19) 内容について:わかりやすかったか? はいが多数(30) 【自由記入欄の抜粋】 ・認知症の意思決定支援についてわかりやすかった。・事例は勉強になります。・認知症の方への介護にはいろんな方法がある事を知った。	A. 成果・効果があった 認知症を持つ家族への虐待防止という観点から有効な講演であった。講師は現在地域包括支援センターのセンター長であり、過去に介護の現場で経験した事例等の踏まえた話しであったことから良い評価を複数聞くことができた。 参加者が少ないため、参加者を増やすための方法への工夫が必要である。	A. 現状どおり推進	隔年実施のため31年度の実施予定はありません。	高齢者支援課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課			
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	86 遊具うんどう教室 生活習慣病予防のため、運動の習慣化を目指し、うんどう遊具を利用した運動の実践などの健康情報の提供や、地域ぐるみで支え合う健康づくりの支援を行う。	【場所・日程・参加者】 《湖北台中央公園》毎月第3火曜日 10回、延 227人 《天王台西公園》毎月第3金曜日 10回、延 106人 《布佐南公園》毎月第2水曜日 8回、延 65人 ※雨天の場合には、中止 【対象者】概ね65歳以上の方 ◇◆指標と実績◆◇ 【遊具うんどう教室参加者合計数】 延 398人	A. 成果・効果があった 屋外での健康づくりの拠点として、うんどう遊具が設置されている市内3地区の公園において、遊具うんどう教室を28回開催し、延398人が参加している。健康状態を維持・増進し、生活機能の低下により、要介護状態となることを予防するため、介護予防・うんどう習慣等に関する知識の普及啓発を行った結果、介護予防や健康づくりに関する意識が高まり、高齢者自らが活動に参加し、主体的に介護予防に取り組む姿勢がみられている。また、参加者同士が交流することで、閉じこもり予防にも繋がっている。 木製のうんどう遊具を設置してから15年以上経過し、老朽化や破損等による補修・撤去の必要性が多く出てきている。	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課	
		87 環境学習の推進 小学生を対象に、簡単な実験や廃材利用の工作等の学習機会を提供し、身近な環境や生物多様性・廃棄物・資源やエネルギーについて関心や探究心を深める。また、それらと手賀沼との関わりを伝えることで、手賀沼の浄化啓発を図る。	《手賀沼を観察しよう！～プランクトンネット作り&観察と船上バードウォッチング～》 【日程】①7月26日(木) ②8月2日(木) 【場所】水の館 研修室 【対象】各日小学生20人(3年生以下保護者同伴) 《紙粘土で花瓶を作ろう！～廃物利用で鳥型の花瓶など～》 【日程】8月16日(木)・8月23日(木) 【場所】アビスタ工芸工作室 【対象】小学生20人(3年生以下保護者同伴) 《船から見る手賀沼のふしぎ》 【日程】7月25日(水) 【場所】手賀沼公園 【対象】小学生30人(3年生以下保護者同伴) 《カヌー体験学習》 【日程】7月29日(日) 【場所】手賀沼親水広場 【対象】小学生36人 《バードフィーダーづくり》 【日程】12月15日(土) 【場所】水の館 研修室 【対象】20人(小学4年生以下保護者同伴) 《紙飛行機工作と飛行大会》 【日程】2月17日(日) 【場所】アビスタ ホール 【対象】30人(小学生以下保護者同伴) ◇◆指標と実績◆◇ 【夏休み環境学習4事業参加者】 68人(カヌー体験学習は荒天のため中止) 【その他環境学習工作2事業参加者】 36人	A. 成果・効果があった 各事業とも夏休みのイベントとして需要が高く、参加した子供だけでなく、親の反応が良かった。 それ以外のイベントも、親子だけでなく大人一人で参加しても公表であった。 事業によっては申込数が少ないものがある。	B. 改善・見直しを行う	参加者をより多くするため、夏休みイベントして、内容や広報の仕方を再検討する。手賀沼親水広場を環境学習拠点として活用すべく、新たなメニューをも検討する。	なし	手賀沼課
		88 消費生活講座 消費者の多様化するトラブルを防止するのに必要な情報を市民に提供するため、消費生活相談員や外部講師による消費生活講座を開催する。	●ふれあいサロン 【日程・場所】 ①【日程】4月5日 【場所】アビスタ 会議室 【参加者】40名 ②【日程】4月10日 【場所】我孫子南近隣センター 【参加者】14名 ③【日程】6月19日 【場所】個人宅【参加者】10名 ④【日程】9月28日 【場所】我孫子北近隣センター 【参加者】40名 ⑤【日程】1月18日 【場所】湖北地区公民館 【参加者】47名 ⑥【日程】2月27日 【場所】湖北台市民センター 【参加者】35名 ●出前講座 ①【日程】7月19日 【場所】湖北地区公民館 【参加者】43名 ②【日程】7月28日 【場所】我孫子南近隣センター 【参加者】9名 ③【日程】10月17日 【場所】アビスタ 第3学習室 【参加者】6名 ④【日程】11月9日 【場所】アビスタホール 【参加者】41名 ⑤【日程】2月26日 【場所】布佐中学校 【参加者】71名 ●消費生活講座 【テーマ】「新聞紙のヒ・ミ・ツを知ろう！新聞紙でペン立てを作ろう！！」 【講師】(株)朝日プリンテック 【日時】8月7日 【参加者】24名 【テーマ】「保護者が学ぶ子どものネットトラブル～被害者・加害者にならないために～」 【講師】(社)ECネットワーク 【日時】12月26日 【参加者】28名 ◇◆指標と実績◆◇ 【全ての講座の参加人数】 408名	A. 成果・効果があった 高齢者の消費者トラブルが増加している中、ふれあいサロン等では積極的な啓発活動に努めた。	A. 現状どおり推進	ふれあいサロン、出前講座については、前年同様に実施する予定。消費生活講座については、テーマや開催時期を検討中。		商業観光課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
89	緑の講習会 ガーデニングや庭の手入れ方法などの緑に関する知識や技能の講習会を開催し、多くの市民に園芸やガーデニングに興味を持ってもらい、みどり豊かなまちづくりを推進する。	<p>●緑の講習会 <<剪定入門 実技>> 【日程】5月18日(金)【場所】気象台記念公園【定員】20人【参加】27人 <<ガーデニングの基本講座>> 【日程】5月24日(木)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人【参加】22人 <<ハーブの寄せ植え>> 【日程】5月29日(火)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人【参加】19人 <<初夏を彩るハンキングバスケット>> 【日程】6月9日(土)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人【参加】29人 <<庭木の管理 講座編>> 【日程】6月16日(土)【場所】アビスタミニホール【定員】30人【参加】58人 <<涼を誘う吊しのぶ>> 【日程】7月11日(水)【場所】アビスタ工芸工作室【定員】20人【参加】15人 <<秋のハンキングバスケット>> 【日程】9月27日(木)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人【参加】19人 <<樹木の管理講座 実技編>> 【日程】10月31日(水)【場所】気象台記念公園【定員】20人【参加】25人 <<樹木の管理講座>> 【日程】11月10日(土)【場所】湖北地区公民館第3学習室【定員】30人【参加】22人 <<ウィンターリース作り>> 【日程】11月28日(水)【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】20人【参加】30人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【合計参加人数】226人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>どの講座も例年人気の講座であり、キャンセル待ちがでるほどであった。実際の樹木を例にとり講義を行うなど、初めて参加したがわかりやすかったという声が多く寄せられた。また日ごろ困っている、自宅での樹木の手入れや植物の育て方なども講義中に対応し、参加者のニーズに合わせた講習会を今後も続けていきたい。今回は、若い女性の方も参加されていて、年代の幅が広い講習会を開催することができた。</p> <p>広報あひこで応募を募っているが、開催日の間隔が短い講座について同じ広報で2コマ掲載したが、電話が繋がらなかったという声もあり、今後は気を付けていきたい。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	2コマ講習会を減らした。	公園緑地課
90	栄養教諭を中核とした食育推進事業 食事の重要性を理解し、心身の健康を維持するための食の自己管理能力を身に付けた児童・生徒の育成を目指し、学校給食を教材として食育を推進する。家庭における望ましい食習慣の実践につなげるため、保護者が参加できる教室を開催する。	<p>・学校給食を教材とし、教科や給食時間・献立表・給食だより・HP等を通じて食に関する指導を行った。 ・5月に全校児童生徒を対象として朝食摂取状況に関するアンケートを実施した。その他の項目についてのアンケートは地区別に実施した。 朝食を毎日食べる割合は、小学生91%、中学生84%であった。 ・7、8月に我孫子地区・湖北・布佐地区で親子でクッキング(料理)教室を開催した。</p> <p>●親子クッキング教室 【日程】8月2日【場所】アビスタ 【内容】ビタミンたっぷり 夏野菜メニュー 【対象】親子【定員】30人【参加者数】29人【申込者数】290人</p> <p>●親子料理教室 【内容】10分でできる朝ごはんメニュー【対象】親子 ①【日程】7月31日【場所】布佐南近隣センター【定員】24人【参加者数】24人【申込者数】53人 ②【日程】8月1日【場所】湖北地区公民館【定員】24人【参加者数】18人【申込者数】47人</p> <p>・11月に全校で学級別残菜調査を実施した。平均残菜率は1.8%であった。 ・授業研究会を年5回実施し、栄養教諭・栄養職員の指導力向上を図った。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【教室・講習会開催回数】 3回 【教室・講習会参加者合計】 71人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>親子料理教室については、年々、申込者数が増えている。</p> <p>食育については、全体的に事業の数値的な評価が難しい。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	学校教育課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
91	生涯学習出前講座の運営 市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行う。出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図った。9月にPR事業として展示を行った。 市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行うことで、市民の主体的な学習の機会の充実と意識啓発を図り、市民の市政に関する理解を深めるとともに、地域の学びの広がりをつくることにより、市民と市の協働による生涯学習を通じたまちづくりを推進する。	<p>市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行う。出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図った。9月にPR事業として展示を行った。</p> <p>●出前講座 【講座数】 市役所メニュー 76 講座 市民講師メニュー 145 講座 キャンパスメニュー 30 講座 【年間利用状況】 件数: 154 件 (うち市役所メニュー:77件、市民講師メニュー:67件、キャンパスメニュー:10件) 人数: 3,355 人 (うち市役所メニュー:2115人、市民講師メニュー:1093人、キャンパスメニュー:147人)</p> <p>《出前講座PR展示》 【日程】9月13日～9月27日 【場所】アビスタ2階展示スペース</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【利用者満足度・件数】(回答者 127人) 《とても満足》 81% ・ 103 件 《満足》 18% ・ 23 件 《ふつう》 1% ・ 1 件 《やや不満》 0% ・ 0 件 《不満》 0% ・ 0 件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>学習団体の問い合わせに対し、出前講座の制度を紹介することで、目的にあった生涯学習活動を支援することができた。パネル展示や、メニュー表を各所に設置したことが制度の周知につながった。利用者アンケートでは高い満足度を得た。</p> <p>申し込み講座にかたよりのある。パネル展示について、2階展示スペースを活用していたが、2階を利用する方々は出前講座をすでに周知している方が多かった。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>生涯学習の目的は多岐にわたるため、現状維持だけではなく、引き続きメニューの拡充を行う。出前講座の周知をするため、引き続きパネル展示や、メニュー表の効果的な設置を行い、利用件数を増やす。</p>	<p>パネル展示では、周知を広げるため、アビスタ1階での展示を9月に行う。</p>	生涯学習課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	92 生涯学習普及啓発事業 我孫子市の生涯学習を推進するにあたり、情報紙による学習情報提供や講演会等、学習の場の提供を通して、学びが人づくりとなり、人と人の交流を生み、まちづくりにつながるよう生涯学習普及啓発事業を開催する。	<p>●親子で蜻山の絵付けに挑戦しよう！ 【日程】7月19日(日) 【場所】アビスタ工芸工作室 【参加者】親子18組36人 【講師】木村しのぶ氏、白樺文学館学芸員他5人</p> <p>●夏休み！子ども落語会 & 16ミリアニメ映画会 【日程】8月8日(水) 【場所】アビスタ ホール 【参加者】120人(大人38人、子ども82人) 【内容】 第一部:「子ども落語会」講師:山遊亭金太郎 師匠 ・親子で楽しめる落語(「つる」「平林」と小噺のワークショップ) 第二部:16ミリアニメ映画会 ・藤子・F・不二雄のモジャ公/宇宙から来た友達 ・タマ&フレンズ/タマが生まれた時の話・タマとポチの大冒険</p> <p>●親子deミニ門松づくり～手作りでお正月～ 【日程】12月26日(土) 【場所】アビスタ第2学習室 【参加者】親子10組20人 【講師】ちばテク我孫子校</p> <p>●子どもが喜ぶ！激うま時短料理 【日程】2月2日(土) 【場所】アビスタ調理室及び第二学習室 【参加者】大人17人、子ども6人 【講師】川村学園女子大学今井久美子教授及び大学生(6名)</p> <p>●親子で和菓子を楽しもう！ 【日程】2月3日(日) 【場所】アビスタ調理室 【参加者】親子19組38人 【講師】菓子工房福一 池田尚史氏</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ ●夏休み！子ども落語会 & 16ミリアニメ映画会 【アンケート結果】95%の方が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答 ●親子で和菓子を楽しもう！ 【アンケート結果】19組中19組が「とても良かった」と回答</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>講座を通じて学ぶことやモノづくりの楽しさを知ってもらい、生涯学習に興味を持っていただけた。また、講座で地域ゆかりの著名人をとりあげたり、地域で活躍する方々を講師としたりすることで、講座参加者に地域への愛着等も感じていただけた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	生涯学習課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	93 人権教育 地域で活動する社会教育関係者を対象に社会に存在する様々な人権問題（外国人・男女・子ども・高齢者・障がい者など）について学習する機会を提供し、社会教育活動にいかしてもらおう。	<p>●社会人権教育中央研修会 【日程】6月8日(木) 【場所】千葉県総合教育センター 【対象者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者 【内容】全体会Ⅰ：講演「児童虐待の現状と対応～地域でできること～」 講師：国保旭中央病院小児科部長 仙田 正義 氏 全体会Ⅱ：人権啓発ビデオ視聴 分散会：「各市町村教育委員会における人権教育推進上の取組について」</p> <p>●社会人権教育指導者養成講座 【日程】第1回：7月20日(金)、第2回：8月24日(金)、第3回：9月14日(金)、第4回：10月18日(木) 【場所】千葉県総合教育センター(第1,3及び4回)及び千葉県人権センター(第2回) 【対象者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者 【内容】講演及び演習 講演内容：視聴覚障害、男女共同参画、被差別部落、児童虐待及び性の多様性</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】9月13日(木) 【場所】さわやかちば県民プラザ 【対象者】市内小中学校教職員、保護者、教育委員、社会教育委員、人権擁護委員及び関係各課職員 【内容】①千葉県の人権教育 ②講演「障がい者とスポーツ」 講師：平昌パラリンピックアルペンスキー日本代表 夏目 堅司 氏 【参加人数】8名</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【人権教育研修会参加者数】延べ 10名</p>	A. 成果・効果があった 社会人権教育地区別研修会について、勉強になったという参加者からの声があった。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
		94 スポーツ教室事業 様々なスポーツ団体と連携を図り優秀なスポーツ選手や企業などにおける人材をスポーツの指導・振興に活かし、スポーツ教室を行う。	平成30年度より「健康スポーツ普及事業」と統合したため事業廃止 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加人数】 人	C. 未実施・わからない 健康スポーツ事業と統合	C. 廃止・休止		文化・スポーツ課
		95 地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～ 市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備するため、小学校を会場に、地域の団体と連携を図りながら、大人から子供までスポーツを行い、地域のコミュニケーションを図る。	<p>《地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～》 【日程】平成31年2月23日(土) 【場所】我孫子西地区、我孫子中央地区、我孫子東地区の3地区 【対象者】児童から高齢者まで広く</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【参加人数】324人</p>	A. 成果・効果があった ニュースポーツを中心に、市民の誰もが気軽に参加できるイベントとなり、また地域のスポーツ団体と協働を行うことで、地域のコミュニティの形成にも寄与できている。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
	96	鳥の博物館企画展 鳥の生態や、鳥の体の仕組み、鳥の保全などについて理解を深めてもらうため、さまざまな視点から鳥をわかりやすく解説し、収蔵標本や資料を展示する。	<p>●企画展示 【内容・日程】 第80回企画展「日本の海鳥～カンムリウミスズメと行く海の旅～」H30. 1. 27～H30. 6. 24 第81回企画展「我孫子の都市鳥—都市の発展と鳥たちの移り変わり—」H30. 7. 14～H30. 11. 25 第82回企画展「友の会展」H30. 12. 8～H31. 1. 14 第83回企画展「てがたん展—あびこで楽しむ自然観察—」H31. 2. 2～R1. 6. 16</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【入館者数(年間)】 指標：36,000人 実績：33,195人</p>	A. 成果・効果があった 各テーマに沿った企画を分かりやすく解説し、来館者が興味を持って鳥についての知識を深めることができた	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり		基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり		基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり		
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		
97	市民農園維持管理事業 消費者が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園などの農業体験の場の提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃) 農園内の区画増設(5月) 農園利用者の新規募集(随時) 農園利用料の徴収(6月) 農園利用者向け収穫体験イベントの実施(6月、10月) <p>●年間を通じた市民農園の維持管理</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃) 農園利用者の募集(随時募集、ホームページに募集記事を掲載) 農園利用料の徴収 <p>【市民農園の詳細】</p> <p>《日秀新田市民農園》 総区画122区画うち利用区画数110区画</p> <p>●体験イベント(日秀新田市民農園)</p> <p>《じゃがいも収穫イベント》</p> <p>【日程】平成30年6月23日(土)</p> <p>【場所】日秀新田市民農園内</p> <p>【参加者】68人</p> <p>《芋ほりイベント》</p> <p>【日程】平成30年10月20日(土)</p> <p>【場所】日秀新田市民農園内</p> <p>【参加者】70人</p> <p>◇◆指標と実績◆◇</p> <p>【市民農園利用区画数】110区画(一般区画全122区画中)</p>	A. 成果・効果があった 平成31年3月末時点での日秀新田市民農園利用区画数は前年同月値と同程度だったが、利用者の定着に伴い、収穫体験イベントの参加人数は前年に比べ増加した。	A. 現状どおり推進	なし	農政課
	98	親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム) 水槽やパネルなどで手賀沼の生き物や市の歴史・文化について情報発信する。環境学習の場としても活用するほか、プラネタリウムやじゃぶじゃぶ池など、多くの来場者が訪れる水環境保全啓発施設として運営する。	<p>水の館内の各展示や講座により水環境保全啓発、環境学習、歴史・文化の学習の場を提供する。また、土日祝日にプラネタリウムの定時上映も行うほか、テーマ番組に合わせた展示、CDまたは生演奏と合わせた上映と星空たんけん観望会をそれぞれ年4回ずつ実施した。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇</p> <p>【プラネタリウム投影事業参加者合計】 811回上映 14,985人</p> <p>【星空たんけん観望会】 4回実施 147人</p>	A. 成果・効果があった プラネタリウム定時上映については、土日祝日に1日6回ずつ投影を行うほか、平日は10人以上で団体貸切を行った。また、夏休みと春休み期間は、水曜日を除く平日も1日2回投影を行ったことで、親水広場に多くの入場者に来ていただき、水環境保全啓発施設としての利用も促進された。	A. 現状どおり推進	

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 3 多様な学びのある場のまちづくり	99 ふれあい工房の運営管理事業 クリーンセンターに持ち込まれた再使用可能な家具等の修理や、リサイクル家具バザー等での販売、知識・技術を持ったアドバイザーによる技術指導・相談の実施により、再資源化活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ●各種リサイクル教室 【内容】布クラブ教室、バッグ作り教室、木工教室(鉢カバー等)、パッチワーク、布草履(ぞうり)作り、裂き織り、ツールペイント、布リフォーム(エプロン、ブラウス作り)、包丁研ぎ、など 【場所】ふれあい工房 【日程】通年(毎月) 【参加者】各5名程度 【対象】市内に在住・在勤・在学の方(材料費がかかる場合あり) ●家具バザーは随時 ●リサイクルフリーマーケット 【日程】10月21日(日) 【内容】リユースの促進を目的にふれあい工房内でフリーマーケットを開催 【参加者】市内在住・在勤・在学の個人 ●夏休み子ども体験フェスタ 【日程】7月21日(土)・22日(日) 【内容】実体験を通したリサイクルの啓発 <p>◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 フリーマーケット:243人 夏休み子ども体験フェスタ:185人/2日</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>アドバイザーによるリサイクルの技術指導で不要なものを再利用するなど、資源循環型社会の構築、市民と市との共同まちづくりの推進、社会福祉の向上を図っている。</p> <p>ふれあい工房の運営スタッフやリサイクル教室の指導に当たる技術アドバイザーが高齢化により集まらなくなっている。</p> <p>粗大ごみで排出される家具などの木製品が、安価な大量生産品に移行しており、リペアや加工できる質ではないためバザーに出せる製品が減っている。</p>	A. 現状どおり推進	なし	クリーンセンター
	100 新たな文化交流拠点施設整備の検討 新たな文化交流拠点施設の整備に向けて、文化交流拠点施設整備調査研究業務報告書などを踏まえて、施設の機能や建設候補地などを建設構想案として取りまとめ、議会や市民の意見を聴きながら、さらに検討を進めていく。	<p>企画課・生涯学習課共同で「我孫子市文化交流拠点施設整備調査研究業務報告書(平成26年10月)」をもとに、文化交流拠点施設建設構想案の中間報告を作成をした。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ なし</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>構想案が出来上がりつつある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>平成31年に施設構想案を提示する予定。</p>	なし	企画課、生涯学習課
	101 地域交流教室の提供 学校施設の一部を市民団体やサークル、自治会などの学習拠点として開放する。	<p>地域における大人と子どもの交流や学習等の様々な活動を支援する場として、引き続き地域交流教室の利用をPRをしていく。</p> <p>【使用料】4時間ごとに100円 【使用料免除対象】 ・学習活動(高校生以下の方が1人以上参加するものに限る)を行う場合 ・その他教育委員会が必要があると認める場合</p> <p>【使用形態】 月～日曜日の9時～21時(高野山及び布佐小学校は、月～土曜日の18～21時及び日曜日の9～21時) 【場所】 第一小学校、布佐小学校、湖北台西小学校、高野山小学校:1教室、湖北台東小学校:2教室 【予約件数及び使用団体数】 第一小学校:604件(稼働率57%) 15団体 布佐小学校:125件(稼働率27%) 4団体 湖北台西小学校:456件(稼働率43%) 12団体及び個人使用1 高野山小学校:286件(稼働率62%) 7団体 湖北台東小学校(2教室):1,354件(稼働率64%) 32団体 合計:2,825件 70団体及び個人使用1</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【提供コマ数】5,160コマ 【予約コマ数】2,835コマ 【有料使用コマ数】428コマ</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>71の団体及び個人に教室を使用していただき、市民の学習活動の一助となっている。</p>	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	102	公民館施設管理運営 生涯学習センターの建物敷地の適正な維持管理を行い、市民の学習環境を整備をする。	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進めた。 また、施設の修繕や定期点検を実施した。 ・修繕 電動レール取替修繕、喫茶コーナー換気設備修繕、消防用設備修繕、ウッドデッキ修繕等 ・定期点検 建築設備定期検査、建築物定期検査 ・備品購入 学習用椅子 ・樹木剪定、草刈業務 ◇◆指標と実績◇◆ 今年度は市の施設について、バルクリース工事が実施された。アビスタも対象となり、11月から12月にかけて工事が実施された。主管課である施設管理課、及び実施業者と連携を取りながら、遅滞のないよう実施した。 なお、工事期間を南側1カ月、北側1カ月と分け、工事を実施していない方の施設を市民の利用に供した。 その際は、工事の音、空調が効かないことを予め周知した上で、貸出を行うこととした。 【保守管理執行率】 100%	A. 成果・効果があった 主管課は施設管理課であるが、当課も協力をしてバルクリースによる照明のLED化、空調交換を行ったことでガス消費量、電気消費量の効率的な削減につながった。また、LED化により照明の光量が上がった。	A. 現状どおり推進 施設修繕計画を立て、施設修繕箇所に対する適切な対応を行いたい。	なし	生涯学習課
	103	湖北地区公民館空調設備更新工事 老朽化した空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	平成28年度で完了したため廃止 ◇◆指標と実績◇◆ なし			なし	生涯学習課
	104	フリースポット (Wi-Fi) の提供 無線LAN (Wi-Fi) の利用状況や要望の把握を行いながら、公民館等の公共施設に無線LAN (Wi-Fi) を利用できる設備を整備しパソコン等のパケット通信が快適に利用できる環境を整える。	生涯学習センター「アビスタ」の2階オープンスペースにてインターネットを接続する方を対象に、インターネット環境の提供をした。 ◇◆指標と実績◇◆ 【無線LAN設置箇所】 1箇所	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
	105	施設予約システムの運用 公民館をはじめとした学習施設の空き状況や施設利用の予約等について、施設の窓口の他にインターネットを利用したシステムを運用し市民の利便性の向上を図る。	29年度に引き続き、ちば施設予約システムを利用した。 ◇◆指標と実績◇◆ 我孫子地区公民館 【団体利用件数、人数】 7, 339件、 118, 254人 【個人利用件数、人数】 345件、 367人 湖北地区公民館 【団体利用件数、人数】 3, 261件、 73, 442人 【個人利用件数、人数】 10件、 13人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課、市民活動・文化支援課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	106 市民体育館管理運営 指定管理制度を活かし、良質な自主事業の提供などサービスを一層充実させるとともに、民間のノウハウを活かし利用しやすい施設づくりを進める。	アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理の委託 平成30年度から再度、5年間アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理者が決定 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民体育館利用者数】 180,465人	A. 成果・効果があった 指定管理者制度を利用することで、様々なプログラムを提供することができ、市民の健康保持・増進に大きく寄与している。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
		107 体育施設管理運営事業、維持補修 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、利根川ゆうゆう公園や湖北台中央公園、手賀沼公園の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。また、五本松運動広場をより市民のスポーツ利用が図れるよう改修整備を行う。	必要に応じて適宜対応していく。 ●維持管理 ・布佐下多目的広場・五本松運動整備業務・利根川ゆうゆう公園サッカー場補修業務 ●管理運営 ・つくし野多目的広場管理運営・浅間前多目的広場草刈り・利根川ゆうゆう公園オフロードコース草刈り 湖北台中央公園野球場ダグアウト改修 湖北台中央公園野球場バックネット塗装 湖北台中央公園野球場バックネット修繕 ◇◆指標と実績◆◇ 【体育施設利用者数】 95,562人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
		108 武道施設の建設整備の検討 全国総合体育大会、国民体育大会で、なぎなた競技を我孫子市で開催したことや中学校の武道の必修化に伴い、日本古来からの伝統文化でもある武道のより一層の振興を図るため、武道施設の建設整備の検討する。	引き続き地権者交渉を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【整備進捗率】 0%	B. あまり成果・効果がなかった 地権者との交渉が難航しており成果が上 がっていない。	B. 改善・見直しを行う 整備場所の再検討を行い、 実行の可能性を検討	なし	文化・スポーツ課
		109 市民体育館維持補修、改修事業 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、市民体育館の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。	●維持補修・改修 ・市民体育館野球場1塁側ネットフェンス塗装 ・庭球場改修工事 ・サブアリーナ棟屋根等改修工事 ◇◆指標と実績◆◇ 【修繕・改修工事の進捗率】 100%	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	110 学校体育施設開放事業 市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめることができる環境を整備するため、学校施設である体育館、校庭、武道場を一般開放する。また、市民プールの代替施設として小学校の夏季休業期間中プールを開放する。	●小学校プール開放事業 《一般開放》 【日程】7月28日から8月19日までの23日間 【場所】我孫子第一、我孫子第三、我孫子第四、並木、湖北、湖北台西、湖北台東、根戸、新木、布佐南、高野山の11校 《団体開放》 【日程】8月3日から8月7日までの5日間 【場所】布佐小の1校 ●体育館・校庭の一般開放事業 年間通して全校で実施する。 ◇◆指標と実績◆◇ 【プール開放利用者数】8,512人 【学校体育館・校庭・武道場利用者数】176,620人	A. 成果・効果があった 地域のスポーツ振興に寄与することができた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
		111 ふれあいキャンプ場管理運営 市民が気軽に安心・安全にキャンプ場を利用できるよう、利用受付事務や野外用品の貸出等の維持管理運営を行う。	市民に安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供する。 ◇◆指標と実績◆◇ ●ふれあいキャンプ場利用 【キャンプ場利用数】701件、8,730人	A. 成果・効果があった 県内外から利用者が訪れるなど我孫子の魅力発信にも繋がっている。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
		112 文化財等の保存と活用 市内に残る文化財を保存・活用することにより、我孫子の歴史の意義を広く市民に理解してもらえるようにする。具体的には、価値ある文化財を保存、整備し、それらを一般公開し、誘導板や説明板等の整備を行う。また、歴史資料や考古遺物などの整理、研究の成果を分かりやすく伝える文化財展などの企画・イベントや施設運営等を実施する。	●文化財説明板の設置…「井上家住宅」説明板の設置 ●文化財展示会の実施 【日程】2月16日～19日 【参加者】784人 ●旧村川別荘の日常管理とボランティアガイドと協働して来訪者への働きかけ 《竹灯籠の夕べ》【日程】10月5日～6日 【参加者】451人 《ひなのまつり》【日程】2月23日～3月4日 【参加者】1,075人 ●郷土資料室等の運営…発掘速報展などの実施 ◇◆指標と実績◆◇ 実績【参加者合計】2,310人	A. 成果・効果があった 文化財を保存するだけでなく、整備し活用することで、多くの人々に文化財が持つ魅力を知ってもらえる良い機会となった。	A. 現状どおり推進	「文化財保存活用地域計画」を策定する。	文化・スポーツ課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
113	杉村楚人冠記念館の保存と活用 杉村楚人冠記念館の建物と資料を保存し、杉村楚人冠について広く市民に知ってもらえるよう活用を図る。具体的には、資料の調査・研究から判明したことをまとめ展示を行い、その展示をより理解してもらうために、施設内のガイド、報告書の刊行やワークショップ、講演会などを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●春期企画展「楚人冠と俳人たち～ホトギスから湖畔吟社まで」 【日程】3月6日～5月13日(前年度より継続) ●テーマ展示「てがみ展～海外からのてがみ」 【日程】5月19日～7月16日 ●夏期企画展「今に生きる楚人冠の新聞改革」 【日程】7月18日～10月8日 ●冬期企画展「明治時代の世界一周旅行～楚人冠の「世界一周会」」 【日程】10月14日～1月14日 ●テーマ展示「てがみ展～我孫子に集まった人々」 【日程】1月16日～3月10日 ●春期企画展「カルピスを作った男 三島海雲」 【日程】3月12日～5月12日(翌年度継続) ●清接庵茶会(我孫子高校茶道部と連携) 【日程】3月17日 ◇◆指標と実績◆◇ 【来訪者(年間)】 3, 166人	A. 成果・効果があった 質の高い展示、講演会を実施しつつ、来訪者の増加と認知の向上を目指し、小中学校のみならず高校などとの連携が必要になっている。	A. 現状どおり推進 杉村楚人冠資料と楚人冠邸の魅力をアップさせるため、白樺文学館やほかの文学館と連携した展示やイベントを実施する。	なし	文化・スポーツ課
114	旧井上家住宅の保存と活用 旧井上家住宅の建物・敷地の維持管理を行いながら、建物を順次保存整備工事して後世に伝えていく。工事中も建物周囲の公開活用を図り、周知に努めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ●二番土蔵保存整備工事 【期間】平成28年7月1日～30年7月31日 ●現状記録報告書作成 ●保存整備工事現地見学会【日程】6月2日【参加者】21人 【日程】5月13日 ●新土蔵を使ったイベント <<土蔵古本市>>【日程】5月3日・4日 6月2日 10月20日 3月16日 <<お話会>>【日程】10月20日【参加者】38人 <<お茶会>>【日程】3月16日【参加者】69人 <<鉄道模型運転会>>【日程】5月3日・4日【参加者】420人 ◇◆指標と実績◆◇ 【保存整備工事の進捗率】100%	A. 成果・効果があった 二番土蔵保存整備工事を適切に実施することができた。 保存整備箇所を維持しつつ、適切に活用していく必要がある。	A. 現状どおり推進 邸内全域の保存整備工事完了を目指しつつ、部分公開事業などを積極的に推進する。	母屋保存整備工事実施設計を行う。	文化・スポーツ課
115	白樺文学館の運営 大正期に我孫子に居を構えた白樺派の足跡を広く知ってもらうため、所蔵資料や作品などを活用し、企画展やイベントを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●常設テーマ <<民藝運動と我孫子>> 【日程】2月1日～7月1日(前年度より継続) <<白樺派と我孫子>> 【日程】1月31日～7月29日(翌年度に継続) ●企画展 <<我孫子深草窯築窯80年記念 河村蜻山展 前期>> 【日程】7月4日～10月28日 <<我孫子深草窯築窯80年記念 河村蜻山展 後期>> 【日程】10月31日～1月27日 ●朗読・ピアノイベント <<白樺の調べ>> 【日程】毎月1回開催 ◇◆指標と実績◆◇ 【入館者(年間)】4, 754人 	A. 成果・効果があった 朗読・ピアノイベントを毎月実施し、来訪者の増加と認知の向上が図れた。	A. 現状どおり推進 白樺派の魅力を多くの方に知っていただけるようなコラボイベントを推進していく。	「文豪とアルケミスト」とのコラボ事業の推進、芹沢銈介に関わる柏市との連携事業	文化・スポーツ課

基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
116	手賀沼文化拠点整備計画の推進 我孫子市内には、古墳や郡衙(ぐんが)などの遺跡、戦国時代の城跡、江戸時代の宿場、大正時代の別荘、文人たちの旧居など、多時代に亘る数多くの史跡が、沼と樹林地、丘陵と一体となって所在しており、それらを単に保存、維持することだけにとどまらず、一体のものとして連携させ、積極的な整備、活用を図っていくことが求められている情勢を踏まえ、手賀沼沿いに点在する多くの文化ポイントのネットワーク化を行い、体系だった整備、活用を進める。	関係課長会議を開催し、10年間の実績をまとめた。 ◇◆指標と実績◆◇ 【会議日程】 5月22日、2月13日	A. 成果・効果があった 杉村楚人冠邸、旧村川別荘などの史跡の再整備などを実施し、また我孫子の魅力を多くの方に知っていただけるようインフォメーションセンターの設置ができた。	C. 廃止・休止 10年間実施して、計画としては終了であるが、計画の主旨を十分に反映できるよう、他の課の計画などに盛り込んでもらえるよう要請している。また文化・スポーツ課としては「文化財保存活用地域計画」として市域全体に広げた保存と活用に展開していく。	計画としては終了。	文化・スポーツ課
117	移動図書館業務 移動図書館そよかぜ号の巡回により、図書館に来館しにくい地域に居住する高齢者や、乳幼児を連れた親子等に学習の機会を提供する。	移動図書館車の更新について、助成金の申請を行ったが、不採択だった。移動図書館そよかぜ号が(祝日も含め)水・木・金の午後に市内14ステーションを巡回して、貸出・返却等のサービスを提供した。アビスタ本館がバルクリースによる特別休館中の11月に、アビスタに特別巡回をした。 平成31年1月から、我孫子第三小学校への巡回を開始した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数】 21,781冊 (昨年比) 107.1%	A. 成果・効果があった 天候により巡回中止となる場合もあったが、定期的に移動図書館を運行し、アビスタ本館・湖北台分館・布佐分館に来館しにくい高齢者や乳幼児連れの親子に対して学習の場を提供することができた。我孫子第三小学校の児童に移動図書館利用の場を提供することができた。	A. 現状どおり推進 移動図書館車の更新については、助成金の申請を引き続き行っていく。また、学校、高齢者施設などへの移動図書館車の巡回など、移動図書館の可能性について検討していく必要がある。	我孫子第三小学校への定期運行を実施する。	図書館
118	湖北地区図書館の整備 各図書館、移動図書館の維持管理・運営形態について、我孫子市公表施設等総合管理計画との整合性を図りながら、今後の老朽化を見据え、修繕等を計画的に進め、運営方針の見直しをおこない、時代に合った図書館サービスを提供していく。	湖北地区図書館の整備については、第2期整備計画の中で検討していくことになった。課内で「図書館運営今後のあり方検討会議」を開催し、図書館運営の今後のあり方について検討した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【図書館運営今後のあり方会議開催回数】 7回	A. 成果・効果があった 図書館運営の今後のあり方について、検討を進めることができた。	A. 現状どおり推進 引き続き、図書館の運営形態や、個別施設計画を検討していく。 厳しい財政状況の中で、図書館サービスの質を保ちながら運営方法を検討していく難しさがある。	なし	図書館

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	119 図書館会議室及び展示スペースの提供 図書館の会議室や展示スペースを活用し、市民の自主的な学習の機会と発表の場を提供する。	布佐分館会議室を貸し出した。 湖北台分館・布佐分館の館内壁面を作品の発表の場(ミニギャラリー)として市民に提供した。 《布佐分館》 第1会議室(申請に応じて随時)、第2会議室(申請に応じて随時)、ミニギャラリー(年12回) 《湖北台分館》 ミニギャラリー(年12回) ◇◆指標と実績◆◇ 【布佐分館会議室の年間利用回数】 101回(昨年度比 75.9%) 【壁面ギャラリー利用率】 《布佐分館》100% 《湖北台分館》100%	A. 成果・効果があった ミニギャラリーについては、湖北台・布佐分館とも毎月展示があり盛況だった。市民の自主的な学習機会と発表の場を提供することができた。 会議室については、市役所内へ利用の呼びかけを行っているが、未利用の日もあり、一層の利用促進に努める必要がある。また、ミニギャラリーも展示者がマンネリ化しているため、関連団体へ呼びかけなど新規開拓する必要がある。	A. 現状どおり推進 布佐地区は公民館未設置であることから、学習活動の場・地域活動の場として会議室は重要である。今後も引き続き推進していく。	なし	図書館
		120 鳥の博物館管理運営 鳥の博物館内の照明・空調等の更新や、展示のための壁面修繕、配線工事を実施するなど、施設の維持管理を行う。	●施設設備修繕 自動ドア駆動装置交換修繕 樹木管理(剪定) ◇◆指標と実績◆◇ ●施設設備修繕 自動ドア駆動装置交換修繕(7/30実施、568,080円) 樹木管理(剪定)(3/15実施、49,500円)	A. 成果・効果があった 利用者に快適な館内環境を提供することができた。 財政的な見通しが立たないため、緊急度が低い修繕は保留されている箇所がある	A. 現状どおり推進 これまで通り、利用者に快適な館内環境を提供していく。	●施設設備修繕 学芸員室・多目的ホール非常用照明交換 防火扉非常電源バッテリー交換 樹木管理(剪定・病虫害駆除)	鳥の博物館
		121 鳥の博物館空調設備更新工事 施設の老朽化により、空調設備の更新工事を行い、快適な学習環境を整備する。	工事完了のため廃止 ◇◆指標と実績◆◇ なし			なし	鳥の博物館
		122 鳥の博物館展示リニューアル 科学の進歩に合わせた情報の更新や時代に沿った展示手法の導入により、信頼のおける情報の提供を行い、展示の基本となる収蔵資料の保管・管理機能の充実を図る。	本年度、事業者への業務委託を予定していた展示リニューアル計画に係る基本計画策定については、事業者へ委託せず学芸員により策定する方向で検討していく。常設展示のリニューアルに必要な情報(展示構成、展示デザイン、経費等)を収集・整理する。また、財源的な裏付けについて検討する。 ◇◆指標と実績◆◇ 【入館者数(年間)】 指標: 36,000人 実績: 33,195人	A. 成果・効果があった 常設展示のリニューアルに伴う基本計画、実施計画及び工事費に係る必要経費等について、複数の事業者からヒアリングを行い、おおよその金額を把握できた。 展示リニューアル計画を実行する上で財政的な見通しがたたない。	A. 現状どおり推進	事業者への業務委託を予定していた展示リニューアル計画に係る基本計画策定については、事業者へ委託せず、学芸員により策定する方向で検討していく。	鳥の博物館

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 3 多様な学びのある場のまちづくり	②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用	123 手賀沼ふれあいウォーク 手賀沼周囲のウォーキングを実施し、健康における運動習慣の重要性を啓発する。	●手賀沼ふれあいウォーク 【日程】11月17日(土) 【場所】手賀沼公園 【人数】我孫子会場355人、柏会場303人、合計658人 【主催】手賀沼ふれあいウォーク実行委員会(実施主体は、千葉県ウォーキング協会、我孫子市と柏市の共催) 【対象者】市民 ◇◆指標と実績◆◇ 【手賀沼ふれあいウォーク参加者数】 我孫子会場355人、柏会場303人、合計658人	A. 成果・効果があった ・晴天に恵まれ、658人もの方に参加していただいた。参加者アンケートの感想では満足したという声が多かった。健康に普段あまり気をつけていない方の参加も多く、このイベントが普段身体を動かしていない方にも運動に興味をもっていた一助になったと考えられる。 ・コース内のチェックポイントである水の館で農業まつりが開催されていたため、互いにイベントの魅力を増すことができ、イベントを盛り上げる事ができた。 ・前年度に比べ、初めて参加の方が7割近くなり、リピーターが減少した傾向にあった。イベント4年目を迎えたが、例年コースが同じであるため、毎年参加している方には飽きが出てきていることも考えられる。新しい工夫をし、集客を図る必要がある。 ・近隣大学等にちらし、ポスターを配布したが、20代の参加はほとんどなく効果が得られなかった。若い世代に参加してもらうように工夫をしていく必要がある。	B. 改善・見直しを行う 平成31年度以降、柏市が手賀沼ふれあいウォーク事業を廃止することとなったため、我孫子市と千葉県ウォーキング協会を実施する。また、東日本ガス(株)が実施するガス展と共同で実施したいと考えている。	②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用 平成31年度以降、柏市が手賀沼ふれあいウォーク事業を廃止することとなったため、我孫子市と千葉県ウォーキング協会を実施する。また、東日本ガス(株)が実施するガス展と共同で実施したいと考えている。	健康づくり支援課
		124 近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進 近隣市町との体育施設の相互利用や、民間等の体育施設の一般開放を進めることにより、市に不足している施設を補充し市民が気軽にスポーツに触れ楽しめる環境を整備する。	ボールゲームフェスタの開催 【場所】我孫子市民体育館 【日程】平成29年4月30日 【人数】午前の部:47組、午後の部:84人 【対象者】 午前小学1年生から小学3年生までの児童と保護者 午後小学4年生から小学6年生までの児童、生徒 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加人数】178人	健康スポーツ事業と統合		なし	文化・スポーツ課
		125 手賀沼エコマラソン支援事業 「よみがえる手賀沼をさわやかに走ろう！」をキャッチフレーズに、「手賀沼の浄化」と「地域の活性化」をランナーとともにアピールするため、柏市と共同でマラソン大会を開催する。	●第24回手賀沼エコマラソン 【日程】10月28日(日) 【対象】 ・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者 ≪柏・我孫子市民枠≫3,000人 ≪一般枠≫7,000人 【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン) 日本陸連公認大会 【参加者】10,000人 【目的】 (1)手賀沼浄化啓発活動の推進 (2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール (3)健康増進の昂揚 (4)社会の活性化とスポーツ文化の振興 【共催】柏市 ◇◆指標と実績◆◇ 【手賀沼エコマラソン参加者数】9,080人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
基本目標3 多様な学びのある場のまちづくり	126	<p>市外図書館・大学・関係機関との連携協力</p> <p>千葉県立図書館・県内市町村立図書館・国会図書館・大学図書館など関係機関と連携して、図書資料の相互貸借や図書館の相互利用を行い、市民の幅広いニーズに対応する。</p>	<p>・千葉県立図書館巡回車(週1回)による県内図書館相互貸借業務</p> <p>・市内大学との連携による利用紹介状発行・図書相互貸借業務</p> <p>・国会図書館・大学図書館・県外公共図書館との図書相互貸借業務</p> <p>・千葉県公共図書館協会事務、第3ブロック幹事館事務</p> <p>●相互貸借申込 【他図書館への貸出(A)】 1,645冊 【他図書館からの借入(B)】 5,986冊</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【年間相互貸借冊数(A+B)】 7,631冊</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>多種多様な資料・情報に対する市民の要望は多く、その幅広いニーズに応えることができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>資料費が限られている中、市外図書館、大学図書館、関係機関との連携・協力は不可欠であり、今後も継続して推進していく。</p>	なし	図書館
				<p>全国の同規模の図書館の中でも図書館間借受冊数が上位に位置しているように、相互協力による借受は活発であるが、必要な資料は揃えることができるよう資料費の確保に努める必要がある。</p>			

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容			令和元年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり					基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	
①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充					①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充	
127	(再掲) 生涯学習出前講座の運営					生涯学習課
128	生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録 自ら培った経験や技術、知識を地域に活かし、市民の生涯学習活動を積極的に応援していただける方を「市民講師」として登録し、まちの生涯学習のリーダーとして、市民の生涯学習のきっかけづくりを行ってもらうとともに、学びの輪を地域に広げてもらう。	生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供する。 【講座登録数】(平成31年3月31日時点) 市民講師メニュー 145 講座 【講師登録数】(平成31年3月31日時点) 講師: 58 人 団体: 7 団体 ◇◆指標と実績◆◇ 【新規登録数】6人	A. 成果・効果があった 市民講師講座数が増え、メニューが充実した。講師の方には積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。 なし	A. 現状どおり推進 出前講座のPRの中に、市民講師へ登録の内容も盛り込み、登録数を増やす。市民活動ステーションの登録団体を紹介してもらうよう依頼し、登録数を増やした。	なし	生涯学習課
129	(再掲) 生涯学習人材バンクの整備					生涯学習課
130	アビスター一時保育事業 生涯学習施設を利用する子育て中の利用者のために、保育スタッフを活用して一時保育の環境を充実させ、学びたい時に学べる学習機会の提供を図る。	・(株)東進ビルシステムによるチラシによるPRを実施予定。(我孫子地区公民館、湖北地区公民館、アビシルベ、保健センター) 【日程】4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全56回 【場所】生涯学習センターアビスタ 託児室、湖北地区公民館 和室 【内容】子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児。 【対象】子育て中の生涯学習施設利用者 <託児対象児>2歳から就学前までの幼児 [利用者内訳] <<毎週水曜日>> 【利用回数】 44回 【利用者】 110人 <<公民館事業(家庭教育学級、プチ家庭教育学級、のびのび親子学級家庭教育学級合同講演会等)>> 【利用回数】 12回 【利用者】 26人 ◇◆指標と実績◆◇ 【保育利用者】 150 人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
131	(再掲) 生涯学習ボランティア					生涯学習課
132	文化事業市民スタッフ 教育委員会が主催・共催する文化事業の実施にあたって市民スタッフを活用し、受付、設営、会場整理等の業務を行う。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施する。 【委嘱期間】4月1日～3月31日 【委嘱人数】 30人 【派遣件数】 10件 【派遣人数】 71人(延べ) 【派遣件名】 市民コンサート、郷土芸能祭、文化財展、フレッシュコンサート 他 【業務内容】 コンサートのチケットもぎり、会場整理、受付案内 他 ◇◆指標と実績◆◇ 【登録人数】 31人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点	
②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充							
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	133 防災士及び災害救援ボランティア育成事業 防災士と災害救援ボランティアの認証資格の取得を支援し防災リーダーを育成することで、自助・共助による「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の原点を自然発生的に芽生えさせ、自主防災組織の組織化と活性化により、我孫子市における防災力や減災力の質的向上に努める。	●第9回災害救援ボランティア講座 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【開催日程】11月17日(土)、11月23日(金・祝)、11月24日(土) 【開催場所】中央学院大学・消防本部 【対象者】市民、市内の大学在学者、市内の事業所在勤者 【募集人数】一般10名 学生30名 計 40名 ●防災士補助金交付 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 【日程】随時 【補助額】受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 【対象者】市民(自治会、自主防災組織の推薦を受けた者) ◇◆指標と実績◆◇ 【災害救援ボランティア講座の受講者数】 20人(一般9人、学生11人) 【防災士 受験者数】 0人	A. 成果・効果があった 災害救援ボランティア講座の受講者数が昨年より多く、地域での防災への意識が高くなっていると感じた。	A. 現状どおり推進	なし	市民安全課
	134 失語症会話パートナー養成講座 失語のある人に失語のある人向け意思疎通支援者を派遣することにより、コミュニケーションの支援と社会参加の促進を図る。	●失語のある人向け意思疎通支援者派遣事業 【内 容】失語のある人に失語のある人向け意思疎通支援者を派遣し一対一でコミュニケーションのお相手をします。また、失語のある人の外出時に同行し、会話の支援を行います。 【対 象】失語によって発話や理解などに障害のある方 【費 用】無料 ●スキルアップ講座 【内容】失語のある人向け意思疎通支援者の会話技術を向上させるため、年5回研修を行う。 【対象】失語のある人向け意思疎通支援者派遣事業登録者 【費用】無料 ◇◆指標と実績◆◇ 【失語のある人向け意思疎通支援者延べ派遣人数】 350 人 【失語のある人向け意思疎通支援者登録者人数】 26 人	A. 成果・効果があった 失語のある人のコミュニケーションの障害を軽減する効果があった。	A. 現状どおり推進 失語のある人向け意思疎通支援者派遣事業はニーズが高いため、現状どおり推進する。	なし	障害福祉支援課(障害者福祉センター)	
	135 介護予防サポーター養成講座 高齢者が住み慣れた地域の通いの場において介護予防の取り組みが行えるよう、団体リーダー(シニアリーダー)向けに研修会(フォローアップ研修含む)を実施します。また、研修に参加したリーダーが、日頃の活動において介護予防の普及・啓発が行えるよう支援します。	1. 地域において住民主体で活動する団体向けに、認知症予防運動研修会を実施 【開催場所】 我孫子市民プラザ、湖北地区公民館 【時 期】 平成30年4月下旬～6月下旬 【対 象】 シニアクラブや自治会等の団体リーダー 【参加者数】 10団体・19名 2. フォローアップ研修を実施(1団体あたり2回、述べ6回実施) 【開催場所】同上 【時 期】 平成30年10月～11月 【対 象】 介護予防強化型きらめきデイサービスのリーダー 体力づくり教室で活動中の健康生活サポートリーダー 【参加者数】 19団体・49名 ◇◆指標と実績◆◇ 【研修会参加者へのアンケート結果】 研修会参加者のうち、「満足」と回答した方が約8割おり、研修会で実施した「筋トレや認知症予防運動等」のプログラムを日々の活動に取り入れていると回答があった。	A. 成果・効果があった リーダー養成を行った結果、身近な地域の通いの場である介護予防強化型きらめきデイサービス(サロン)において、介護予防の取り組みを実施することができるようになった。 また、我孫子市リハビリ協会のリハビリ専門職(理学療法士)と連携して研修会を開催することで、専門的な立場からより効果的な指導を受けることができた。	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課	

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点	
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	136 子育てサポーター養成講座 核家族化により子育てに不安を持つ世帯の増加や、地域・家庭における子育て力の低下が認められる中、地域における子育て力を強化するため、子育てを支援する人材を育成する。	●子育てサポーター・子育て支援員研修 【日程】 《基本研修》 5月18日(金)、5月25日(金) 2日間 《専門研修》 6月8日(金)、6月15日(金)、6月22日(金)、7月3日(火)、7月24日(火) 5日間 《保育園見学実習》 7月9日(月)～20(火) 2日間 【内容】こどもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など 【対象】市内在住の20歳以上の方、または市内小規模保育事業所に従事している方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 【定員】30人 【参加者】23人 ◇◆指標と実績◇◆ 【子育てサポーター人数】79人(新規 12人)	A. 成果・効果があった 活動への意識の高いサポーターは、子どもの見守りや家庭への訪問活動等に積極的に参加し、地域の子育て力の向上へとつながっている。 子育て支援員研修と併せて実施しているため、子育てサポーターの活動に結びつかない場合が多くなっている。積極的に活動する子育てサポーターは限られているので、活動の場について全体へ周知していくと共に、活動を促していきたい。	A. 現状どおり推進	なし	保育課
		137 環境レンジャー活動への支援 環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成し、市内の行事に参加してもらうことで市民の環境保全活動への関心を高める。	●ネイチャー・イン企画の開催を行う。 5月26日(土) 白山のまちなみと船戸の森自然観察、7月28日(土) ホテル観賞会 10月20日(土) 谷津ミュージアム自然観察会、1月27日(日) 手賀沼の冬鳥船上観察会 ●Enjoy手賀沼！ブース出展(パネル展示、ぬり絵) 【日程】5月13日(日) ●市民のチカラまつり(生物関連付けクイズ) 【日程】9月22日(土)、23日(日) ●環境レンジャー通信「たまつけ」の発行をする。 【発行日】4/15(71号) 10/15(72号) 1/15(73号) ●エコ・こども教室を開催する。 【日程】10月21日(日) ●次世代の環境レンジャーを育成するため、環境レンジャーサポーターを募集し、環境レンジャーに必要なスキルを習得する。 ◇◆指標と実績◇◆ ・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】13人	A. 成果・効果があった ・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】14人(サポーター含む) 環境レンジャー人数の減少	B. 改善・見直しを行う 新たにSNSなどを活用し、レンジャー活動の広報活動を実施する。また、レンジャーサポーターの募集方法について効果的な方法を検討する。	なし	手賀沼課
		138 緑のボランティアの森づくり 森づくり作業を通じて、自然に対する理解と愛着を深めてもらうとともに、市内に残る貴重な緑地を保全する。	●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日 《古利根自然観察の森活動》【日程】偶数月第2土第4水・奇数月第2日第4水 《古利根沼べり活動》【日程】毎月第3水 《中里市民の森活動》【日程】奇数月第4日(日) 《岡発戸市民の森活動》【日程】偶数月第4日(日) ◇◆指標と実績◇◆ 【我孫子市みどりのボランティア登録人数】410人(内、古利根みどりのボランティアと登録人数 33人)	A. 成果・効果があった みどりのボランティアの定期的な活動により、古利根沼や斜面林の維持管理が適切に行われ、市民が自然を享受する場を提供することができた。	A. 現状どおり推進	●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日 3連休に重なる活動日は、前週の日曜日に変更を予定している。また8月猛暑となるため活動休止。	公園緑地課
139 生涯学習出前講座市民講師の共同研修の実施 生涯学習出前講座市民講師の共通認識の向上と、講座の内容充実を図るため、市民講師を対象とした研修会等を行う。	各年で実施していたが、すでにスキルの高い方ばかりで研修の必要性がないこと、参加者が毎回同じ講師の方しか集まらないことにより、「共通認識の向上」、「講座の内容充実」に結びつかないため平成29年度より廃止(平成27年度が最後の実施)。 ◇◆指標と実績◇◆ なし			なし	生涯学習課		

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
140	生涯学習や社会教育に関する知見を深めてもらうとともに、委員間の連携強化を図るため、研修会を実施する。	<p>【実施回数】2回 生涯学習審議会の社会教育に関する知識を深めるため、東葛飾地区6市合同で研修会を行う。</p> <p>●東葛飾地区社会教育連絡協議会研修会 【日程】8月21日(火) 【場所】我孫子市市 【内容】学識経験者から生涯学習についての講演を聴く。</p> <p>●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係職員等合同研修会 【日程】1月22日(火) 【場所】柏市 【内容】社会教育関連施設等の視察、社会教育関係の有識者、行政担当者等による講話</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習審議会委員の研修参加者数】 7名</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>昨年度より参加者が多く、審議会委員として知識を深めるとともに他紙の委員との情報交換の場となった。</p>	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
141	市民の健康の保持・増進等を図るためスポーツ推進委員などと連携し、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し健康スポーツの普及を図る。多様化するスポーツニーズに対応するため、市独自のスポーツ指導者養成講座を開催。スポーツ指導者の方向性を統一し、我孫子市のスポーツ活動が安全・安心に展開できるよう指導者の育成を図る。	<p>開催場所:教育委員会大会議室 開催日時:平成30年12月2日(日)・16日(日)・23日(日)の3日間 参加者数:15人 対象者:日本オリンピックスポーツ協会公認資格である「スポーツリーダー」の資格取得を目指す市民及び、有資格者のうち我孫子市独自講義を受講する市民</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 参加者数:15人</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>指導者講習会を市が開催し独自のカリキュラムを加えて行うことで、我孫子市のスポーツ指導者に対して共通認識のもと指導にあたることができる下地を作ることができる。</p>	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
③学んだ成果を評価するしくみの構築						
142	市民コンサート 市内や近郊の音楽愛好家の交流を図るとともに、多くの市民に音楽を演奏することの素晴らしさを身近に感じてもらえるよう、教育委員会、我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団が実行委員会を組織して、コンサートを開催する。	●市民コンサート 【日程】12月15日(土)、16日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【出演者】我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団 【来場者】794人 ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 794人	A. 成果・効果があった 演奏会を実施し、来場者の期待等に応える演奏会であった。 出演者の高齢化が進んでいる。	A. 現状どおり推進 市民参加の実行委員会を組織し、観客に音楽の素晴らしさをアピールすることによって、実行委員会と出演者にとって事業を担う達成感が得られ、活動意欲に繋がる。また来場者にとっては、音楽の素晴らしさを体感する機会となり、心に安らぎが得られることと、また参加しようとする市民の想いを掻き立てる場になっている。	なし	文化・スポーツ課
143	市民参加型コンサート 市内音楽愛好家の交流の場と成果を発表する機会を提供するため、市内在住、在勤、在学等の方が出演するコンサートを開催する。	●市民参加型コンサート 【事業名】フレッシュコンサート 【日程】2月17日(日) 【内容】市ゆかりの高校生や大学生が出演し発表する音楽会(教育委員会の主催で実施) 【開催場所】市民プラザ ホール ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 170人	A. 成果・効果があった 一般市民から参加を募り、大学生や高校生、中学生が出演した。出演者にとっては、貴重な機会となった。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
144	文化祭 多くの市民が参加し、文化芸術に触れ親しむ機会を提供するとともに、市民の文化芸術に関する関心を高める。	●市民文化祭 【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。教育委員会の主催で実施。 【日程】9月22日(土)～12月3日(月) 【開催場所】アビスタ、湖北地区公民館、我孫子市民プラザ、我孫子南近隣センター、けやきプラザ、つくし野コミュニティーホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】絵画、茶道、謡曲、民謡、舞踊、アルゼンチンタンゴ、日本舞踊、詩吟、三曲、洋舞、華道、書道、、吹奏楽、合奏、合唱、さつき、囲碁、軽音楽、俳句、将棋、フラダンス、きもの着付け、写真、歌謡曲、短歌、手芸、盆栽・山野草、東洋蘭、洋ラン、演芸及び地域芸能などの文化33部門 ◇◆指標と実績◆◇ 【出演者数】 4, 145人 【入場者数】 15, 307人	A. 成果・効果があった 運営する人材が、年々、高齢化が進んでいる。	A. 現状どおり推進 市民と共同で行う文化事業であり、市の文化芸術の振興に繋がることから、引き続き推進していきたい。	なし	文化・スポーツ課
145	寄贈絵画展 市に寄贈された絵画を有効活用しながら絵画展を実施し、市民の芸術の心を育む。	●文化財展 昨年度に引き続き、文化財展は我孫子市指定文化財 中里薬師堂薬師三尊像、十二神将像のうち三神像のなど、文化財展として開催。 【日程】2月16日～19日(4日間) 【場所】市民プラザ ギャラリー ◇◆指標と実績◆◇ 【入場者数】 784人	A. 成果・効果があった 昨年度より約100人の入場者数が増えフレッシュコンサートとコラボ開催することにより、歴史と音楽というお互いをアピールする機会となった。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
146	めるへん文庫 子どもたちが創作活動に親しみ、また、豊かな感性を育むことができるよう、めるへん文庫の作品募集や入賞作品集の刊行、めるへん文庫審査委員の原画展示を行う。	●めるへん文庫 【対象】市内外の小・中・高校生 【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。 【募集期間】4月1日～9月30日 《表彰式》 【日程】平成31年3月16日(土) 【受賞】 小学生の部 1席1名、2席1名、3席7名 中学生の部 1席1名、2席1名、3席6名 高校生の部 1席なし、2席3名、3席2名 古登正子賞 1名(受賞者の中から選出) ◇◆指標と実績◆◇ 【作品応募数】 277編	A. 成果・効果があった 今年も、多くの子ども達からの応募があり、創作活動を通じ豊かな感性を育む機会や作品を発表する機会を提供できた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容			令和元年度実施内容	担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
	147	(再掲) 郷土芸能への支援					文化 ツ・ス ポ―
	148	(再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業					ポ文化 ―文化 ツ・ス 課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容			令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり					基本目標 5 学びでつながるまちづくり		
①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実					①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	149	市民のチカラ 市民活動を活発にするため、市民と市民団体等とが交流できるマッチングイベントや講演会を実施する。	●市民のチカラまつり 【日程】9月22・23日 【場所】けやきプラザ(我孫子南近隣センター、介護実習センター(けやきプラザ7階))、アビシルベ 【内容】「展示・発表・体験部門」では、市民活動団体による日頃の活動の成果を発表するパネル展示や、スタンプラリー、昔遊び、工作、合唱、食に関する体験イベント、子育てに関する座談会などの参加型企画、参加団体によるステージ上でのパフォーマンス、福祉作業所の製作品、地元商店による食品販売等が行われた。 「企画部門」では、市民活動団体が社会課題等の解決や啓蒙等の講演会・勉強会の企画を自ら提案・運営を行い、広く市民を対象に実施した。 【参加者】人数:2,139名、参加団体:79団体 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民活動をはじめた人数】10人	A. 成果・効果があった 今年度は子供を対象とした企画を多く実施し、例年の来場者よりも比較的年齢が若い世代の来場が見られ、普段市民活動に触れることの少ない世代への啓発が図られた。	A. 現状どおり推進 実行委員会形式で実施し、昨年同様子どもを対象とした企画を実施することで親世代の参加も増やしている。	なし	市民活動支援課
	150	(再掲) あびこ子どもまつり					子ども支援課
	151	(再掲) げんきフェスタ					子ども支援課
	152	学校支援事業の充実 学校教育の内容を充実させ、その教育力を向上させるため、市内全小中学校で立ち上げた学校支援地域本部において、地域住民・保護者・大学生などによる学校支援ボランティア活動を行う。	・学校支援地域本部が中心となり、各関係機関・団体、大学・高校と連携しボランティア人材を確保する。 ・学校の支援活動ニーズと支援活動年間計画を作成する。 ・学校支援地域本部事業について、もう一度趣旨・目的を説明し学校全体として取り組むようにする。 ・中学校区でのコーディネーター活動が充実するよう、コーディネーター会議を定例化していく。 ・高校・大学と連携して、学生によるボランティア活動を進められるようにする。 【場所】市内小中学校 19校 【実働人数】 ≪小学校≫延べ 31,516人 ≪中学校≫延べ 11,083人 ◇◆指標と実績◆◇ 【ボランティア活動実働人数】42,599人(小中学校延べ)	A. 成果・効果があった 各校とも延べ人数での伸びは大きくはないが、事業への実質的な満足度は継続されている。今後も学校のニーズとボランティアのコーディネート推進したい。	A. 現状どおり推進	学校支援地域本部事業 運営委員会が、指導課長主催事業から教育長主催事業に変更となった。	指導課
	153	(再掲) 生涯学習学習相談体制の整備					生涯学習課
154	(再掲) 長寿大学					生涯学習課	
155	(再掲) 家庭教育学級					生涯学習課	
156	(再掲) のびのび親子学級					生涯学習課	
157	(再掲) 市民カレッジ 我孫子を知るコース					生涯学習課	

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
158	在住外国人支援事業 在住外国人が安心して快適に日常生活を送れるよう、我孫子市国際交流協会(AIRA)に日本語教室や相談窓口等、外国人の支援に必要な業務を委託する。	<p>●外国人のための日本語教室 【日程】火曜日35回、土曜日34回(火曜日は託児を実施) 【場所】アピスタ、市民プラザ 【所要時間】1回あたり約1時間30分 【受講生】101人 【ボランティア講師】27人 【託児登録児童数】 2人 【託児ボランティア】 7人</p> <p>●外国人相談窓口業務 ・我孫子市国際交流協会内で市内に在住・在勤、在学の外国人からの相談を受ける。 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、フランス語、韓国語、ベトナム語対応 【相談件数】 7件 【登録相談員】 11人</p> <p>●外国語通訳派遣業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【通訳派遣日数】 8日(北アリゾナ大学研修団対応[6日]、第16回ジャパンバードフェスティバル[2日]) 【通訳派遣数】 のべ26人</p> <p>●簡易な文書の翻訳業務 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【翻訳実績】「広報あびこ」主要記事の英訳(年12回、A4記事4ページ)、AIRAホームページの英訳(32件)、翻訳勉強会における講師業務(講師2名、計6回)、企業や個人からの翻訳要請への対応など。翻訳枚数90枚。 ◇◆指標と実績◆◇ 【外国人のための日本語教室開催回数】 69回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>●外国人のための日本語教室 受講者のニーズ調査を行ったり、ゲームや地図を活用したりすることで、受講者が日本語を楽しく学ぶことができた。授業のほかに研修会を実施し、17名の講師が参加した。 ●外国人相談窓口事業 AIRA事務局が相談窓口となり、家庭内問題、暮らし、行政手続き、求職に関する相談などに対応した。専門的な内容については関係部署へつなぐことで、相談者の抱える問題解決に努めた。 ●外国語通訳派遣事業 北アリゾナ大学研修団の市長表敬訪問やジャパンバードフェスティバル等に通訳を派遣し、交流を深める手助けとなった。 ●簡易な文書の翻訳業務 市やAIRAが発信する情報の英訳・中国語訳・ベトナム語訳等により、幅広い層へ情報発信することができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>在庫数を見ながらできるだけ多くの施設で配布を行ってもらうようにする。 また、次回改定時にはインバウンド需要の取り込みに向けて中国語の内、台湾エリア対象の簡体字版の作成も検討する。</p>	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成 なし	企画課
		<p>②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成</p>				

基本目標 5 学びでつながるまちづくり

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成	159 公募補助金制度の運用 市民生活向上など、市民の利益につながる公益的で営利を目的としない活動を行う団体へ、補助金の交付による活動支援を行う。	●公募補助金の運用 公募補助金は、地域のまちづくりを推進し、市民が行う自由な市民公益活動や生涯学習活動を支援するための補助金。交付期間は最長3年間。補助金の範囲は、補助対象経費の100分の10から100分の50まで。 【応募資格】 営利を目的とせず、公益の増進に寄与する任意団体または特定非営利活動法人で、次の要件のいずれにも該当するものが対象。 ①5人以上で構成されていること。 ②活動拠点が市内にあり、かつ、市内で活動していること。 ③政治や宗教を主たる目的としないこと。 ④同一の事業・目的で市からほかの補助金を受けていないこと。また、市や市教育委員会と共催する事業・活動でないこと。 ⑤特定非営利活動法人は税金を滞納していないこと。 ⑥前年度(平成27年度)に活動実績があり、収支決算を提出できること。 ◇◆指標と実績◆◇ 【新規応募申請団体】 2団体 【公募補助金交付件数】 11件	A. 成果・効果があった 市民が行う公益活動や生涯学習活動への活動支援を行った。 【次年度申請分審査状況】 審査申請:4件(新規申請2件) 審査結果:採択 2件、不採択 2件 制度の趣旨としては、交付団体に最終的に自立した運営をすること目的としているが、自立した団体は少ない。既得権益的な制度となっていることは今後の課題と考える。	A. 現状どおり推進 現在の既存団体を支援するためには、現状のとおり推進をしていく方向ではあるが、制度開始後15年以上が経過していることもあり、制度内容の再検討は必要と考える。	なし	市民活動支援課
		160 市民公益活動補償制度の運用 市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合や、市民団体が損害賠償責任を負った場合の補償を行い市民の活動を支援する。	市民活動に参加した者が活動中に障害等を負った場合の補償を行い市民の活動支援を行った。 【対象者】 主たる活動拠点が市内にあり、かつ、構成員が5名以上の団体(構成員の70%以上が市内に居住していることが必要)による「公益的な活動」が対象。ただし、日本国外の活動、営利・政治・宗教に係る活動を除く。 【補償の種類】 傷害、損害賠償 【支払】 《傷害》 ・支払件数:8件 ・支払金額:130千円 ◇◆指標と実績◆◇ 市民公益活動中の補償すべき傷害、賠償責任についてすべて補償。	A. 成果・効果があった 市民活動を支援していく側面として、活動中における補償も必要であるため。	A. 現状どおり推進	なし	市民活動支援課
		161 資源循環型社会に関する市民講座への派遣 資源循環型社会の構築に向けて、ごみ資源排出抑制等の情報提供や、環境教育を行う。	要請があれば実施。施設見学は、解体工事等に伴い一時中止中。 《出前講座》 【日程】平成30年10月11日(金)9:45~11:30 【場所】アビスタ 第4学習室 【内容】「ごみと資源」その他事前質問に回答 【参加者】平成23年度公民館学級「我孫子を知る」卒業生 17名 ◇◆指標と実績◆◇ 【申し込み団体数】 講師派遣 1団体	A. 成果・効果があった 廃棄物施策に対する市民の理解が深まった。 職員減による講師不足、解体工事等に伴う施設見学の一時中止	A. 現状どおり推進	なし	クリーンセンター

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
162	<p>我孫子市創業支援事業</p> <p>市内の起業・創業件数の増加を図るため、平成26年6月に国から認定を受けた「我孫子市創業支援等事業計画」に基づき、市内関連機関と連携しながら、起業・創業に関する相談業務や、ビジネス交流会、創業塾の開催等により、起業・創業者を総合的に支援する。</p>	<p>●『実践創業塾』本格起業コース 本格的な創業を目指す、実践的な起業コース。このコースは我孫子市の特定創業支援事業で、受講後、市の終了証明書を受領すると下記のメリットが受けられる。※証明書は受講終了を証明するものでメリットを保証するものではない。 ・会社設立時の登録免許税軽減 ・無担保・第三者保証人なしの創業関連保証（金融機関の審査有り） ・日本政策金融公庫の新創業融資制度の要件緩和（金融機関の審査有り） ・我孫子市創業支援補助金の対象 【日時】平成30年6月24日（日）・7月8日（日）・22日（日）・8月5日（日）・19日（日）09:15～17:00 【場所】我孫子南近隣センター第一会議室（けやきプラザ9階）、アビスタ他 【対象者・定員・参加者】起業を目指す方ならどなたでも。定員30人 参加者12名 【費用】10,000円</p> <p>●我孫子市ビジネス交流会 ビジネスには交流の場が不可欠。これから起業を目指す方、既に起業し事業を行っている方を対象に開催。ビジネスパートナーとの出会いや、ビジネスのヒントを得る機会として開催。 【日時】平成30年11月10日（土）13:00～16:30 【場所】我孫子南近隣センター ホール 【対象者】起業・創業に興味のある方、事業を営んでいる方、ビジネスの人脈を広げたい方、市外在住者も可。 【定員・参加者】定員50名 参加者21名 【費用】無料</p> <p>●起業個別相談会 実践創業塾やビジネス交流会などの支援を受けた後、実際にスタートするまでの間に一人で苦労してなかなか起業出来ない方が多いことから、起業前の準備段階の時期に専門的な支援を実施することで、今後の起業件数の増加に繋げる機会として開催。 【日時】平成29年9月8日（土）9:00～15:00 【場所】我孫子南近隣センター ホール 【対象者・定員・参加者】市内でこれから起業する方、起業して間もない方 定員15名 参加者12名 【費用】無料</p> <p>●女性起業支援フォーラム 先輩女性起業家の講演や参加者同士の交流会等の女性に特化した創業支援を実施することにより、女性の起業率を高めることを目的として開催。 【日時】平成30年10月27日（日）14:00～16:30 【場所】我孫子市生涯学習センター（アビスタ）ホール 【対象者・定員・参加者】市内で企業予定の女性の方、市内で創業5年以内の女性事業者 定員50名 参加者22名 【費用】無料</p> <p>●我孫子市創業支援補助金 市内における新規事業の創出を促進し、産業の活性化及び振興を図るため、市内の空きテナント等を利用して事業をスタートする方に対し、賃料の一部を補助する。 【補助額】事業所等賃借料 【補助対象期間】交付決定日の属する月の翌月から1年間 【補助率】1/2 【補助限度額】市域西側地区 月額4万円（年額48万円） 市域東側地区 月額5万円（年額60万円） 【交付決定者】11名 【交付決定額】合計1,409,000円 上半期851,000円 下半期558,000円 ◇◆指標と実績◆◇ 【起業者数】 平成30年度の起業者数は7名（法人1名・個人6名） ※このうち、実践創業塾からの起業者は6名（法人1名・個人5名）</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>一つの支援事業を受けただけで起業できる方は少ないため、複合的な支援が必要と考える。国に認定を受けた我孫子市創業支援等事業計画において、計画の起業者目標数（平成26年度から5年間で37名）を平成30年度末時点で38名と目標数を上回ることができたことから、各施策共、効果があったと考える。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>創業支援補助金の要件緩和（特定創業支援等事業に「創業スクール」を追加することにより、起業者が創業支援補助金を活用しやすいように変更する。）</p>	<p>企業立地推進課</p>

基本目標 5 学びでつながるまちづくり

	NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成	163 市民の学習活動への支援 広報あびこ、ホームページ、生涯学習情報紙を通して、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供するとともに、市民からの学習に関する問い合わせに対応する。また、市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページ登録・提供し活用を図る。	あびこ楽校ニュースの発行とホームページを主とした情報の発信を行った。生涯学習団体グループについては、随時ホームページの掲載内容の更新を行った。 ◇◆指標と実績◆◇ HPアクセス数： 3,778件 あびこ楽校ニュース発行部数：2,800部 相談対応件数： 約80件 【新規登録】 人材情報： 5件 団体情報： 9件	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
		164 (再掲) 視聴覚ライブラリーの管理・運営					生涯学習課
		165 社会教育団体活動支援 市民と協働でまちづくりを進める中で、市民団体が行っている事業の後援を行い、社会教育活動の活性化を図る。	●共催 (1)間違いだらけのラジオ体操 貴方は正しくできますか？ 【共催者】中央学院大学 【日時】10月27日(土) 【場所】中央学院大学 体育館 【講師】西川佳克氏(元NHKテレビ・ラジオ体操指導者) 【参加者】約160人 (2)～語り継ぐ東日本大震災～ 映画「一陽来復」チャリティー上映会&トークショー 【共催者】(一社)三月のひまわり 【日時】2月2日(土) 【場所】けやきプラザふれあいホール 【出席者】市長、教育長、副市長 【参加者】一般市民525人 ●後援 市民団体の講演申請に基づき、27事業の後援を行った。 ◇◆指標と実績◆◇ 【共催数】 2事業 【後援数】 27事業	A. 成果・効果があった 共催2事業及び後援27事業を行い、市民の社会教育活動の一助となった。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
	166 文化芸術団体活動支援 文化芸術団体の活動を支援するため共催・後援事業の拡充を行い、我孫子市の文化芸術活動の活性化を図る。	引き続き地域の文化活動を支援するため共催、後援事業を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【共催事業数】 52件 【後援事業数】 75件	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課	

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
167	(再掲) スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～				ポ 文 化 課	
168	施設・団体へ図書等の貸出サービス 市内団体の自主活動や学級文庫活動を支援して、子どもたちの読書活動と市全体の読書環境の向上を図る。	学級文庫への貸出…市内小中学校1クラスにつき40冊まで学期ごとに貸出をした。主に図書館で選定したものを提供した。 各種団体への貸出…家庭文庫・地域文庫・読書会・子ども会などの各種団体に対し、200冊まで2か月の期間で貸出をした。 読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供した。10冊、約4週間。 【年間団体貸出冊数】 32,396冊 【団体の年間利用数】 1,842回 ◇◆指標と実績◆◇ 【年間団体貸出冊数】 32,396冊(昨年度比 100.4%)	A. 成果・効果があった 団体貸出サービスは、学級文庫実施クラス数・団体貸出冊数ともに一定のレベルを維持した。継続して実施していることで効果を上げており、子どもの読書環境を支援するためにも必要な事業であった。 学級文庫については、子どもの読書環境を支援しながら、効率的に事務を進める。	A. 現状どおり推進 市民の学習機会を充実させるために必要な事業であるため、今後も引き続き推進していく。	なし	図 書 館
169	鳥に関する学習への支援 鳥に関する正しい情報を提供するため、常設展示室、企画展示室にて鳥に関する解説を学芸員や市民スタッフ展示交流員が行う。多目的ホールのボードボックスの使い方などもレクチャーするとともに、鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付け、博物館資料を使った大学院生などの研究への協力も行う。	今年度も引き続き展示解説、ガイドツアー、展示交流を行う。 夏休みの自由研究に関しては、昨年度の鳥に関する研究の優秀作品の展示に加え、今年度も学芸員による相談受け付けも行っていく。 また、博物館資料の活用では、他施設(博物館)への貸出、および調査研究への協力も行う。 ●団体来館者への展示解説 展示解説を希望する予約団体に対して、展示解説を行った(通年)。 【団体案内数】 63団体 ●ガイドツアー 土・日曜日を中心に、30分程度の館内ガイドツアーやスポットガイドを実施した(通年)。 【実施回数】57回 ●展示交流スタッフの活動 土・日曜日を中心に、展示室において展示交流スタッフによる館内の展示交流や解説を行った(通年)。開館日にはほぼ毎日展示交流スタッフが常駐した。 ●鳥に関する質問対応 鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付けた(通年)。 【問合せ件数】 年間1,035件 ●調査研究への協力 博物館資料(剥製)の貸出・閲覧を行った(通年)。 【館内】 52件(234点) 【館外】 7件(27点) ●夏休み自由研究相談(夏休み期間中) 夏休みの小中学生の自由研究の相談を受け付け対応した。 【相談件数】 2人(うち市内 0人) ◇◆指標と実績◆◇ 【団体来館者の解説件数(ガイドツアー含む)】 指標:130件 実績:120件	A. 成果・効果があった 必要に応じて展示解説を行うことで、初めての来館者も展示に親しみを持って見学することができる。市民スタッフに案内してもらうことによって、展示を楽しく見ることができたという感想も寄せられている。 学芸員の人数が少ないため、解説希望の団体の見学者人数によっては対応が難しい。	A. 現状どおり推進	なし	鳥 の 博 物 館

基本目標 5 学びでつながるまちづくり

②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
170	鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援 市民スタッフが、環境学習リーダーや来館者へのガイド役として活躍するように支援する。また、友の会の行う友の会展や鳥類に関するあらゆる生涯学習の活動について支援を行う。	市民スタッフ(H30登録者26名)で、昨年同様の活動を行う。 友の会に対しては、例年通り各サークル活動への場の提供や情報提供による支援を行う。 ●市民スタッフ(26人) 【活動内容】年間を通じての展示ガイド、自然観察会ガイド、室内イベント補助、標本整理補助。 ●友の会(H30年度入会者318人・家族会員含む) 【活動内容】鳥風教室、和紙を使った工作イベント等を共催。 ◇◆指標と実績◆◇ 【友の会・市民スタッフ登録者数】 指標:370人 実績:344人(友の会会員数318人、市民スタッフ26人)	A. 成果・効果があった 市民スタッフと協働で事業を行うことにより、職員だけでは対応しきれないきめ細かな来館者対応が可能となり、サービス向上につながった。 また、友の会との工作を中心とした共催事業により、これまで博物館を訪れたことのない利用者の来館を促すことができた。	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築						
171	我孫子市国際交流協会（AIRA）との連携 国際交流の場を提供し地域の国際化を推進するため、我孫子市国際交流協会（AIRA）と共催であびこ国際交流まつりと国際交流スピーチ大会を開催する。	<p>●第20回国際交流スピーチ大会 【日程】9月30日（日） 【場所】市民プラザ多目的ホール 【内容】英語の部4名、日本語の部5名が発表。審査の時間帯には、「おしゃべりタイム」として、AIRA（我孫子市国際交流協会）の外国語講座の講師2名に、出身地、日本の印象、日本語を学ぶ苦労、学校の違いなどをインタビュー。また、初めての試みとして、小学生対象の「レシテーション Recitation」の時間を設け、並木小学校から4名の6年生がそれぞれのテーマで作文し発表。</p> <p>●第27回あびこ国際交流まつり 【日程】11月25日（日） 【場所】市民プラザ（多目的ホール・ギャラリー・サロン） 【内容】テーマは「友好を翼にのせて『ようこそ』笑顔で始まるAIRAまつり」。市民プラザでのダンスや演奏などの演目、ギャラリーでの各国ブースの民芸品や食べ物の販売。その他、ロビーでのお茶席、着物体験など。 ◇◆指標と実績◆◇ 【催しへの来場者数】 ≪スピーチ大会≫ 85人 ≪国際交流まつり≫ 700人</p>	A. 成果・効果があった スピーチ大会への出場資格をこれまで中学生以上としていたが、今回初めての試みとして、「レシテーション」の時間を設け、小学生にも参加の枠を広げることができた。今回のレシテーションは審査の対象としていないが、今後のスピーチ大会にとって、よい検討材料となった。	A. 現状どおり推進 引き続き、AIRA（我孫子市国際交流協会）と連携しながら事業を実施していく。	なし	企画課
172	消費生活展の実施 消費者自らがトラブルを未然に防ぐ知識を身につけられるよう、関係する団体や機関と連携して消費生活展を開催し、消費者への啓発を図る。	<p>●第43回消費生活展 【日程】平成31年2月2日、3日 【場所】市民プラザ 【テーマ】「安全な暮らしを応援します！」 【参加団体】我孫子市消費者の会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会 【来場者数】738名 【対象者】市内外の消費者 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加団体】我孫子市消費者の会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会 【来場者数】738名</p>	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	商業観光課
173	エンジョイ手賀沼 市民団体・事業者・行政で実行委員会を組織し、手賀沼の浄化・再生を広く市民に呼びかけるイベントを開催する。	<p>●Enjoy手賀沼！2018～みんな大好き手賀沼ファースト～ 【日時】5月13日（日） 【場所】手賀沼親水広場 【対象者】どなたでも ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者】 約10,000人（曇のち雨のため例年より閉会が早まった）</p>	A. 成果・効果があった 雨天であったこともあり、来場者は約10,000人であったが、子供から大人まで非常に盛り上がった。	A. 現状どおり推進	会場を多目的広場に移して開催（じゃぶじゃぶ池改修工事のため）	手賀沼課
174	(再掲) 健康フェア					健康づくり課
175	(再掲) ジャパンバードフェスティバルの開催					光手賀沼課 鳥課の 博物館 館長

基本目標 5 学びでつながるまちづくり

③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
176	青少年相談員事業 青少年相談員連絡協議会と共催で、小中学生を対象に、キャンプなどの事業を行い、子どもの自主性、協調性を育む場を提供する。	●青少年キャンプ…毎年7月末など夏休み期間に実施していたが、熱中症者が例年多発する事から、30年度から秋に開催の報告で進めていく。 ●青少年キャンプ 【日程】10月13日(土)から14日(日) 【場所】ふれあいキャンプ場 【対象】市内小学校4年生から6年生 【募集】35人 ◇◆指標と実績◆◇ ●青少年キャンプ 【参加者数】35人	A. 成果・効果があった ●青少年キャンプ 青少年の健やかな成長を育む活動として1泊キャンプの中で地域や年齢の異なる子どもと生活することにより、誰とでも協力することの大切さを学ぶとともに、自主性を育むことができた。 天候により事業中止やプログラムの大幅な変更が必要となる。	A. 現状どおり推進	なし	子ども支援課
177	(再掲) 子どもの居場所づくり事業(あびっ子クラブ)					子ども支援課
178	子育てフェスタ 我孫子で子育てを楽しめる場所や子育て支援活動を紹介するなど、「子育て」をキーワードに家族で子どもの成長を感じられるとともに、多世代をつなげるイベントを開催する。	イトーヨーカドー我孫子店との共催で開催していた「あびこで子育てフェスタ」は、30年度よりイトーヨーカドー我孫子南口店との共催で開催している「ママへのごほうびフェスタ」に統合し、一本化した。 ●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビイクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月1日(土) 【内容】ホールイベントや体験ブース、ステージショーなど。 ◇◆指標と実績◆◇ 【イベントの参加者】 ●ママへのごほうびフェスタ: 9968人	A. 成果・効果があった 子育てを楽しめる場や、子育て支援活動の紹介、各種イベントを実施することで、子育てに関する情報提供及び、保護者のリフレッシュの場となった。	A. 現状どおり推進		保育課
179	学校評議員設置事業 小中学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民等と連携しながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。	学校が、保護者や地域住民等の信頼に答え、家庭や地域と連携して一体となって子供たちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため会議を開催した。 【開催場所】市内全小中学校 19校 【日程】第1学期(4~7月)に2回、第2学期(9~12月)に1回、第3学期(1~3月)に1回、年間4回実施 【対象】評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加予定 ◇◆指標と実績◆◇ 【会議の開催回数】市内各小中学校19校で、年4回実施。 【評議員数】小学校 76人 中学校 36人	A. 成果・効果があった 各学校において、保護者や地域住民、有識者、公募の市民等それぞれの立場から、社会情勢と学校教育を結び付け考えた意見を出してもらい、学校経営に生かすことができた。	A. 現状どおり推進 今後も評議員会を開催し、地域住民や有識者の意見をいかし、地域に開かれた学校を目指していく。	なし	学校教育課
180	大学との協定による学校支援 学生ボランティア事業 大学と協定を締結することで、小中学校における学習補助として、教員等を目指す学生ボランティアを活用する。	【日程】通年 【場所】市内各小中学校 【内容】学習支援、部活動指導補助 【対象】小中学校の児童生徒 【派遣状況】9校 399人 【大学別実働人数】 《川村学園女子大学》 71人 《中央学院大学》 144人 《その他の大学》 184人 ◇◆指標と実績◆◇ 【実働人数】 399人	A. 成果・効果があった 市内の2大学では、ボランティアに関する単元や担当者を設定し、取り組んでくれている。2大学や我孫子高校などの理解協力体制の充実があり、今後につなげていきたい。	A. 現状どおり推進	なし	指導課

基本目標 5 学びでつながるまちづくり
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築	181	<p>キャリア教育の推進（小中学生の職場体験学習事業）</p> <p>子ども達が地元の協力事業所において、大人達と共に働く経験をする事によって、働くことの大切さや意義を感じとり、希望を持って将来を考えたり、我孫子の良さを感じたりできるよう、地域社会・家庭・学校が連携し合っ て職場体験学習を実施する。</p> <p>●職場体験学習 中学校1または2年生を対象に1～3日間、協力事業所等を中心に職場体験学習を実施する。 【日程】6月～2月 【参加者】実施人数 1,230人(中学校1年生462人・2年生768人) 小学校においては実施しない。 ●特別活動を要としたキャリア教育 全小中学校において全教育活動を通じてキャリア教育を実践する。 ●キャリア教育担当者会議 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年2回(5月と2月)実施する。 ◇◆指標と実績◆◇ 【小中一貫教育におけるキャリア教育のカリキュラムに即して、自校のキャリア教育全体計画の中に職場体験学習等の体験学習を位置づけた学校数】 19校 【協力職場数】 475 箇所</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>小中一貫教育の実施に合わせ、教育計画全体でキャリア教育の推進を実施する体制が整い、発達段階に応じたキャリア教育が展開されつつある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>●キャリア教育担当者会議 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年1回5月に実施する。</p>	指導課
		182	<p>生涯学習審議会の運営</p> <p>生涯学習を総合的に推進するための組織として審議会を運営し、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴いていく。</p> <p>●生涯学習審議会会議 ≪第1回≫【日程】7月27日(金) 【議事】 (1)生涯学習推進計画実施状況とその課題について 【報告事項】 (1)「我孫子市交通安全推進協議会委員」の委嘱について (2)「我孫子市視聴覚ライブラリー設置及び管理に関する条例」の廃止について (3)「子どもの読書活動推進計画」について (4)図書館運営今後のあり方について (5)平成30年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画について (6)その他 ≪第2回≫【日程】2月26日(火) 【議事】 (1)我孫子市第三次生涯学習推進計画実施状況の各課の課題について、第1回生涯学習審議会での意見を受け、各課の対応・経過について (2)「我孫子市子どもの読書活動推進計画(案)」について (3)「我孫子市子どもの読書活動推進計画」部会について (4)「図書館運営今後のあり方(案)」について 【報告事項】 (1)我孫子市第三次生涯学習推進計画前期実施計画の中間見直しについて (2)その他 ◇◆指標と実績◆◇ 【審議会開催数】 2回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>今年度は意見をいただきたい生涯学習推進に当たったの主だった課題について事前に事務局で準備し、委員へ提示することでより効果的・効率的な会議進行となったため、活発な意見交換ができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>7月に生涯学習審議会委員の改選があるため、例年2月に行っていた第2回審議会を7月に開催する。</p>	生涯学習課

NO	個別事業 趣旨・目的	平成30年度実施内容		令和元年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
183	(再掲) 市外図書館・大学・関係機関との連携協力				図書館	
184	図書館実習生受入・施設見学 中学生のキャリア教育を受け入れることにより、今後の進路や職業選択の際の目安や目標になるように支援する。図書館現場で実務の研修を行うことにより、司書課程受講者を支援する。施設見学を受け入れ、生涯学習施設である図書館をPRする。	<p>《職場体験学習》《中堅教諭等資質向上研修》《インターンシップ》《ボランティア講座実習》《社会教育実習》《施設見学・町探検》等を受け入れた。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【アピスタ探検隊参加者・図書館見学参加者・実習生受入人数の合計】 1,105人(前年度 1,108人)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>将来の進路や社会活動の参考となるように、小中学生のキャリア教育、高校生や大学生のインターンシップ、施設見学等を受け入れ、若い市民が貴重な経験を得られる機会を創出できた。</p> <p>図書館業務には専門的なものもあり、年齢等に応じて、より興味がわくように、実務的な体験プログラムを組む必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>キャリア教育の一環として実施されている体験学習の重要性はますます高まっている。将来の進路や職業選択の参考となるよう、これからも市民を支援していくことは必要不可欠であり、今後も現状どおり推進していく。</p>	なし	図書館
185	山階鳥類研究所との連携・交流 テーマトークという形式で、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果や知られざる鳥の生態などについて、研究者の視点でやさしく紹介する。また、ジャパンバードフェスティバル期間中に「鳥学講座」を山階鳥類研究所と共同で開催し、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらう。	<p>●テーマトーク(9月と11月を除いた毎月第2土曜日の13:30~14:15)</p> <p>【日程・内容】 毎月第2土曜午後13時30分から14時15分まで 《第1回》4月21日「富士山の野鳥と垂直分布～どの鳥がどの高さに棲んでいるのか～」【参加者】31人 《第2回》5月19日「鳥の木登り、ヒトの木登り」【参加者】22人 《第3回》6月16日「拾われた珍鳥はどうなる？—標本材料収集の現場から—」【参加者】19人 《第4回》7月21日「博物画家・小林重三と日本の三大鳥類図鑑」【参加者】32人 《第5回》8月18日「白い羽色異常はどういう仕組みで起きる？」【参加者】32人 《第6回》10月20日「フクロウの翼の秘密～その知られざる苦勞～」【参加者】40人 《第7回》12月15日「協力したり、独占したり、托したり、だましたり～鳥たちの多様な繁殖の仕方～」【参加者】32人 《第8回》1月19日「小型ツグミはどこへ行った？～変化した昔の『ヒタキ類』の分布～」【参加者】45人 《第9回》2月16日「3種のカワセミの謎～山階鳥研のスタンドグラス～」【参加者】25人 《第10回》3月16日「ヤンバルクイナ野生復帰の現状と課題～放鳥の技術開発から～」【参加者】34人</p> <p>●鳥学講座inJBF 【日程】11月3日(土) 【内容】「スズメ研究のスズメ」 【講師】三上 修さん(北海道教育大学函館校准教授) 【参加者】161人</p> <p>テーマトークについては、「てがたん」と同日の土曜日午後実施していたが、本年度から「てがたん」の翌週土曜日の午後実施することとした。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【共催した講座等の数】 指標：11回 実績：11回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>協力関係にある山階鳥類研究所の研究成果と研究の面白さを、分かりやすく市民に紹介することができた</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	鳥の博物館

基本目標 5 学びでつながるまちづくり
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築